Canon

レーザビームプリンタ

Satera LBP5900

設置ガイド

最初にお読みください。

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- プリンタを設置するには
- パソコンと接続するには
- オプション品を取り付けるには

設置ガイド（本書）

- トラブルの簡単な解決方法を知るには
- プリンタの簡単な使いかたを知るには

かんたん操作ガイド

- 基本的な使いかたを知るには
- 困ったときには

ユーザーズガイド

- プリンタドライバのインストール方法を知るには
- 印刷するには
- 添付ソフトウェアの使いかたを知るには

LIPS ソフトウェアガイド／本編

- いろいろなネットワークの設定方法を知るには

ネットワークガイド／本編

- 操作パネルを使ってプリンタを設定するには

LIPS 機能ガイド

- Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには

リモート UI ガイド

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

オプション品に付属の取扱説明書

オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の構成について

第１章　設置する前に

必ずお読みください

第２章　プリンタの設置

必ずお読みください

第３章　オプション品の取り付け

第４章　プリンタの動作と機能を確認する

第５章　付録

各部の寸法や、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内などを掲載しています。

設置サービスのご案内

本製品の設置は、設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合や、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本製品をお買い上げの販売店などへ依頼してください。

目次

第２章　プリンタの設置

第３章　オプション品の取り付け

第４章　プリンタの動作と機能を確認する

第5章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP5900 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンについて

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：[キー名称]

例：［オンライン］
［ユーティリティ］

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

例：［OK］
［設定］

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® operating system：　Windows

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS は、キヤノン株式会社の商標です。

FontGallery は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、Mac OS、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

IBM、AT、PS/55 シリーズは、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windowsは、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

PC-9800 シリーズ、PC-PR201/80A は、日本電気株式会社の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律		
	● 刑法	● 郵便法
	● 著作権法	● 郵便切手類模造等取締法
	● 通貨及証券模造取締法	● 印紙犯罪処罰法
	● 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	● 印紙等模造取締法

安全にお使いいただくために

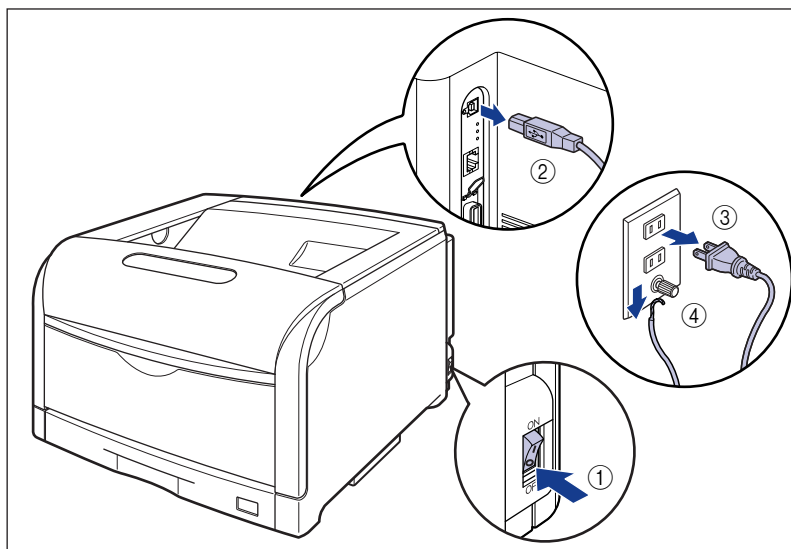
本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし①、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください②。そのあと、電源プラグを抜いて③、アース線を取り外し④、お買い求めの販売店にご連絡ください。

  ・アクセサリーなどの金属物

  ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。（→設置場所に運ぶ：P.2-3）

電源について

⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり､その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

  ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。

  ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

  ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

⚠ 警告

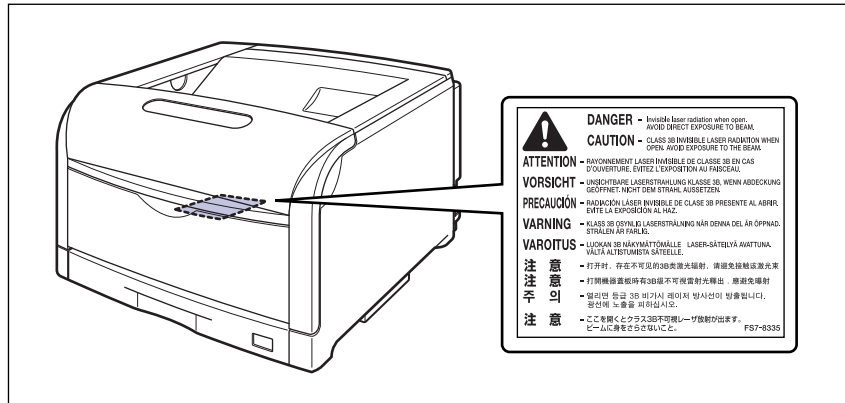
- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

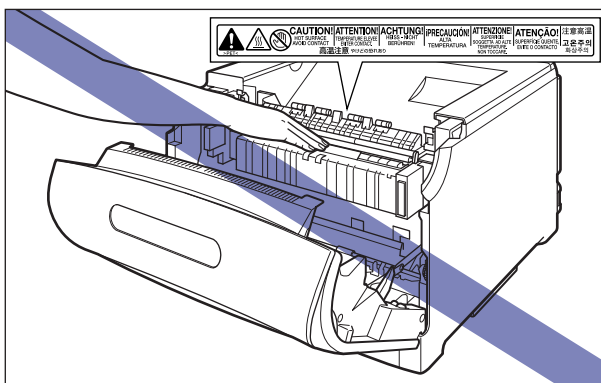
・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

- この製品は IEC60825-1:1993 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。

保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのドラムカートリッジやトナーカートリッジ、廃トナー容器を火中に投じないでください。ドラムカートリッジやトナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理やドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、廃トナー容器を交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

その他

警告

ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

1 CHAPTER

設置する前に

この章では、本プリンタに装着可能なオプション品の紹介と取り付け手順、設置場所の決めかたについて説明しています。

オプション品について

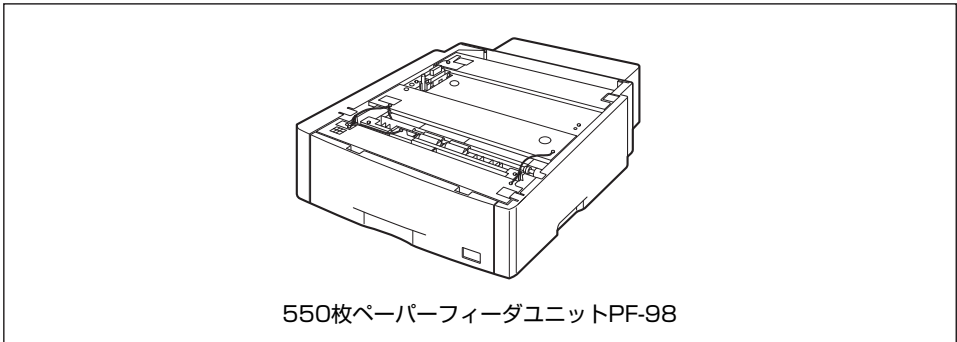
本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

ペーパーフィーダ

本プリンタは、標準状態で給紙カセットと手差しトレイの合計 2 つの給紙元があります。オプションの 550 枚ペーパーフィーダを 3 台装着すると、最大 5 つの給紙元を使用することが可能です。

550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98 は、550 枚ペーパーフィーダと 550 枚給紙カセットがセットになっています。

550 枚給紙カセットには、A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブサイズと以下のユーザ設定サイズの用紙を普通紙（64g/m² の場合）で最大約 550 枚までセットできます。

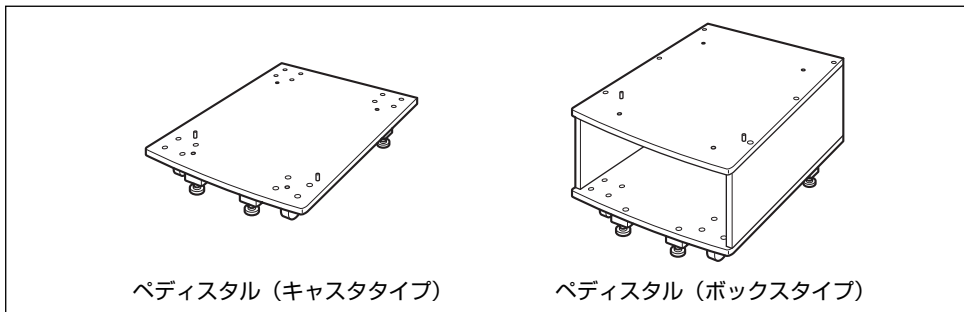
- 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
- 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

550枚ペーパーフィーダユニットPF-98

メモ

- ペーパーフィーダは、最大 3 台まで取り付けることができます。ただし、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は、2 台までです。
- ペーパーフィーダは、LBP5900/5600 専用です。他の機種用のペーパーフィーダは使用できません。
- ペーパーフィーダの取り付けかたについては、「ペーパーフィーダ」（→ P.3-2）を参照してください。

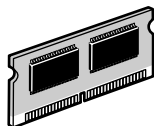
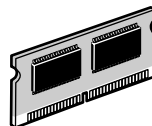
ペディスタル

ペディスタルは、本プリンタを操作しやすい高さに設置したり、移動しやすくするための専用台です。プリンタ本体の底面またはペーパーフィーダの底面に取り付けることができます。移動用のキャスタと固定するためのアジャスタが付いています。

ペディスタルには、キャスタタイプとボックスタイプの 2 種類があります。

メモ

- ペディスタル（キャスタタイプ）を装着した場合、ペーパーフィーダは 3 台まで取り付けることができますが、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は 2 台までです。
- ペディスタルの取り付けかたについては、ペディスタルに付属の取扱説明書を参照してください。

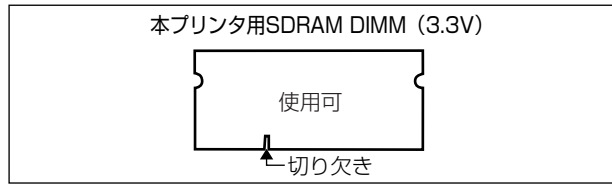
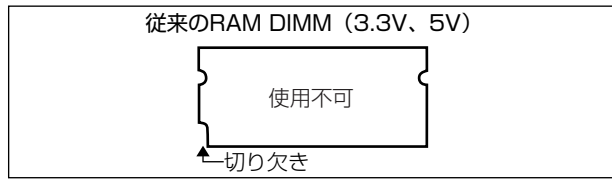
拡張 RAM

拡張 RAM は、メモリ容量を拡張するための増設メモリです。本プリンタは 128MB のメモリを標準装備しています。拡張 RAM は 1 個増設可能で、メモリ総容量を最大 384MB まで増やすことが可能です。

総 RAM 容量（拡張 RAM 容量）	印字保証サイズ
128（標準）	B5
256（+ 128MB）	B4
384（+ 256MB）	A3

表中に（+●● MB）とあるのは、標準の RAM に加えて必要なオプションの拡張 RAM の容量を示します。

表中の印字保証サイズは、「データ処理」を「ファイン」、「階調処理」を「コウカイチョウ 1」に設定し、片面カラープリントの場合の値です。また、用紙サイズは AB 系サイズを例にした場合の値です。用紙サイズ（面積）は大きい順に 12 × 18、A3、レジャー（11 × 17）、B4、角形 2 号封筒、リーガル、A4、レター、4 面ハガキ、エグゼクティブ、B5、A5、B6、往復ハガキ、洋形 4 号封筒、洋形 2 号封筒、ハガキです。
プリント時のデータ処理解像度や階調処理、両面印刷、カラーモードの設定によって、次のように印字保証可能なサイズが変わります。上記の表の用紙サイズから換算してください。

設定項目	設定値	倍率
データ処理／階調処理	ファイン／高階調 1	等倍
	ファイン／高階調 2	1/2 倍
	スーパーファイン／標準	1/2 倍
両面印刷	しない	等倍
	する	1/2 倍
カラーモード	カラー	等倍
	モノクロ	4 倍

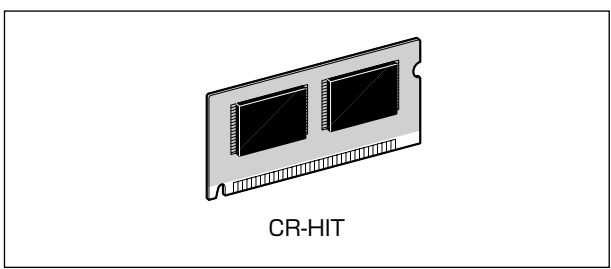
- 拡張 RAM は、必ず本プリンタに対応した 3.3V 用 SDRAM DIMM をご使用ください。キヤノン製拡張 RAM（RD-128MR、RD-256MR）のご使用をおすすめします。また、本プリンタに装着可能な拡張 RAM は以下の形状をしていますが、同じ形状のキヤノン製拡張 RAM（RD-64MS、RD-128MS、RD-256MS）を使用することはできません。

- 従来の拡張 RAM DIMM（RD-4M、RD-8M、RD-16M、RD-4ME、RD-8ME、RD-16ME、RD-8ML、RD-32ML、RD-64ML）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。

メモ

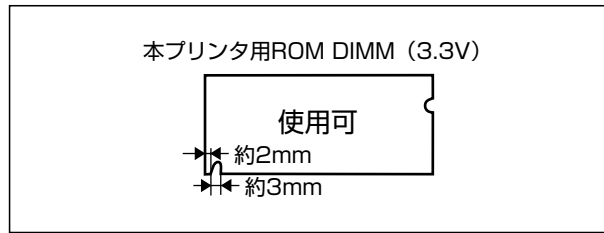
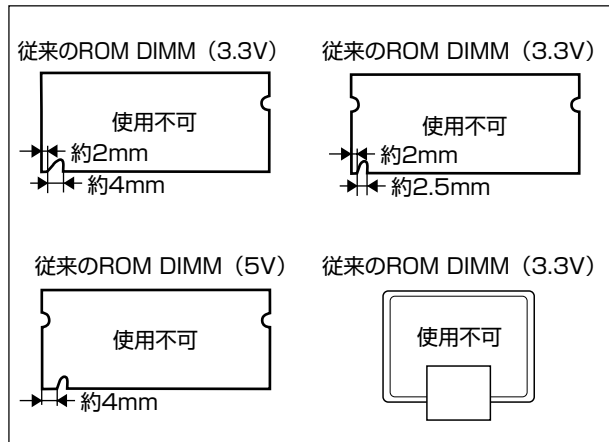
- オーバレイなどの大量の登録データを処理する場合にも拡張 RAM の増設が必要です。
- 拡張 RAM の取り付けかたについては、「RAM/ROM」（→ P.3-23）を参照してください。

コントロール ROM

コントロール ROM は、エミュレーションモードを追加するための ROM です。本プリンタを、お使いのパソコンに対応した専用プリンタのように動作させることができます。1 枚のコントロール ROM に、次のエミュレーションモードとフォントが収録されています。

- PC-PR201/80A プリンタエミュレーション（標準 N201）
- IBM5577 プリンタエミュレーション
- HP-7550B（HP-GL）プロッタエミュレーション
- バーコード用フォント ROM（FR-BFV2CL 相当）
- バーコード用フォント（EAN-128、標準料金代理収納用 EAN-128）

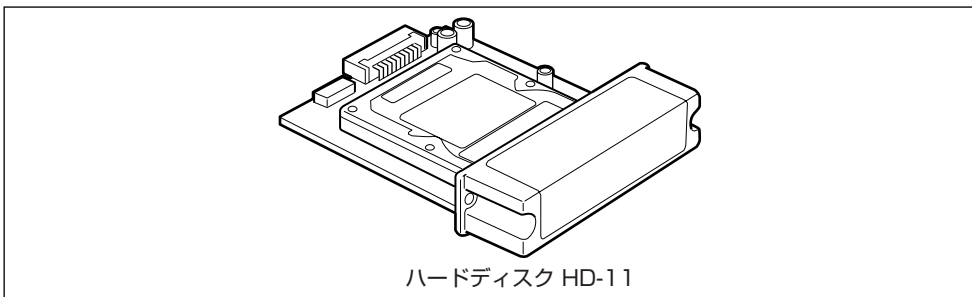
本プリンタには、このコントロール ROM を 1 個のみ増設可能です。

重要

- コントロール ROM は、必ず本プリンタに対応したもの（CR-HIT）をご使用ください。

- 従来のコントロール ROM（CR-5577/2、CR-359/2、CR-5273/2、CR-7550/C、CR-201/2、CR-ES/2、CR-5577L、CR-359L、CR-5273L、CR-7550L、CR-201L、CR-ESL、CR-MEL、CR-MEN、CR-MES、CR-HIS）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。

- コントロール ROM を取り付けるとハードディスクの機能は使用できません。ハードディスクの機能を使用する場合は、コントロール ROM は取り付けないでください。

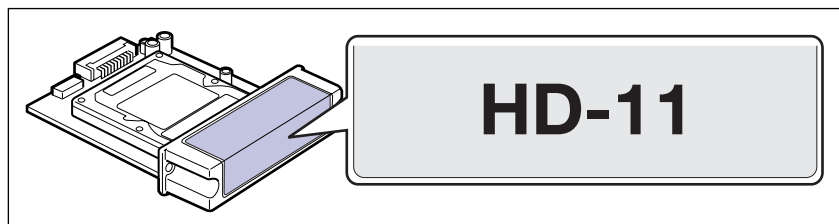
メモ

コントロール ROM の取り付けかたについては、「RAM/ROM」（→ P.3-23）を参照してください。

ハードディスク

ハードディスクは、受信したプリントジョブを一時的に保存するためのプリンタ内蔵型ハードディスクです。ハードディスクを取り付けることにより、プリントジョブのスプールやEメール印刷、暗号化セキュアプリント、セキュアプリント、電子ソート、RIP Once（リップワンス）などの機能が使えるようになります。

ハードディスク HD-11

重要

- 本プリンタに装着可能なハードディスクは、ラベルに「HD-11」と記載されているもののみです。「HD-11」と記載されていないハードディスクを誤って使用した場合は、正しく動作しません。

- ハードディスクを使用するときは、セットアップメニューの「タイムアウト」の設定を「シナイ」以外に設定してください。工場出荷時の状態の「15 ビョウ」に設定することをおすすめします。
- コントロール ROM を取り付けている場合は、ハードディスクの機能は使用できません。ハードディスクの機能を使用する場合は、コントロール ROM を取り外してください。

メモ

ハードディスクの取り付けかたについては、「ハードディスク」（→ P.3-39）を参照してください。

プログラマーズマニュアル

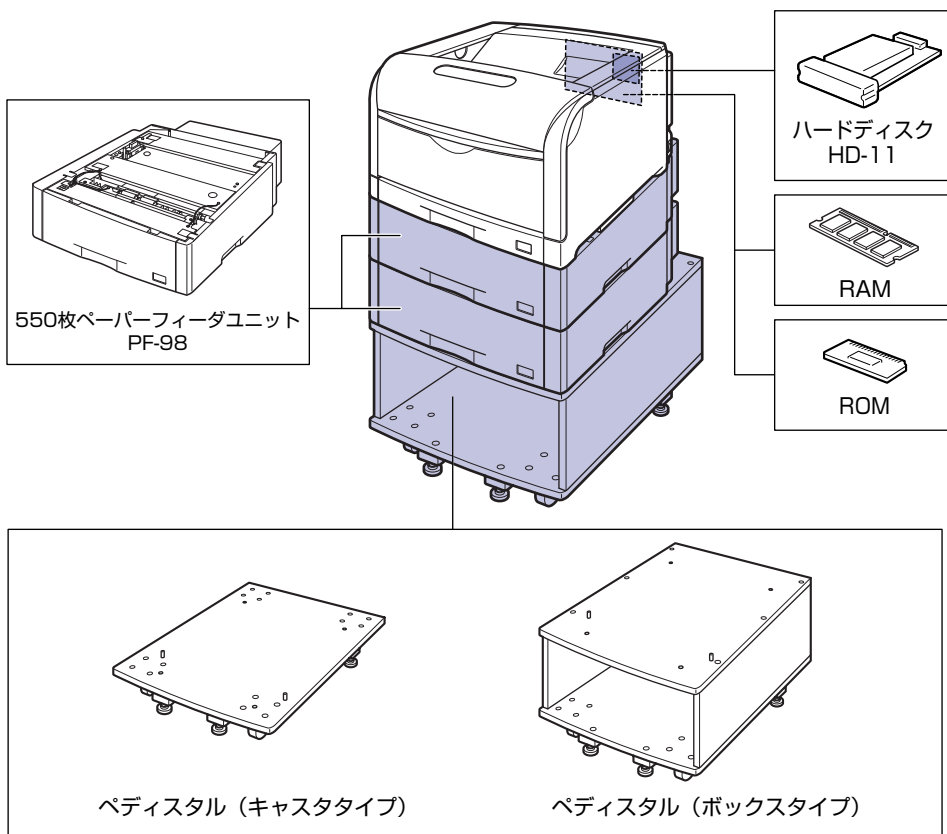
本プリンタ用のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用の取扱説明書です。次の 3 種類が用意されています。

- プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書 4.2」
（LIPS コマンドの概要を知るための取扱説明書）
- プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス 4.2」
（LIPS コマンドの手引き）
- プログラマーズマニュアル「クックブック 4.2」
（プログラムサンプル集）

メモ　LIPS IV のプログラマーズマニュアルは、キヤノンホームページからダウンロードすることができます。

設置手順について

本プリンタは、取り付けるオプション品によって、設置する手順が異なります。お買い求めになったオプション品の内容を確認し、次表の手順で作業を行ってください。

オプション品の取り付け位置

設置の手順

お客様の設置状況に合わせ、該当する手順にそって作業を進めてください。オプション品を取り付けない場合は、（オプション）と表記された手順は読み飛ばしてください。

1	ペディスタルの設置（→ペディスタルに付属の取扱説明書） ペーパーフィーダの設置（→P.3-2）	（オプション）
2	プリンタ本体の設置（→P.2-3）	
3	電源コード、アース線の接続（→P.2-15）	
4	ドラムカートリッジのセット（→P.2-20）	
5	トナーカートリッジのセット（→P.2-40）	
6	用紙のセット（→P.2-47）	
7	RAM/ROMの取り付け（→P.3-23） ハードディスクの取り付け（→P.3-39）	（オプション）
8	本体とパソコンの接続（→P.2-58）	

設置場所と取り扱いについて

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。また、取り扱いについての注意事項を記載しています。お使いになる前に必ずお読みください。

重要　本プリンタを設置する前に、「安全にお使いいただくために」（→ P.ix）を必ずお読みください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が次の範囲内の場所でご使用ください。

- 周囲温度：10 ～ 30 ℃
- 周囲湿度：10 ～ 80%RH（結露のないこと）

重要
- 次のような場合は、プリンタ内部に水滴が生じる（結露）ことがあります。本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、2 時間以上放置してからご使用ください。
  - ・本プリンタが設置されている部屋を急激に暖めた場合
  - ・本プリンタを温度や湿度が低い場所から高い場所へ移動させた場合
- プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因となったり、プリント不良となることがあります。

■ **超音波加湿器をご使用のお客様へ**

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

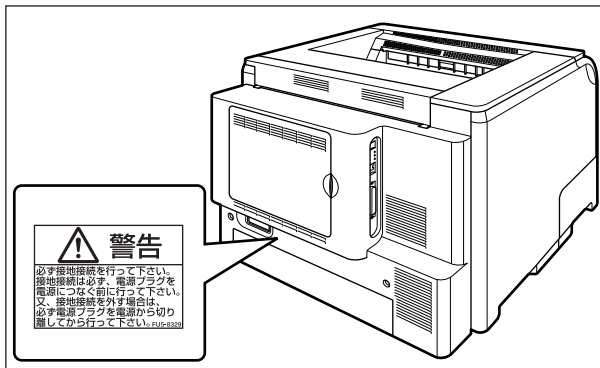
本プリンタの最大消費電力は 1300W* 以下です（AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz）。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、パソコン本体の誤作動やデータ消失の原因になることがあります。

＊注：この値は起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

- 必ず 15A 以上の電源コンセントに、プリンタの電源を接続してください。
- アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

警告 アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

重要
- 一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。
- パソコン本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- 複写機やエアコン、シュレッダーなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントに電源を接続しないでください。

設置条件

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

警告 アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

注意
- 本プリンタを次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要

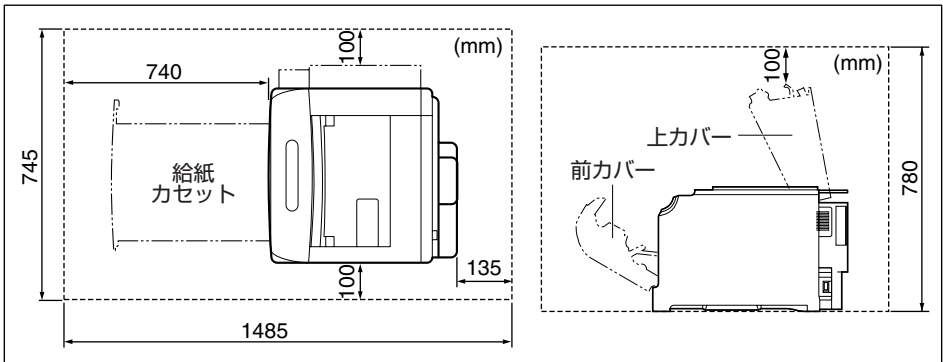
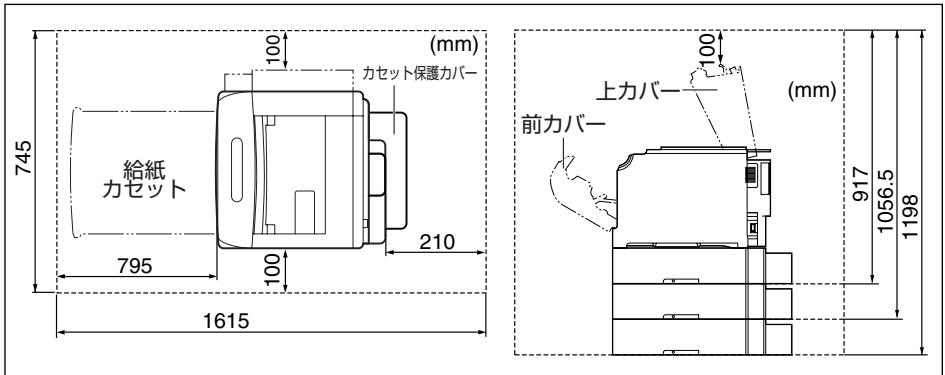
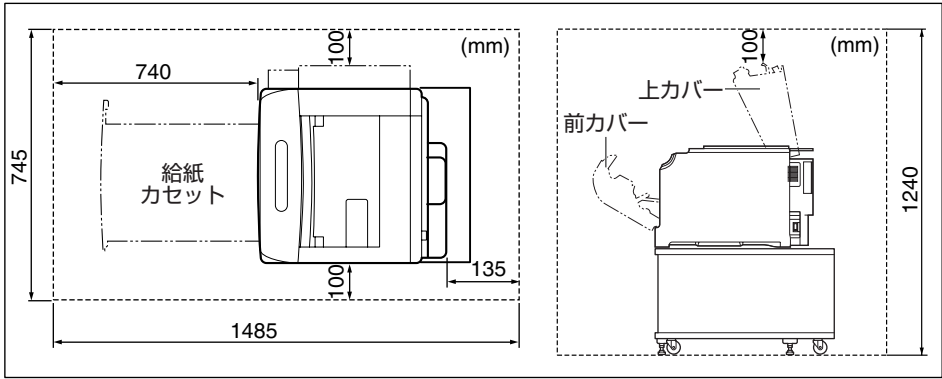
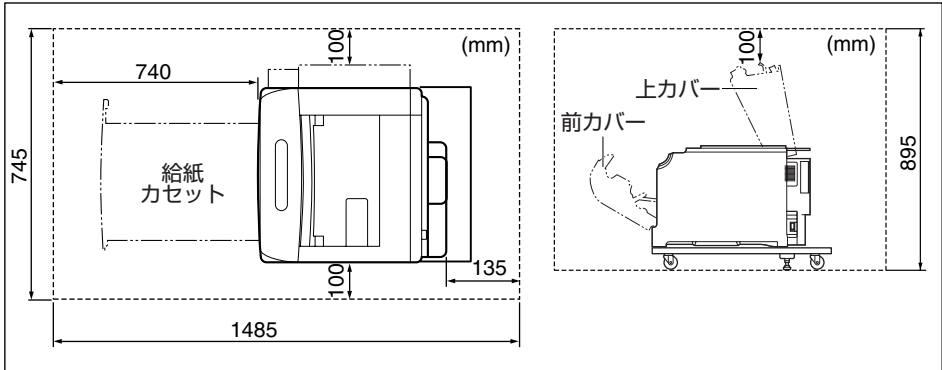
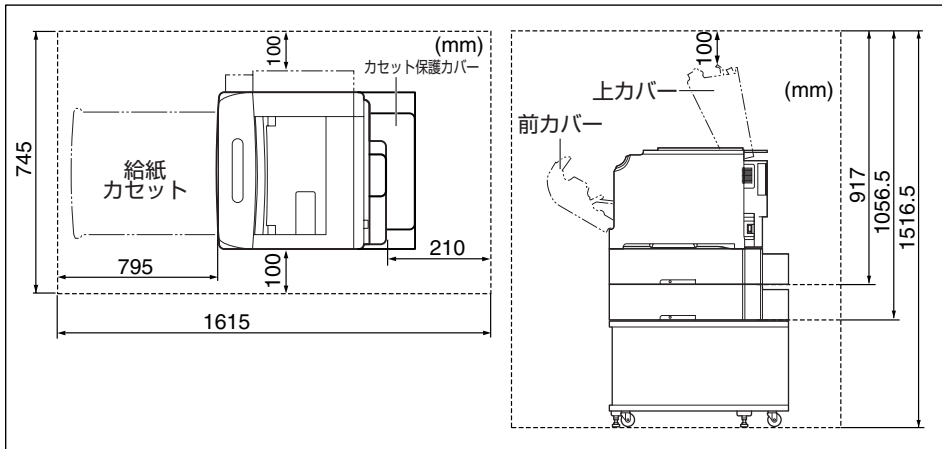
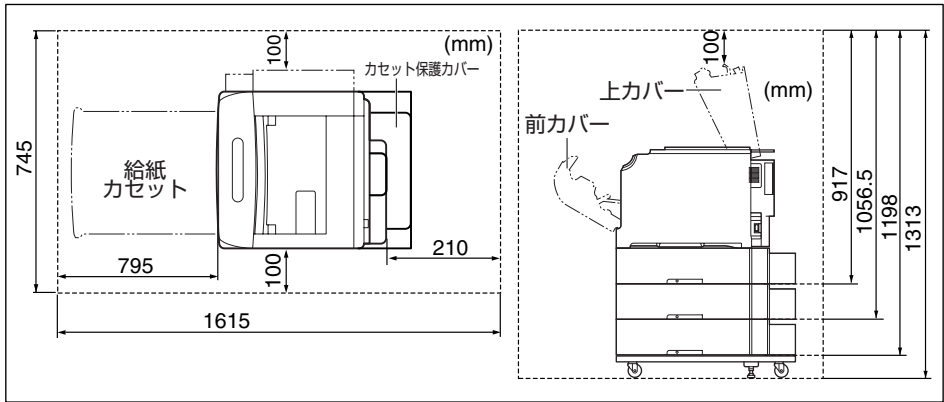
本プリンタは次のような場所に設置しないでください。故障の原因となることがあります。

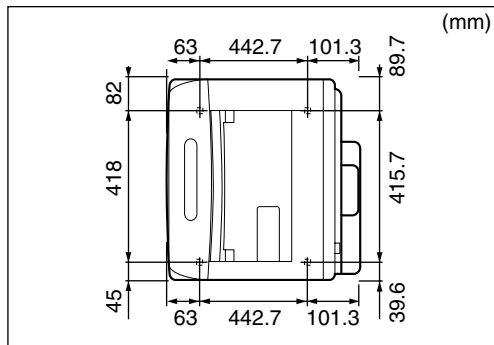
- 急激な温度変化や湿度変化がある場所や結露の発生する場所
- 風通しの悪い場所
- 磁気や電磁波を発生する機器の近く
- 実験室など、化学反応を起こすような場所
- 空気中に、塩分やアンモニアガスなどの腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）

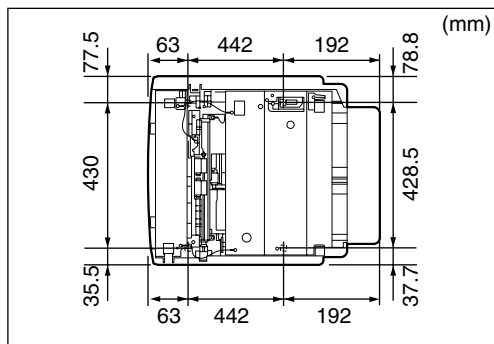
設置スペース

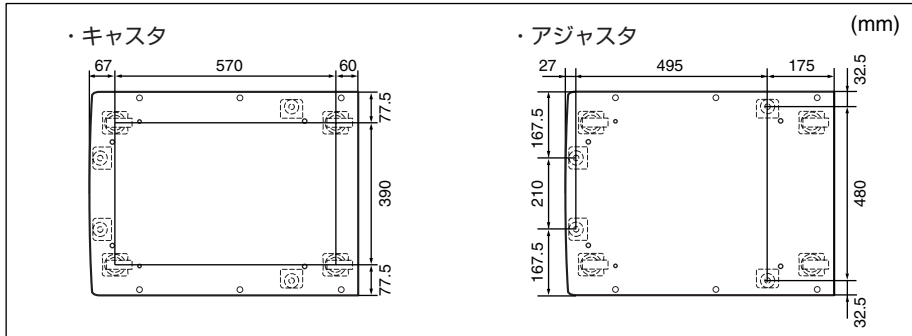
本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んで設置してください。周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

周囲に必要なスペース

■ 標準状態

■ 550 枚ペーパーフィーダ× 3 段装着状態

■ ペディスタル（ボックスタイプ）装着状態

■ ペディスタル（キャスタタイプ）装着状態

■ 550枚ペーパーフィーダ× 2段＋ペディスタル（ボックスタイプ）装着状態

■ 550 枚ペーパーフィーダ× 3 段＋ペディスタル（キャスタタイプ）装着状態

足の位置

■ プリンタ本体

メモ　ゴム足の高さは 6mm、先端は前側 15mm × 23mm、後側 24mm × 10mm の長方形です。

■ 550 枚ペーパーフィーダユニット PF-98

メモ　足の高さは 5mm、先端の直径は 18mm です。

■ ペディスタルのキャスタ、アジャスタの位置

取り扱い上のご注意

注意　万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、受信したデータや記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

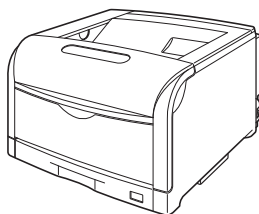
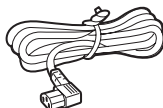
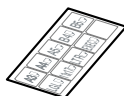
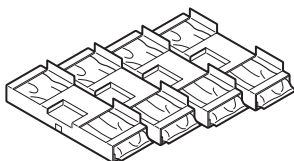
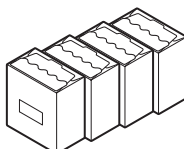
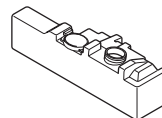
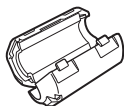
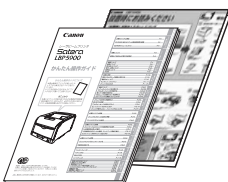
2

CHAPTER

プリンタの設置

この章では、本プリンタをパッケージから取り出して設置するまでの手順について説明しています。オプション品を同時に取り付ける場合には、第 3 章「オプション品の取り付け」と併せてお読みください。

パッケージの内容を確認する

プリンタを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。

メモ　本プリンタにはインタフェースケーブルは付属していません。お使いのパソコン、または接続方法に合わせてご用意ください。

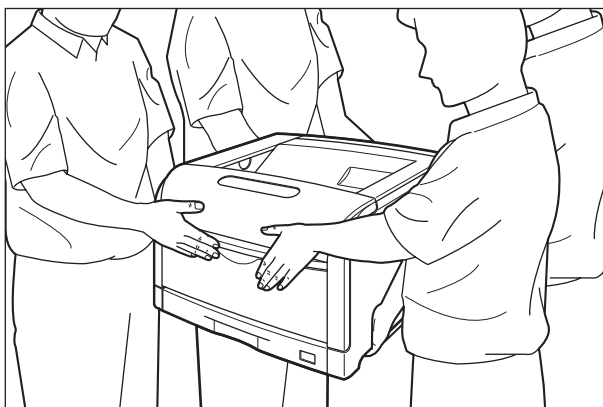
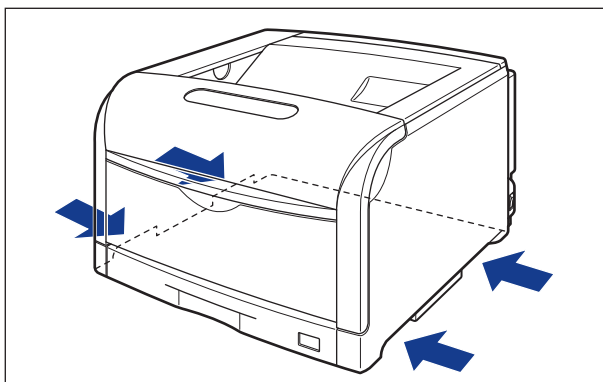
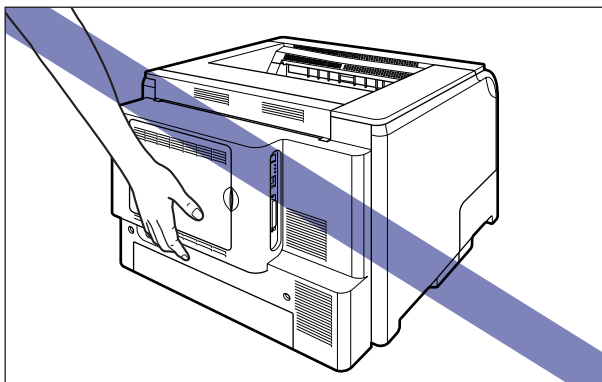
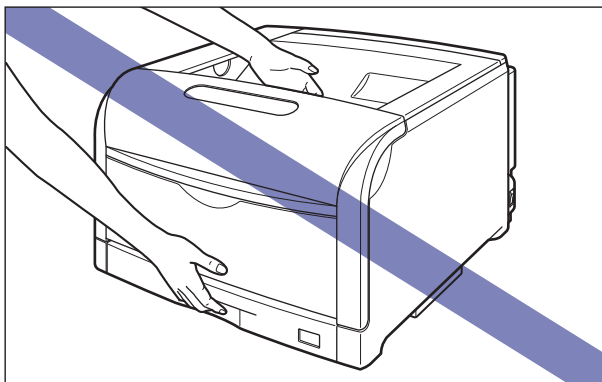
設置場所に運ぶ

設置場所が確保できたら、本プリンタをパッケージから取り出し、設置場所へ運びます。

重要

- 本プリンタ用ペディスタルを使用せずに本体のみを設置する場合は、本体の質量に耐えられる机などに設置してください。
- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- オプションのペディスタルやペーパーフィーダを取り付けるときは、プリンタ本体をパッケージから取り出す前にペディスタルやペーパーフィーダを設置してください。ペディスタルの設置方法については、ペディスタルに付属の取扱説明書を、ペーパーフィーダの設置方法については、「ペーパーフィーダ」（→ P.3-2）を参照してください。

1 プリンタ本体をパッケージから取り出し、設置場所へ運びます。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手に 4 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

⚠注意
- 本プリンタは、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジを取り付けていない状態で約52kg あります。必ず４人以上で腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

重要
- プリンタ本体の取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で、必ず４人以上で行ってください。
- 給紙カセットや前カバーなどを止めているテープは、付けたまま持ち運んでください。

2 設置場所にゆっくりとおろします。

⚠注意　プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

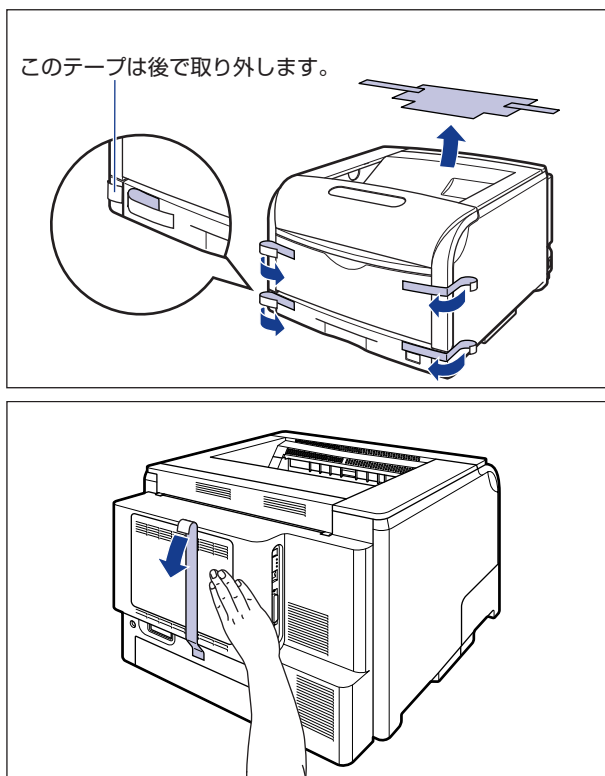
重要　設置場所には、オプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

梱包材を取り外す

本プリンタには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。設置場所へ運んだら、これらのテープや梱包材を取り外してください。

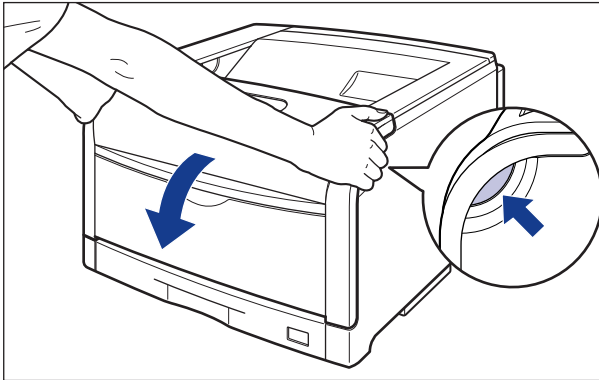
重要
- プリンタ内部に梱包材が残っていると、動作時に印字不良や故障の原因になります。必ず手順にしたがって梱包材を残さずに取り外してください。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

メモ　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

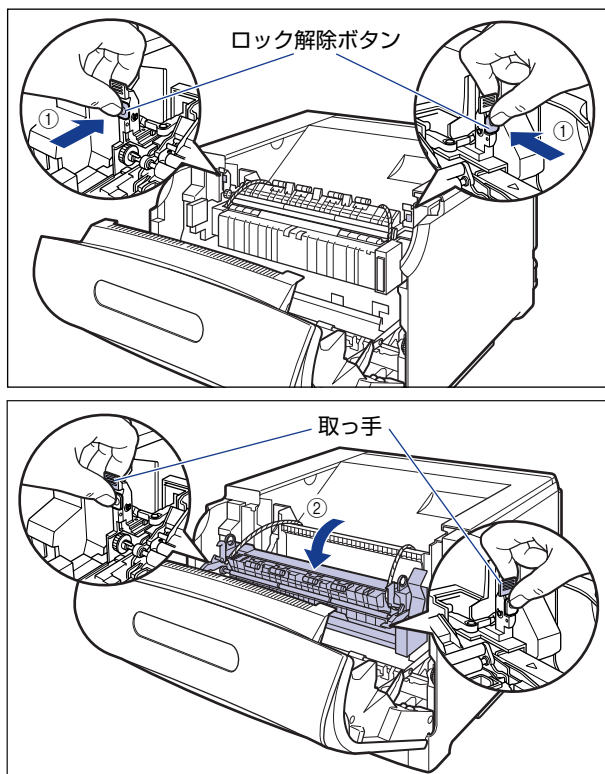
1 **前カバーや給紙カセット、後カバーを止めているテープ（5 箇所）と梱包材を取り外します。**

重要　取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

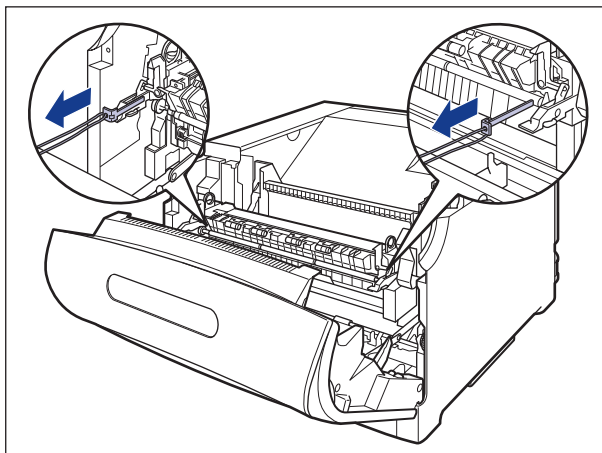
メモ　後カバーを止めているテープを取り外すときは、図のように手で後カバーを押さえながら、テープを取り外してください。

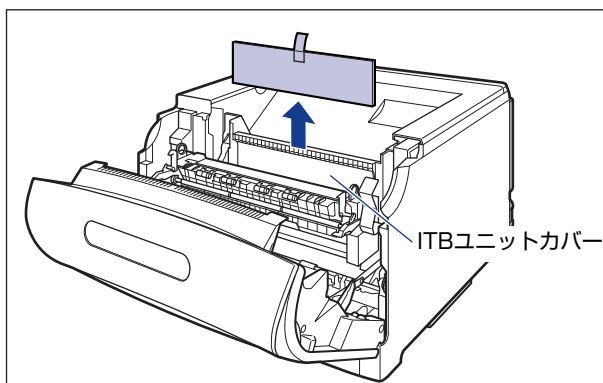
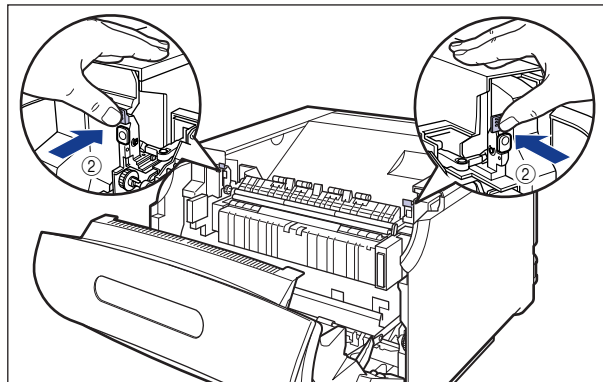
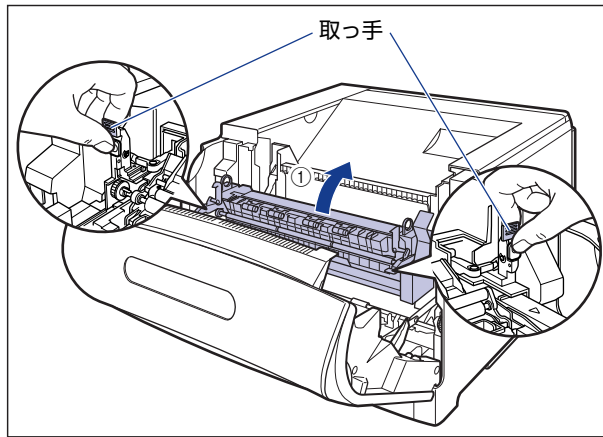
2 前カバーを開けます。

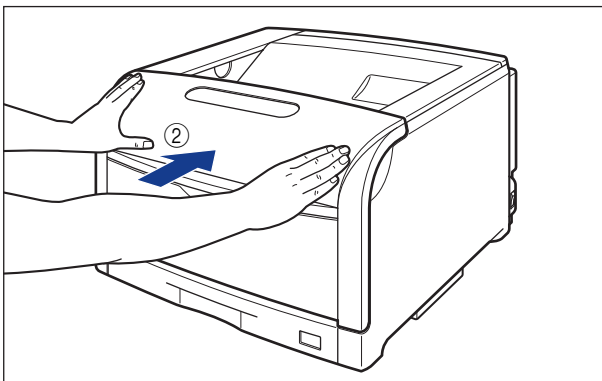
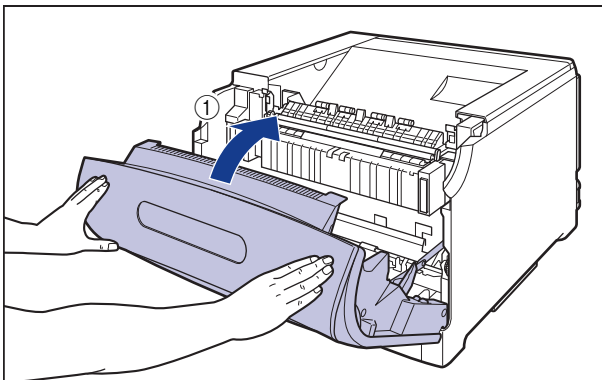
前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

重要　前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイと本体の給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

3 定着器を手前に倒します。

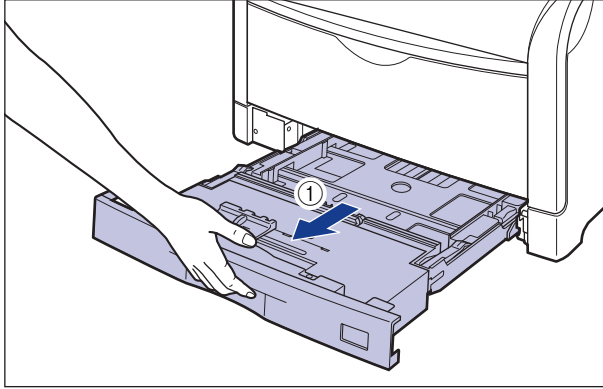
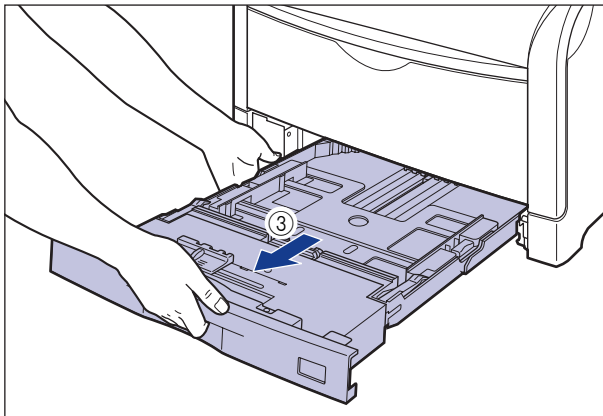
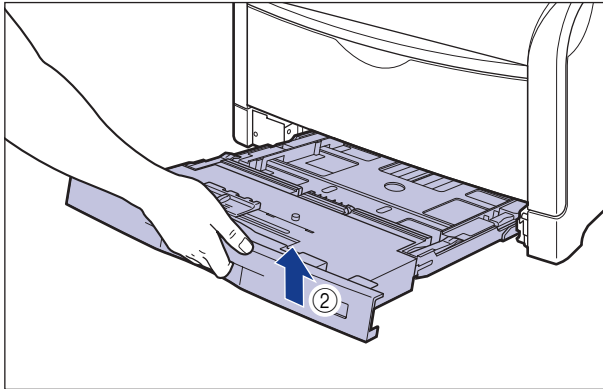
図のように定着器の左右にあるロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

重要 定着器に取り付けられているヒモ付き金具は、次の手順で取り外します。定着器が手前に倒れていない状態でヒモ付き金具を取り外さないでください。

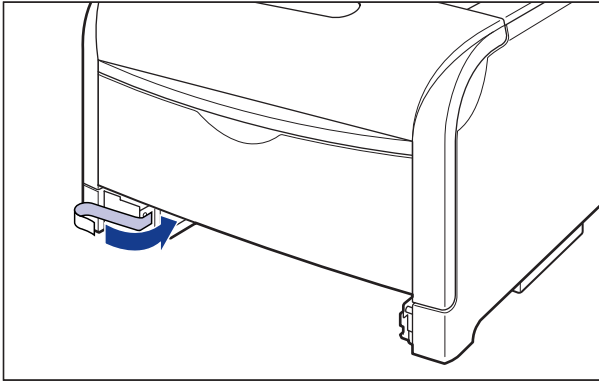
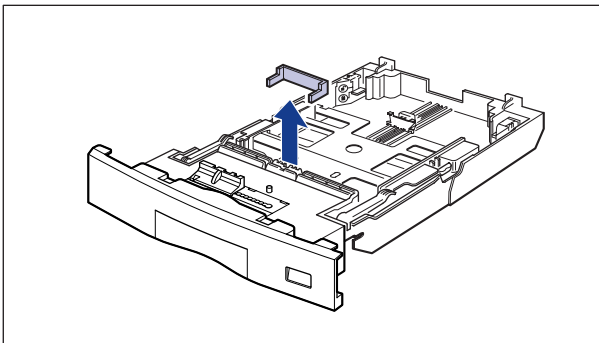
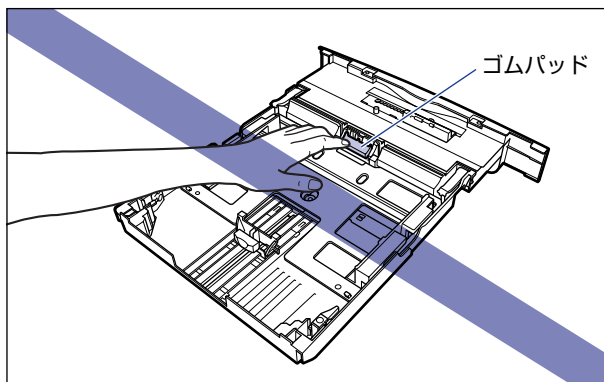
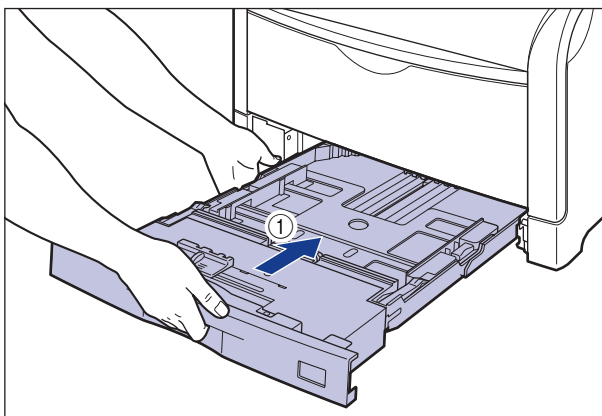
4 定着器のヒモ付き金具はヒモを持って引き抜きます。

5 ITB ユニットカバーの裏側にある梱包材を取り外します。

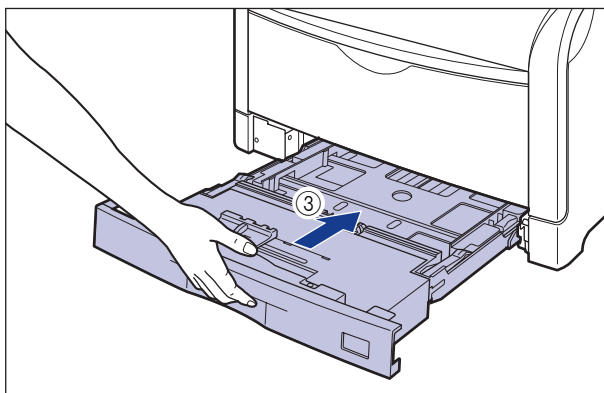
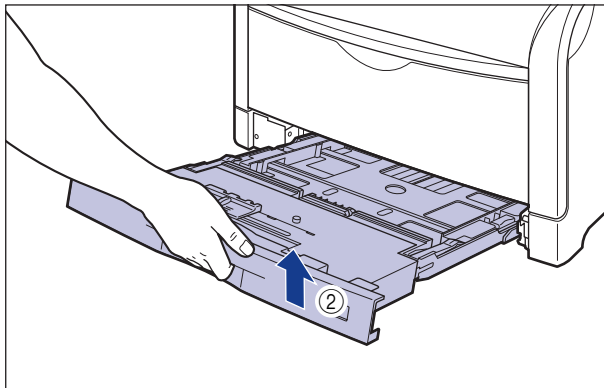
梱包材にはテープが付いています。梱包材はテープと一緒に取り外します。

6 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

7 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。

注意 前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

8 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

重要　給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

9 図の位置にあるテープを取り外します。

10 給紙カセット内部の梱包材を取り外します。

- 給紙カセットには、梱包材が取り付けられています。必ず給紙カセットを引き出し、残さずに取り外してください。
- 給紙カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。

11 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。

電源コードを接続する

本プリンタの電源コードとアース線の接続方法を説明します。接続する際には「安全にお使いいただくために」（→ P.ix）を必ずお読みください。

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]
  - 電源コンセントのアース線端子
  - 接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]
  - 水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
  - ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。
  - 電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
  - ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。
  - ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。
  - ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
  - ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください
  - ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

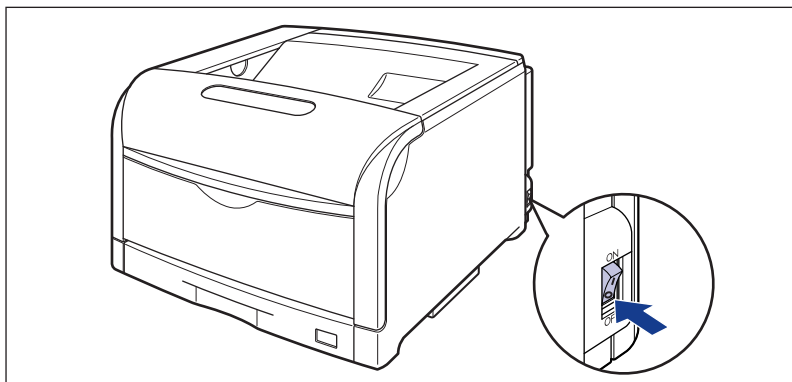
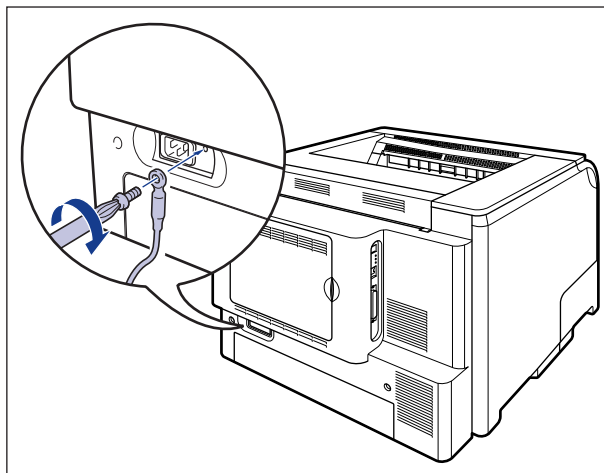
注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。
- 感電防止のため、プリンタの電源コードが接続されていないことを確認してからアース線を接続してください。
- プリンタとコンピュータがUSBケーブルで接続されているときは、感電防止のため、USBケーブルを抜くか、コンピュータの電源コードを抜いてからアース線を接続してください。

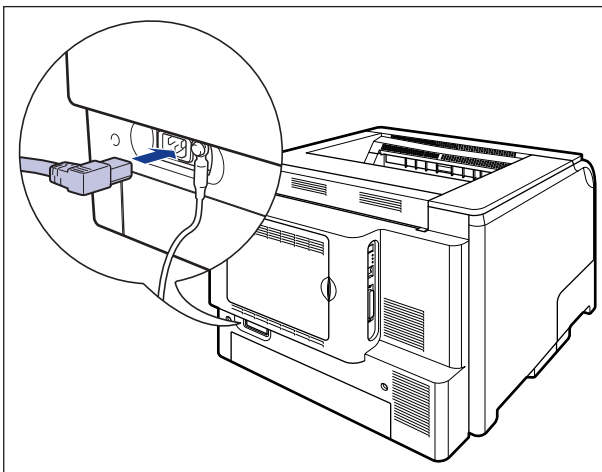
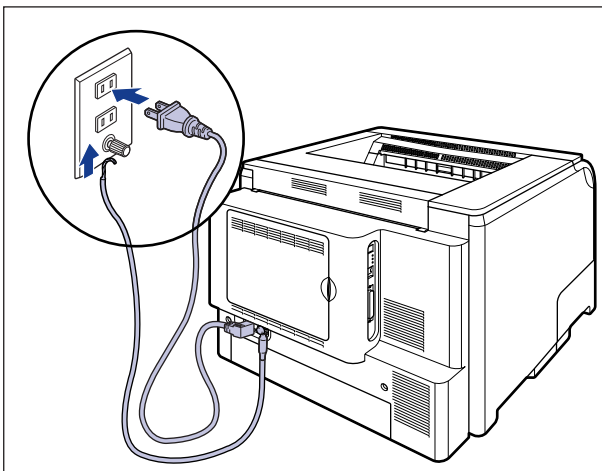
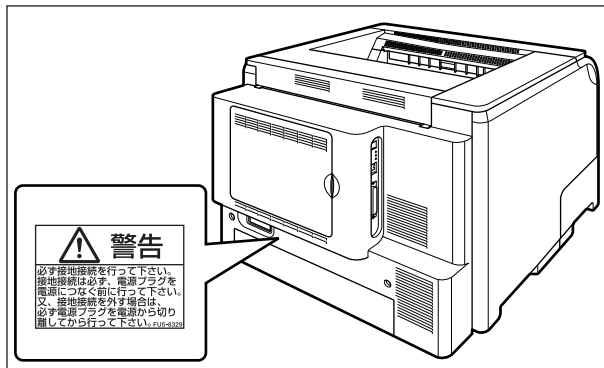
重要

- アース線を接続するときは、プリンタ、パソコン双方とも接続してください。片方だけ接続すると、機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。
- パソコン本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- 一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

電源スイッチの"○"側を押した状態がオフです。

2 アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。

重要

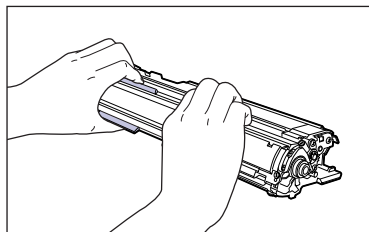
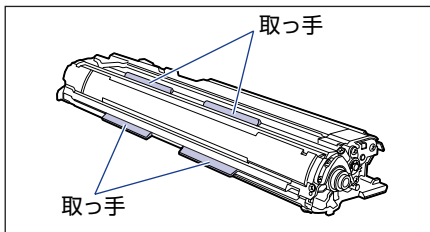
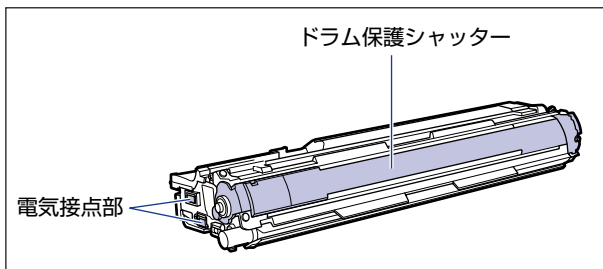
- アース線が、電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。
- アース線端子のネジを取り外すときは、ワッシャーをアース線端子の下にある溝に落とさないように気を付けて取り外してください。

3 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。

4 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

⚠警告 アース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

ドラムカートリッジをセットする

本プリンタは、工場出荷状態ではドラムカートリッジは取り付けられていません。電源コードとアース線を接続したら、必ず同梱されている 4 つのドラムカートリッジを取り付けてください。

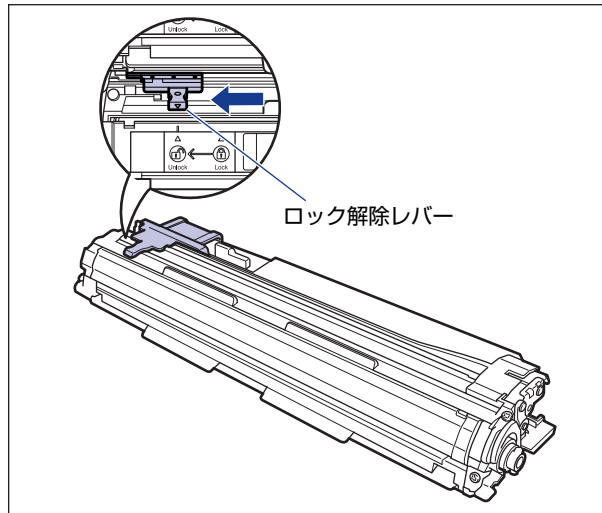
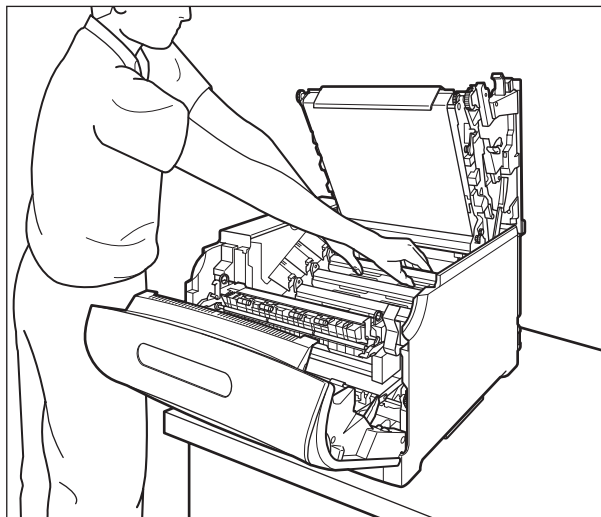
ドラムカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。取り扱いを誤ると、内部の感光ドラムが劣化し、印字品質が低下します。

警告　**ドラムカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらドラムカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。**

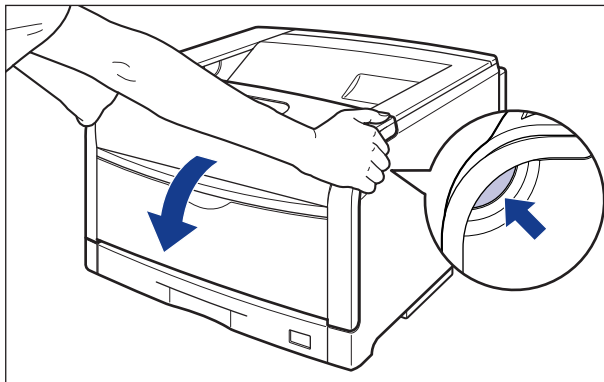
重要
- ドラムカートリッジを取り扱う際には、以下の点に気を付けてください。
  - ·必ず本プリンタに付属のドラムカートリッジを使用してください。
  - ·新品のドラムカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないでください。
  - ·ドラムカートリッジを本体から取り外したときは、すみやかにドラムカートリッジが入っていた保護袋に入れ、取り扱いには十分気を付けてください。
  - ·ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

- ·ドラムカートリッジは、保護袋に入っています。ドラムカートリッジをセットする準備ができるまで、保護袋から取り出さないでください。
- ·内部の感光ドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、電気接点部など指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

- ·ドラムカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。

· ドラムカートリッジをディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。

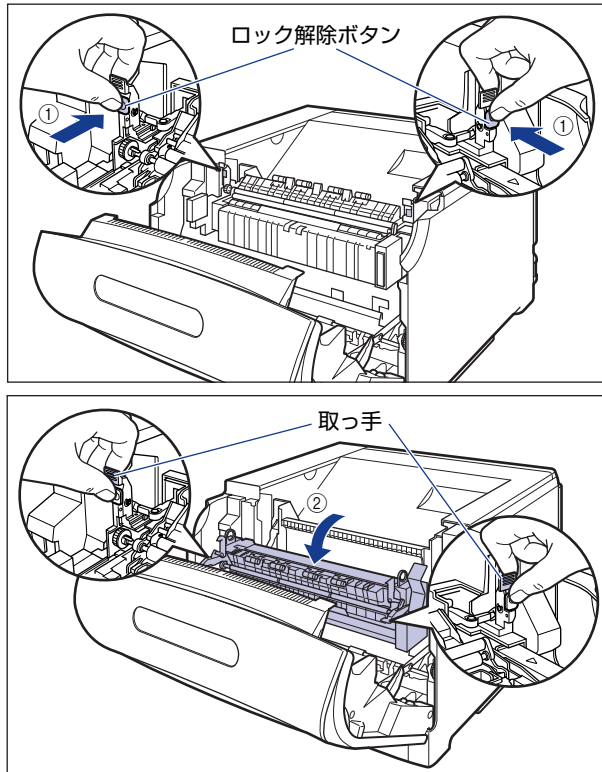
· ドラムカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近付けないでください。データ破損などの原因になることがあります。

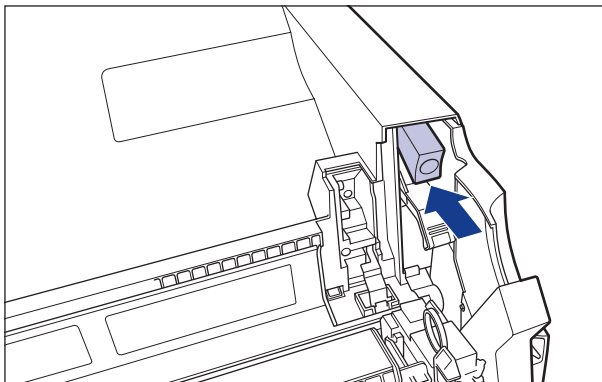
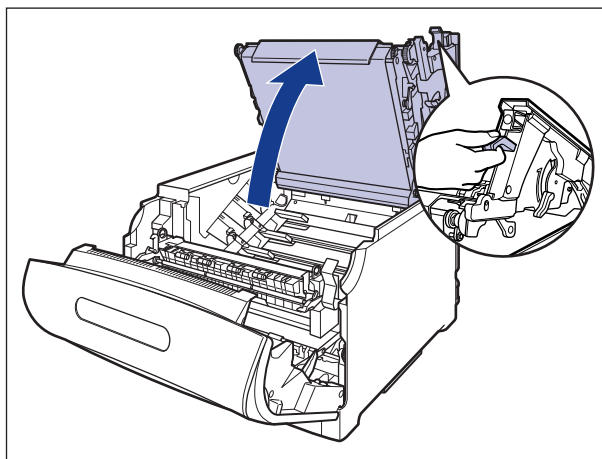
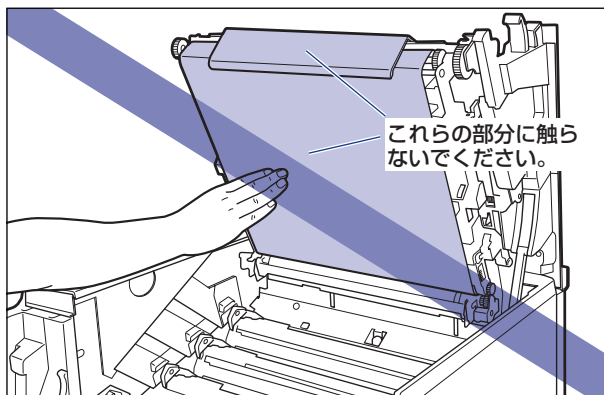
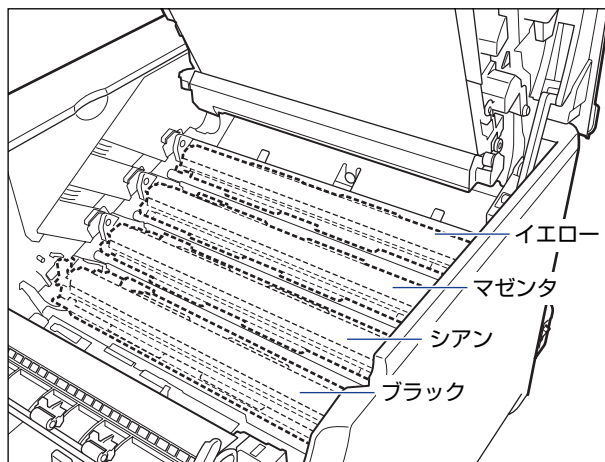
· ドラムカートリッジを取り扱う際は、青色のロック解除レバーが「🔓」の位置にあることを確認してください。

- ドラムカートリッジを取り外すときや取り付けるときは、図のようにプリンタの左側から作業を行ってください。

メモ　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 前カバーを開けます。

前カバー右側にあるレバーを押しながら、前カバーを手前に開けます。

重要　前カバーを開けるときは、必ず手差しトレイと本体の給紙カセットが閉まっていることを確認してください。

2 定着器を手前に倒します。

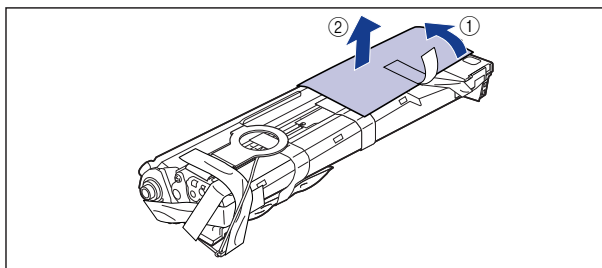
図のように定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら ①、取っ手を持って定着器を手前に倒します ②。

3 上カバーを開けます。

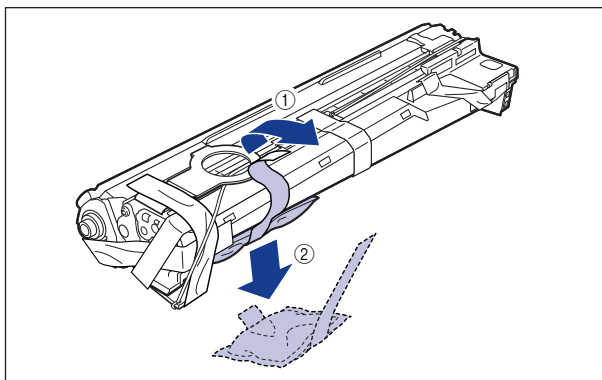
上カバーの青色のロック解除ボタンを押します。

上カバーのレバーを持って、上カバーを開けます。

- ITB ユニットの転写ベルトや ITB ユニットカバーに触れたりしないでください。転写ベルトに傷がつくと、給紙不良や印字品質の低下の原因になります。ITB ユニットの転写ベルトに触れて印字品質が低下した場合は、ユーザーズガイド「第 4 章日常のメンテナンス」を参照して、ITB ユニットの転写ベルトの清掃を行ってください。ITB ユニットの転写ベルトにトナーが付着している場合は、自動的に清掃する機能が付いていますので清掃する必要はありません。

- ドラムカートリッジを取り付ける位置は、図のように奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックとなっています。

4 ドラムカートリッジを箱から取り出したあと、保護袋から取り出します。

重要

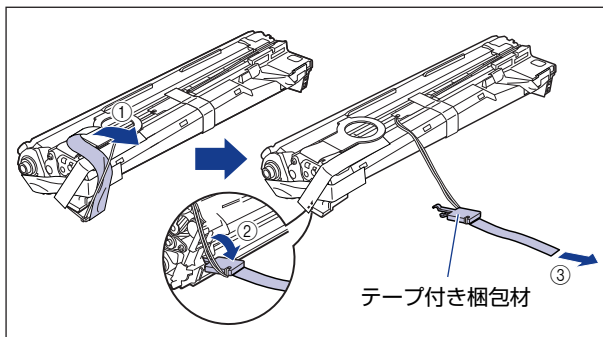
ドラムカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、ドラムカートリッジを取り出すときに必要になります。

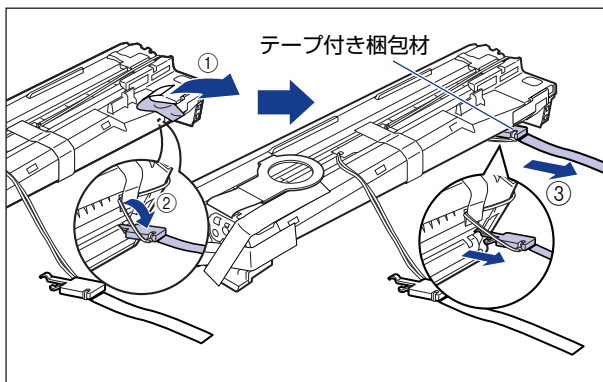
5 注意事項が記載されている用紙をドラムカートリッジから取り外して、内容をよく読みます。

用紙はテープをはがしてから ①、取り外します ②。

6 図の位置にあるテープ付き乾燥剤（1 個）を取り外します。

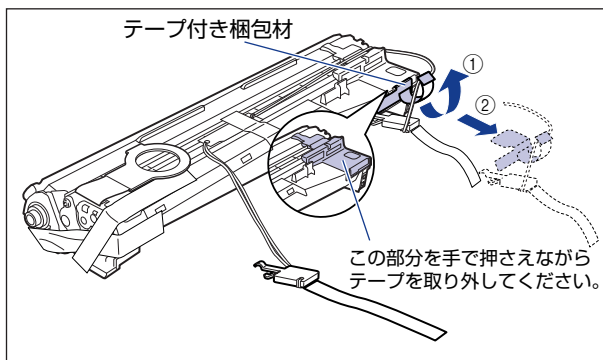
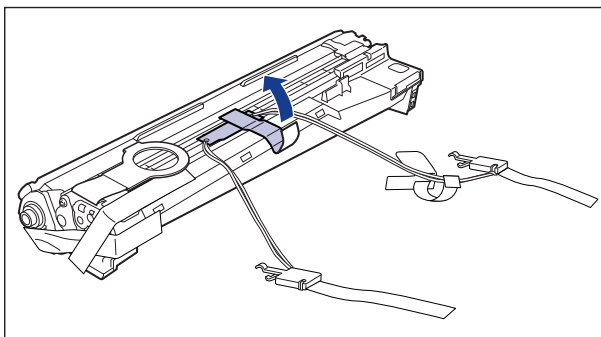
テープ付き乾燥剤はテープをはがしてから ①、取り外します ②。

重要　取り外した乾燥剤は、地域の条例にしたがって処分してください。

7 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

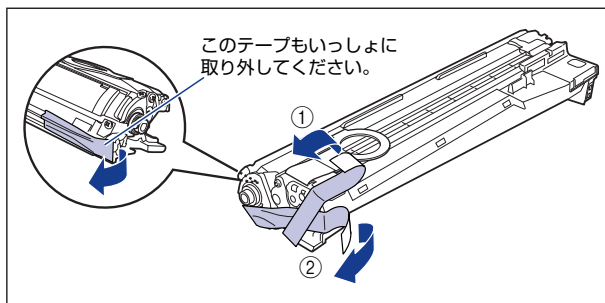
テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。

8 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

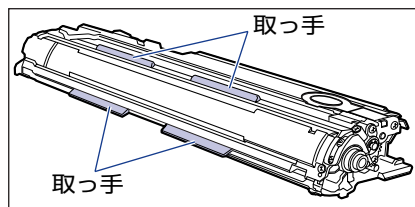
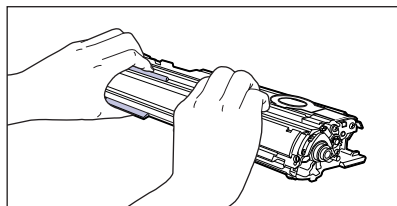
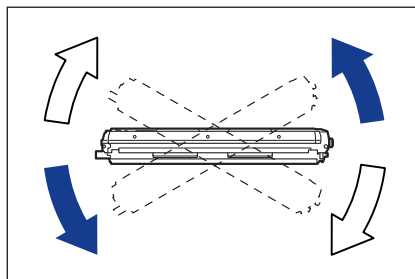
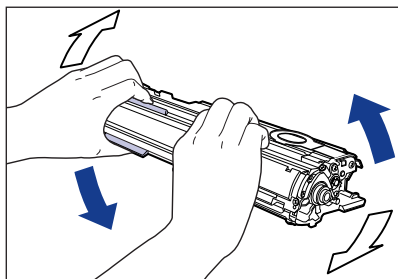
テープ付き梱包材は、テープを取り外し ①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから ②、取り外します ③。

9 図の位置にあるテープ付き梱包材（1 個）を取り外します。

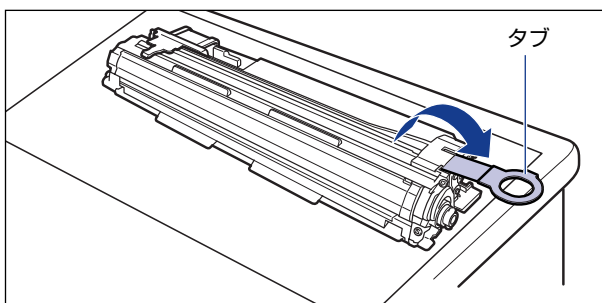
テープ付き梱包材は、テープをはがしてから ①、梱包材を引き抜いてください ②。

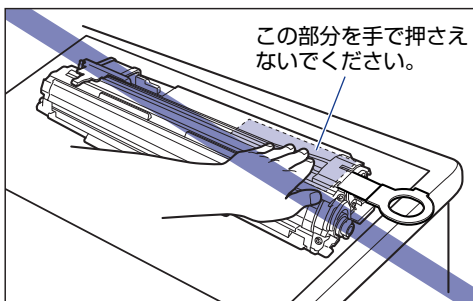
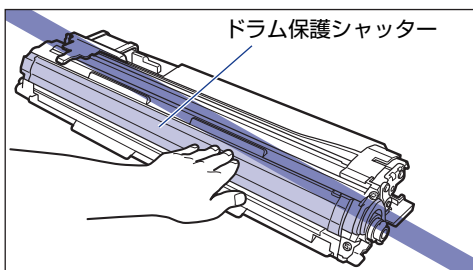
テープを取り外す際は、青色のシャッターを手で押さえながらゆっくりと取り外します。

10 図の位置にあるテープ（1 枚）とタグ（2 個）を取り外します。

重要　取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

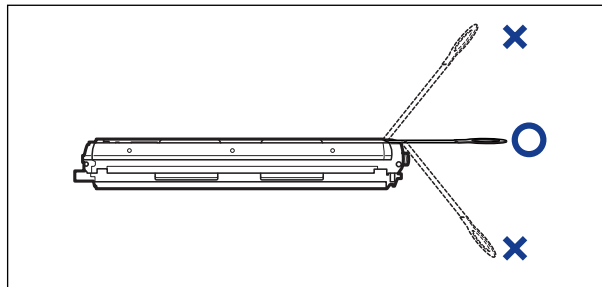
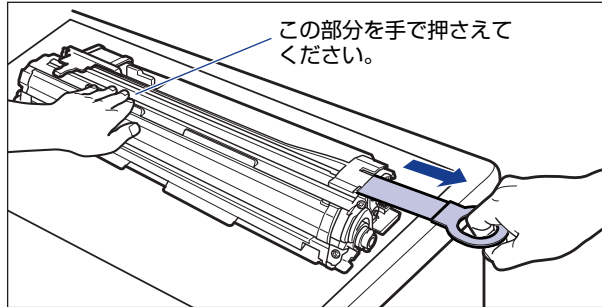
11 図の位置にあるテープ（3 枚）を ①、② の順に取り外します。

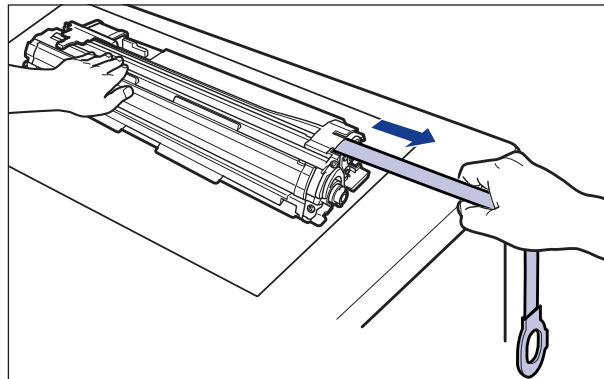
② で取り外すテープは、テープの後端にもう 1 枚のテープが貼り付いていますので、いっしょに取り外します。

12 ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ち、図のように往復 10 ～ 12 回振って、内部の現像剤を均一にならします。

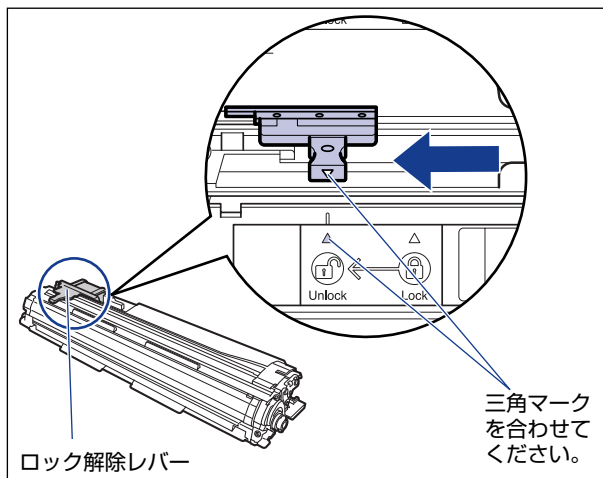
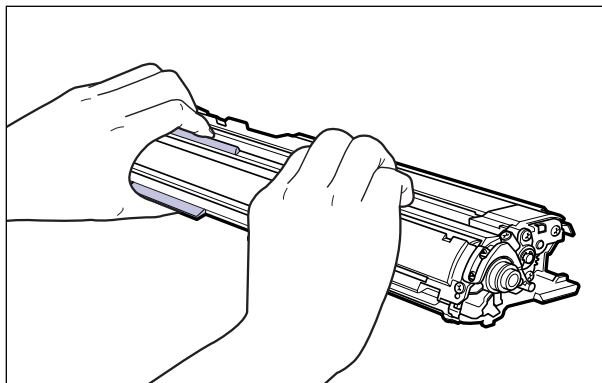
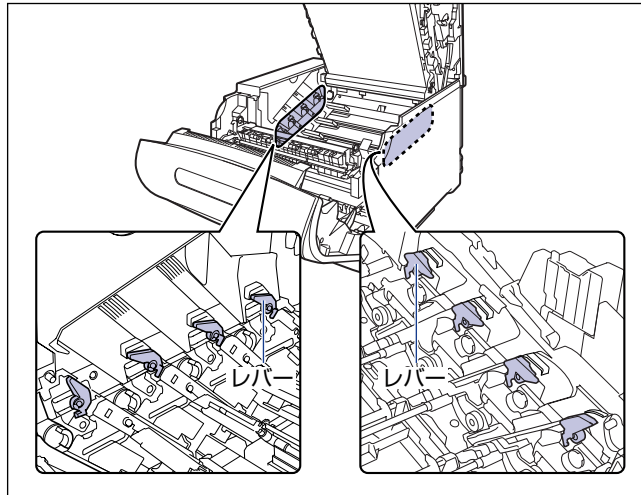
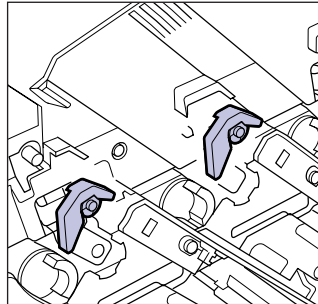
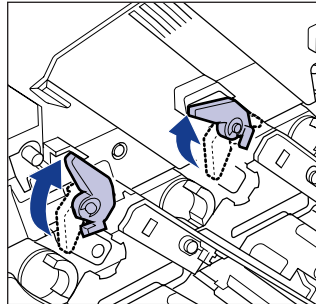
ドラムカートリッジの青色の取っ手を持ちます。

ドラムカートリッジを図のように往復 10 ～ 12 回振ります。

重要 現像剤が均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

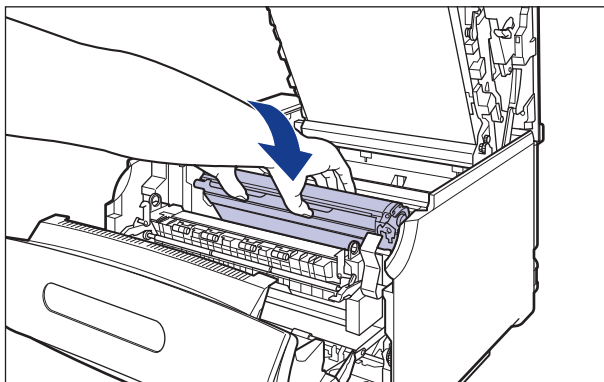
13 平らな場所に用紙などを敷いて、その上にドラムカートリッジを置き、シーリングテープのタブを図のように倒します。

重要

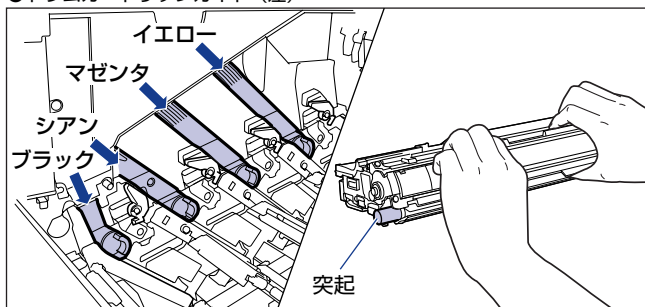
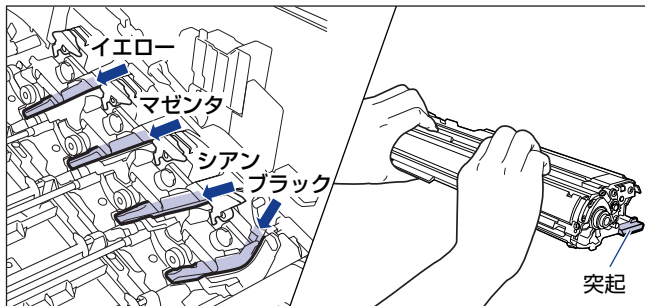
- ドラムカートリッジを置くときは、ドラムカートリッジの底面で机などを傷つけないために、用紙などをドラムカートリッジの下に敷いてください。
- シーリングテープを引き抜くときは、シーリングテープの引き出し口付近を手で押さえないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

14 ドラムカートリッジを押さえながらシーリングテープ(長さ約70cm)をゆっくりと水平にまっすぐ引き抜きます。

シーリングテープを引き抜く際、重くなる場合がありますが故障ではありませんので最後まで完全に引き抜きます。

重要

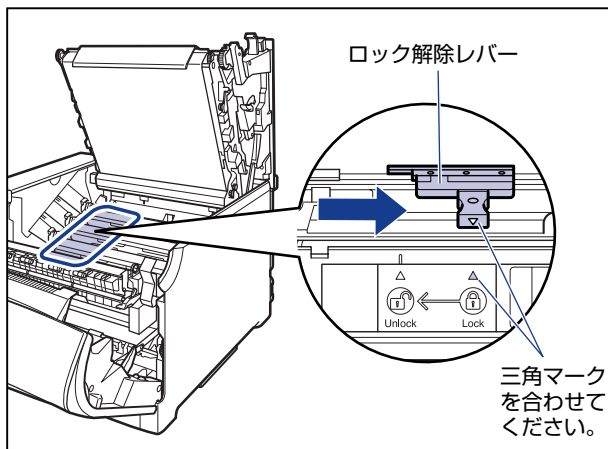
- シーリングテープのタブを持って引き抜きにくい場合は、図のようにテープ部分を持って引き抜いてください。ただし、シーリングテープには、トナーが付着していますので、トナーで手が汚れることがあります。

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。
- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがドラムカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

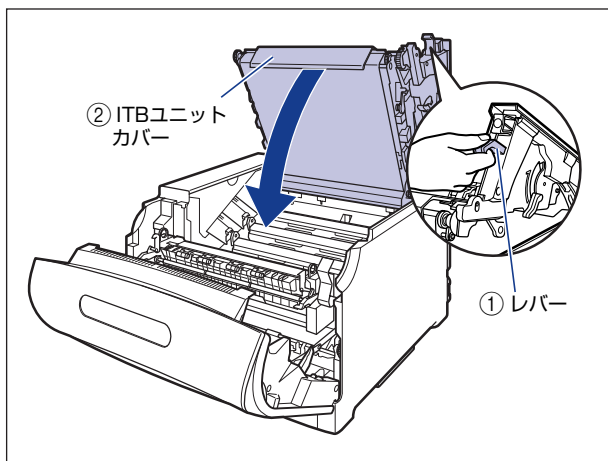
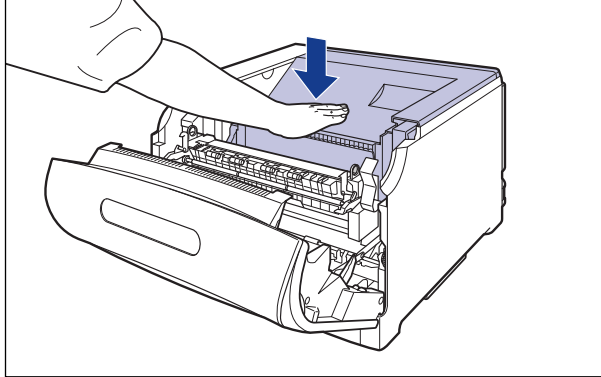
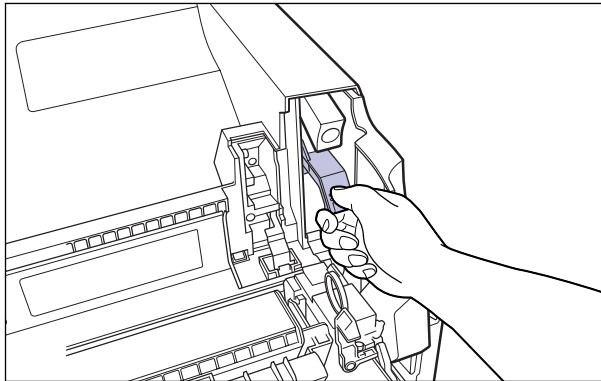
15 ドラムカートリッジをセットする前に、図のようにロック解除レバーの三角マークとラベルの「🔓」の三角マークの位置を同じ位置に合わせてください。

ドラムカートリッジをセットするときは、図のように青色の取っ手を持ちます。

16 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように正しい位置にあるか確認します。

正しい位置にレバーがないとドラムカートリッジを取り付けることはできません。図のようにレバーを正しい位置まで押し上げます。

17 ドラムカートリッジを本体にブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の順で取り付けます。

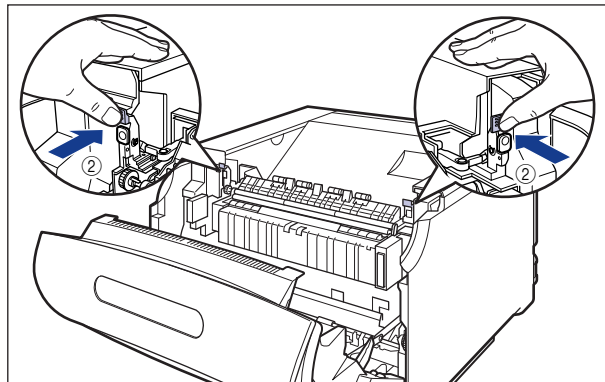
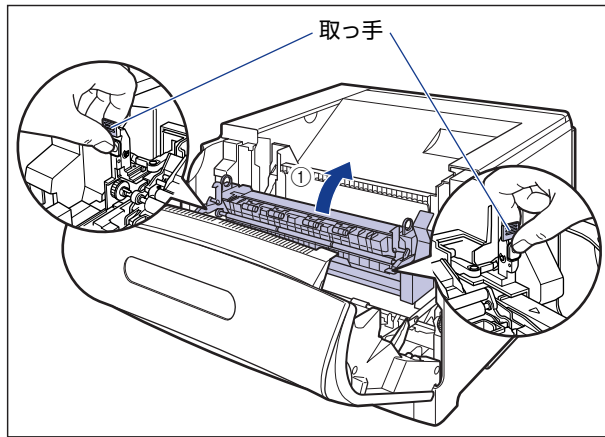
ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けます。

図のようにドラムカートリッジの左右の突起をドラムカートリッジガイドに挿入します。

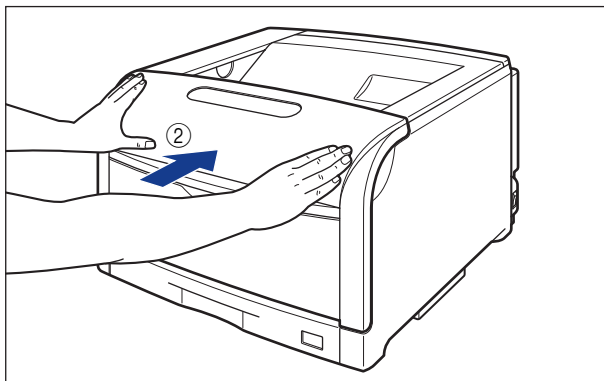
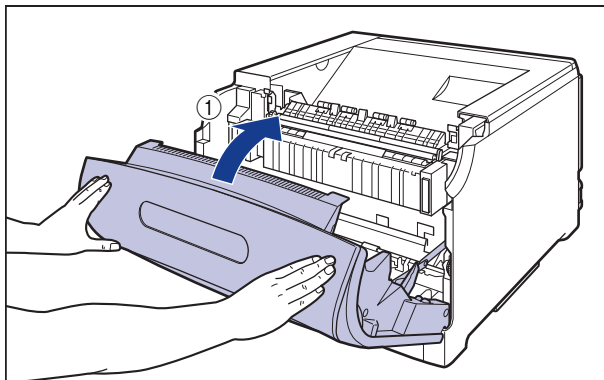
●ドラムカートリッジガイド（左）

●ドラムカートリッジガイド（右）

重要 ドラムカートリッジは奥に突き当たるまで確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、印字不良の原因になります。

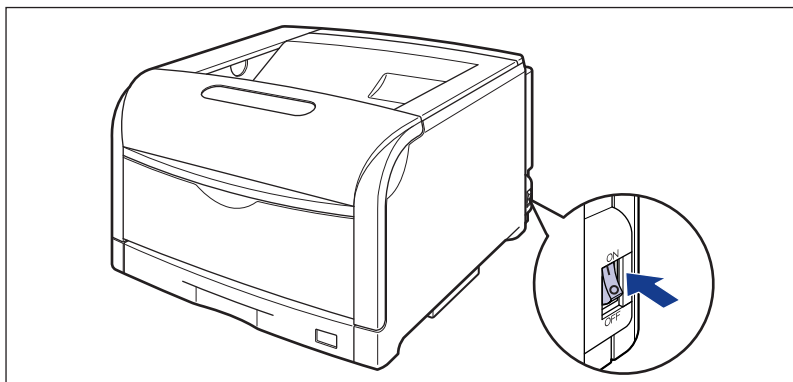
18 青色のロック解除レバーを「🔒」の位置までスライドさせて、ロックします。

ロック解除レバーの三角マークとラベルの三角マークが合う位置までスライドさせます。

19 すべてのドラムカートリッジを取り付けたら、上カバーを閉めます。

プリンタの上カバーはレバーを持って ①、ゆっくりと閉めます。
上カバーを勢いよく閉めると、ITB ユニットカバー ② が元の位置に戻らず、プリンタが破損する原因になります。

図のように上カバーの「PUSH」と記載されている部分を押して、上カバーを突き当たるまで確実に閉めます。

図のようにレバーを持って、上カバーが開かないことを確認します。

重要　上カバーは突き当たるまで確実に閉めてください。確実に閉めないと、印字不良の原因になります。

20 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し ①、左右の取っ手を図のように押します ②。

21 前カバーを閉めます。

図のように、両手で前カバーに手をそえて ①、両手で前カバーを押して閉めます ②。

注意 前カバーは、図のように前カバーの前部を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

22 プリンタの電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

「14　トナー / カバー　カクニン」が表示されます。

23 プリンタの動作音が止まるまで、約３～４分お待ちください。

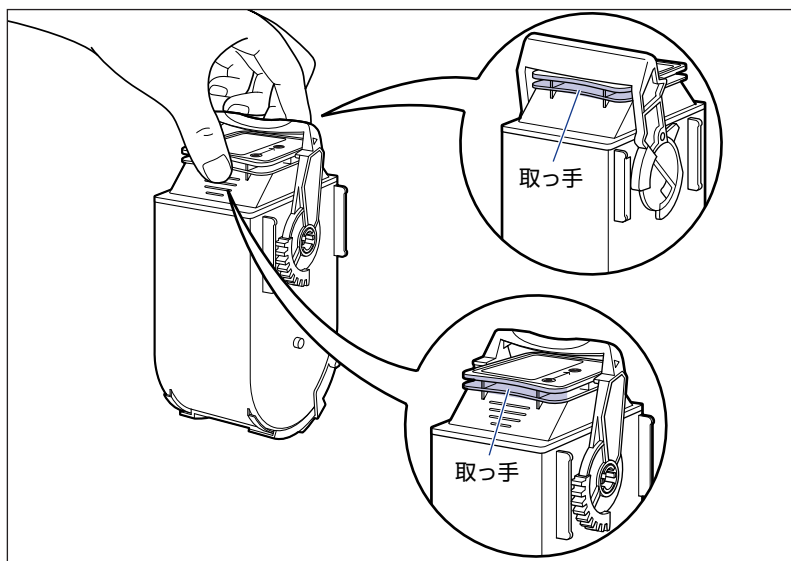
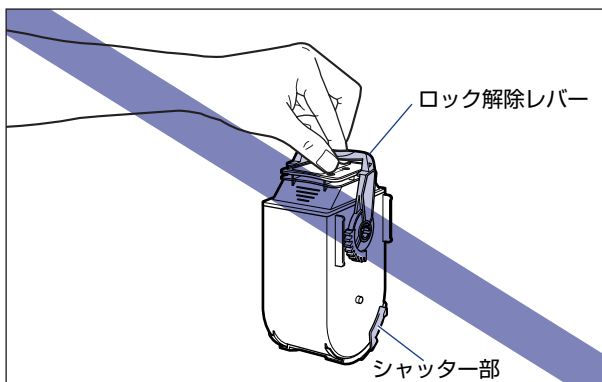
プリンタの電源をオンにしてから、約３～４分でドラムカートリッジの準備が完了します。ドラムカートリッジの準備が完了すると、プリンタの動作音が止まります。電源をオンにしたあと、４分以上待ってから、「トナーカートリッジをセットする」（→ P.2-40）を参照して、トナーカートリッジを取り付けてください。

トナーカートリッジをセットする

本プリンタは、工場出荷状態ではトナーカートリッジは取り付けられていません。ドラムカートリッジを取り付けたら、必ず同梱されている 4 色のトナーカートリッジを取り付けてください。
トナーカートリッジは、精密な機構の部品で構成されています。取り扱いを誤ると、印字品質が低下します。

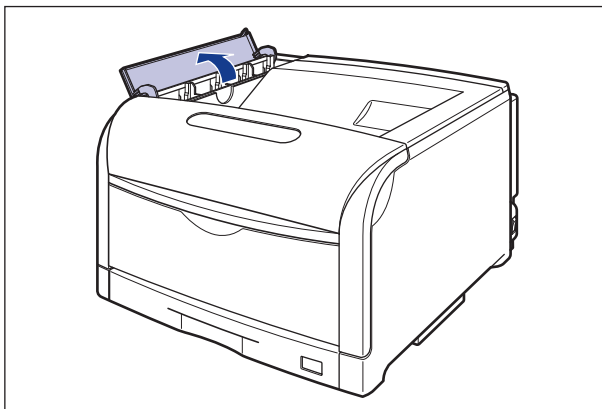
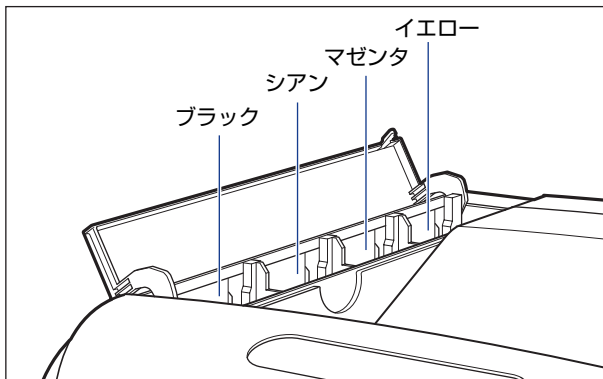
注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

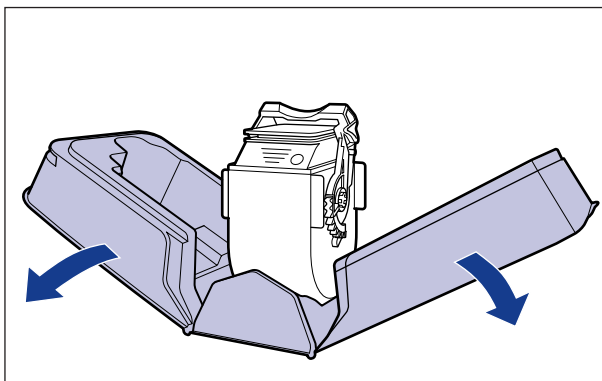
重要 トナーカートリッジを取り扱う際には、次の点に気を付けてください。

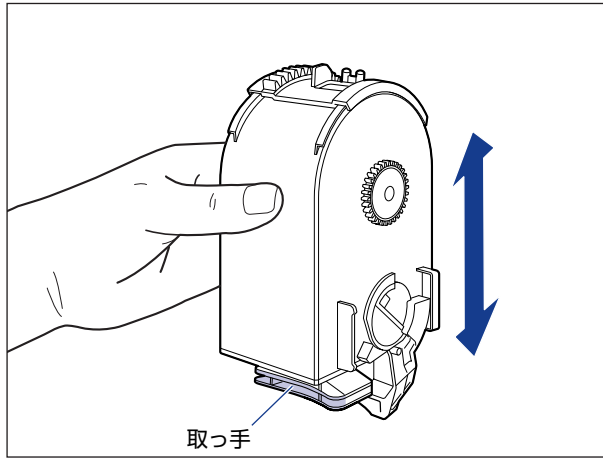
- 必ず本プリンタに付属のトナーカートリッジを使用してください。
- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護パックから取り出さないでください。
- トナーカートリッジを本体から取り外したときは、すみやかにトナーカートリッジが入っていた保護パックに入れ、取り扱いには十分気を付けてください。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように取っ手を持って取り扱ってください。

・ 図のようにトナーカートリッジのロック解除レバーを持ったり、シャッター部を触ったりしないでください。また、指定された以外の部分は、持ったり触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

メモ　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

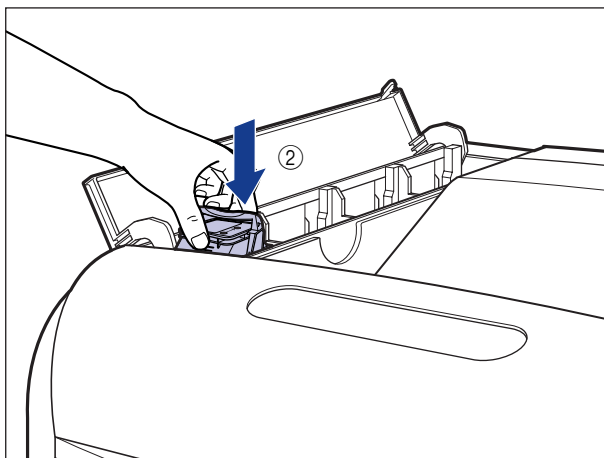
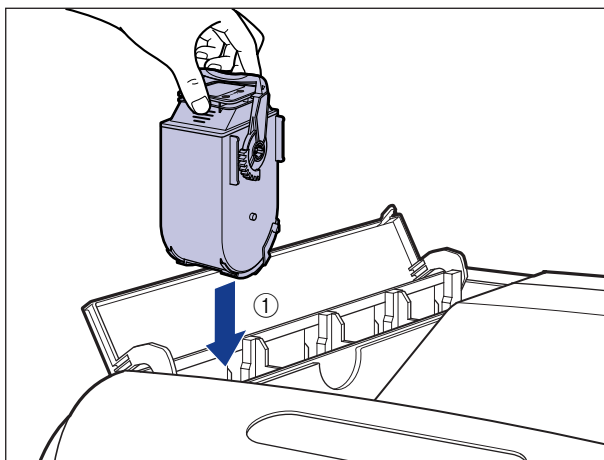
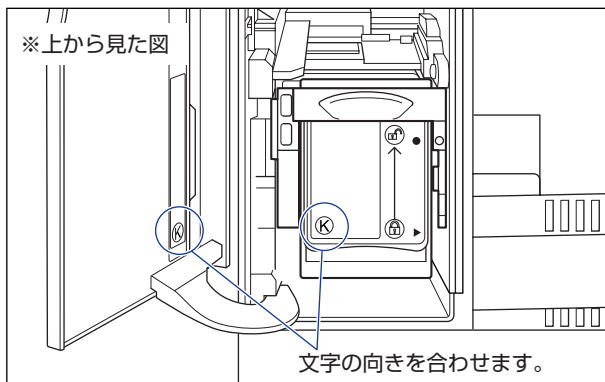
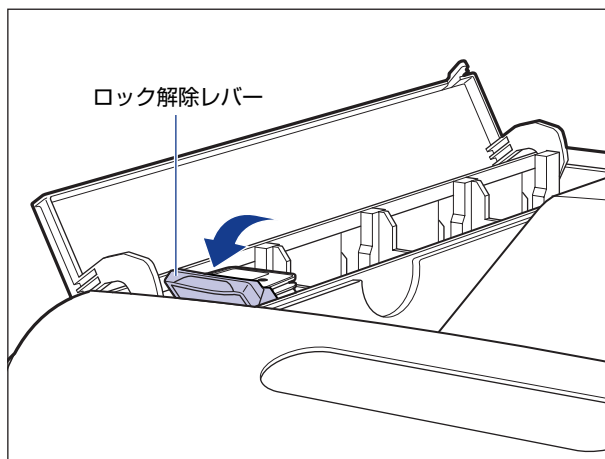
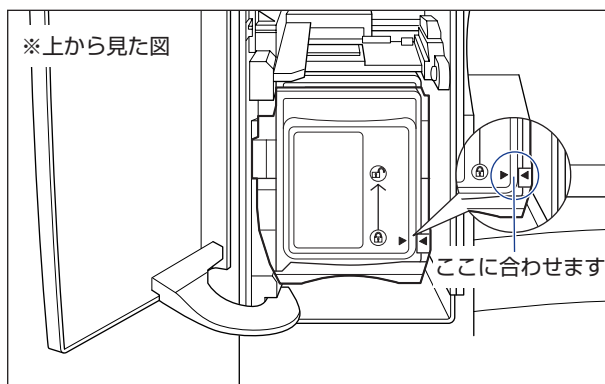
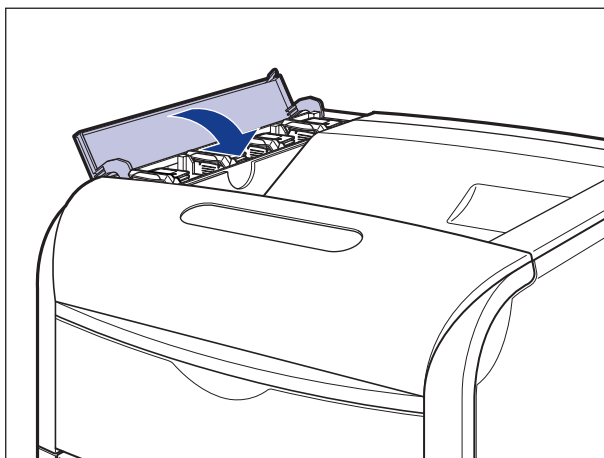
1 プリンタの動作音が止まっていることを確認します。

ドラムカートリッジを取り付けたあと、プリンタの電源をオンにしてから、約３～４分でドラムカートリッジの準備が完了します。ドラムカートリッジの準備が完了すると、プリンタの動作音が止まります。

2 トナーカバーを開けます。

重要　トナーカートリッジを取り付ける位置は、図のように奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックとなっています。

3 トナーカートリッジを箱から取り出したあと、保護パックから取り出します。

保護パックは上面の中央部を持って、左右に開きます。

重要　トナーカートリッジが入っていた保護パックは、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

4 図のようにトナーカートリッジの取っ手部分を下側にして、上下に往復10回振って、内部のトナーを均一にならします。

重要　トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

5 図のように取っ手を持って、トナーカートリッジを本体に挿入し ①、止まるまでゆっくりと押し込みます ②。

トナーカートリッジとトナーカバーにある文字の向きが合うように取り付けます。

6 ロック解除レバーを「🔒」の位置まで倒して、トナーカートリッジをロックします。

ロック解除レバーの三角マークをトナーカートリッジの三角マークに合わせます。

7 すべてのトナーカートリッジを取り付けたら、トナーカバーを閉めます。

重要

- トナーカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にトナーカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、トナーカバーを開けたまま長時間放置しないでください。
- トナーカートリッジを取り外す場合は、トナーカートリッジのロック解除レバーを「(解除マーク)」の位置まで倒して、ロックを解除してから、取り外します。

メモ

トナーカートリッジを取り付けたあと、「1G　X　トナー　コウカン」(X は K または Y、M、C) が表示された場合は、表示された色のトナーカートリッジを取り出して、取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にならしてから取り付けてください(“K”はブラック、“Y”はイエロー、“M”はマゼンタ、“C”はシアンを表しています)。

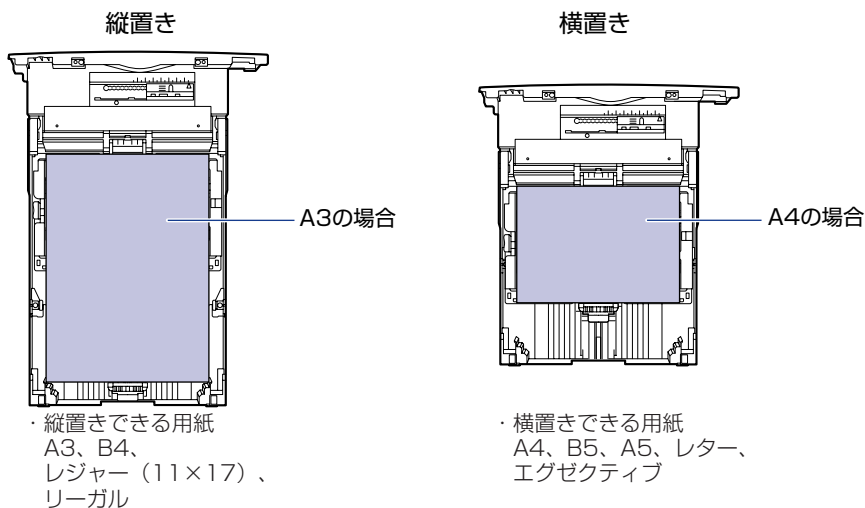
用紙をセットする

本プリンタの給紙カセットには、A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17)、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの用紙を普通紙（64g/m^2 の場合）で約 250 枚までセットできます。
A3、B4 など縦置きに用紙をセットする場合は、給紙カセットの長さを調節して用紙をセットします。

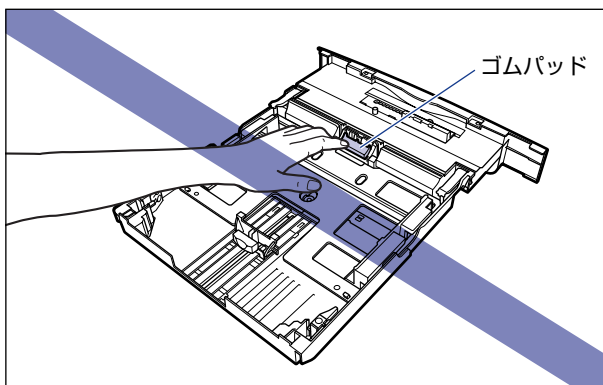
縦置き

・縦置きできる用紙
A3、B4、
レジャー（11×17）、
リーガル

横置き

・横置きできる用紙
A4、B5、A5、レター、
エグゼクティブ

重要

- プリント中に給紙カセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 普通紙（64 ～ 105/m^2)、ラベル用紙以外の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- ラベル用紙をプリントする場合は、給紙カセットの用紙タイプの設定を「ラベル用紙」に設定してください。
- バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 250 枚、ラベル用紙で約 50 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。
- 使用できる用紙の詳細は、ユーザーズガイド「第 3 章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。
- セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。

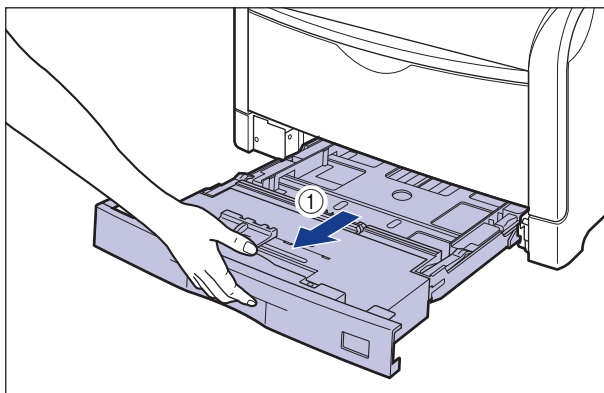
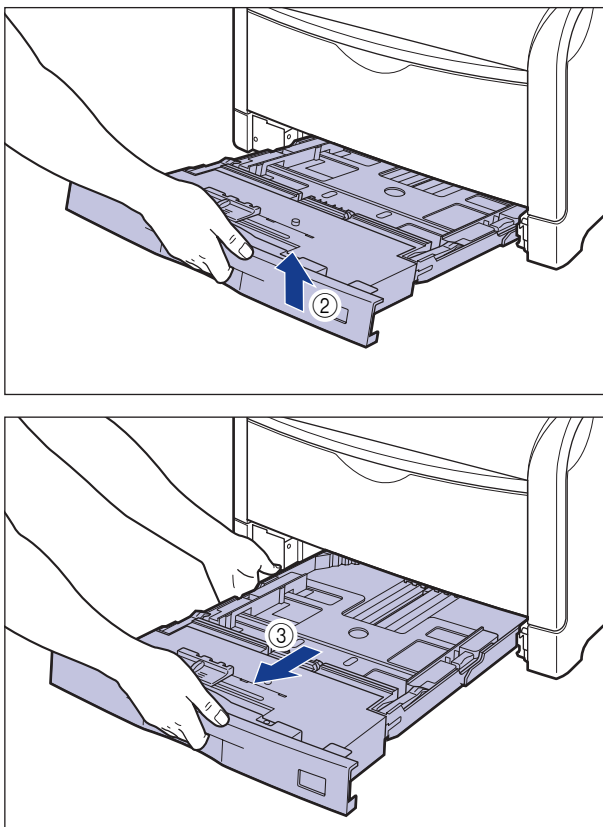
● 給紙カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。

給紙カセットに用紙をセットする

トナーカートリッジを取り付けたら、給紙カセットに用紙をセットします。次の手順にしたがって、正しく用紙をセットしてください。

メモ プリンタ本体の給紙カセット（カセット 1）とオプションのペーパーフィーダの給紙カセット（カセット 2、カセット 3、カセット 4）では用紙のセット方法は異なります。ペーパーフィーダの用紙のセット方法については、ユーザーズガイド「第３章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。

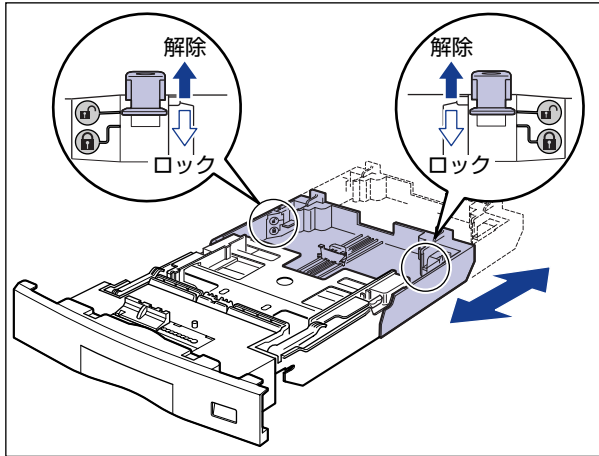
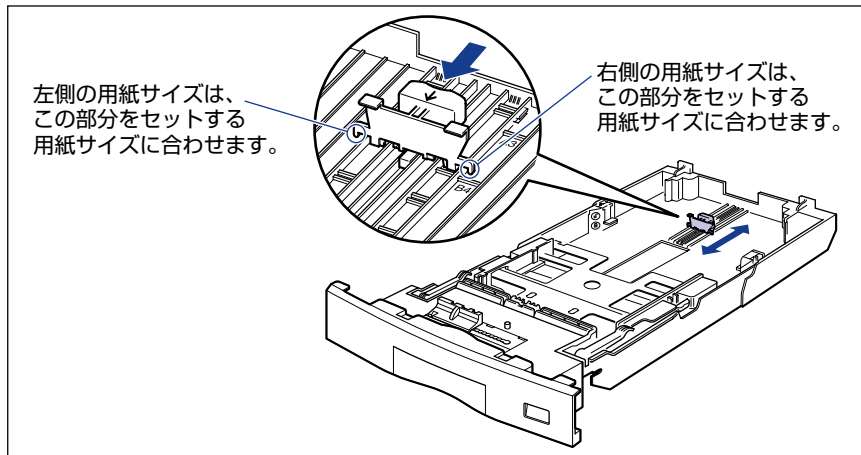
---

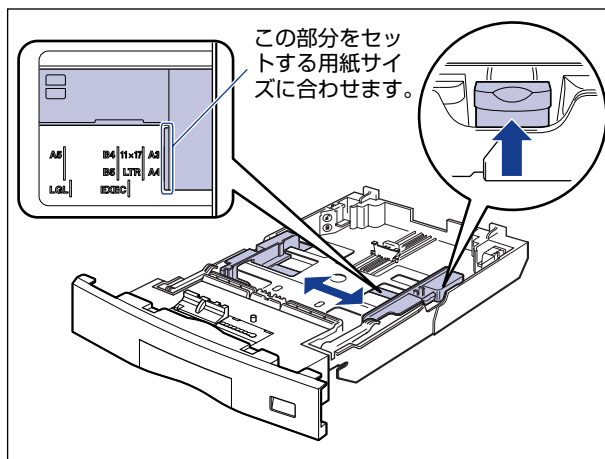
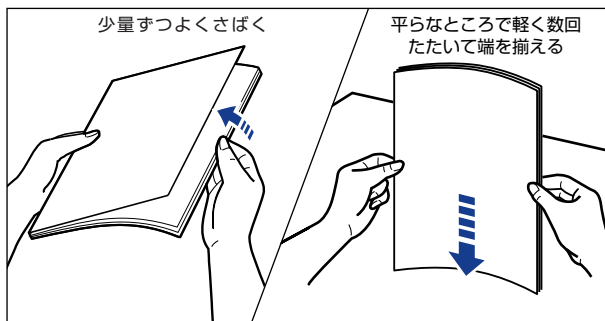
1 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

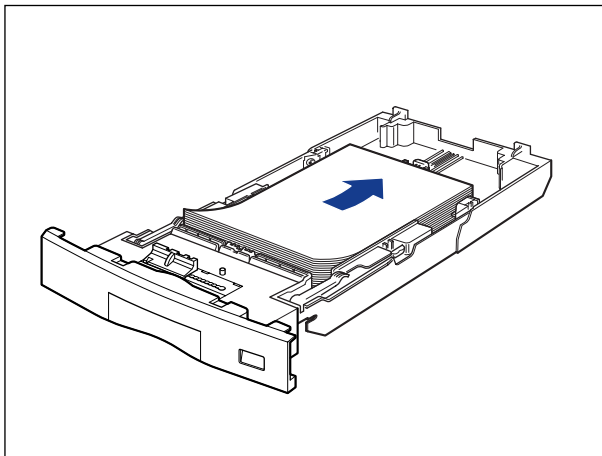
重要 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

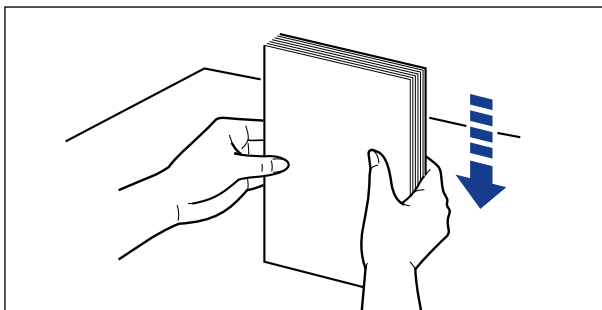
2 セットする用紙に合わせて、給紙カセットの長さを調節します。

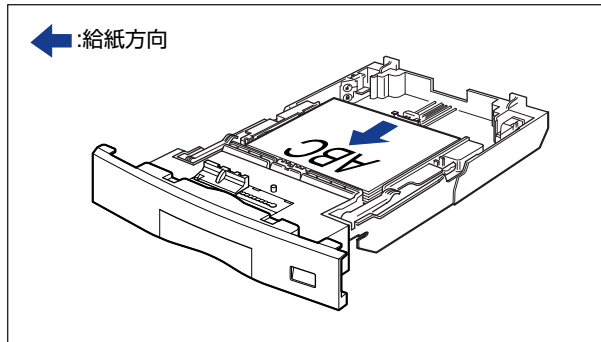
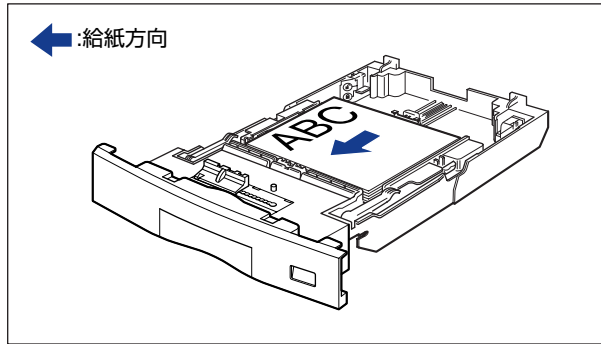
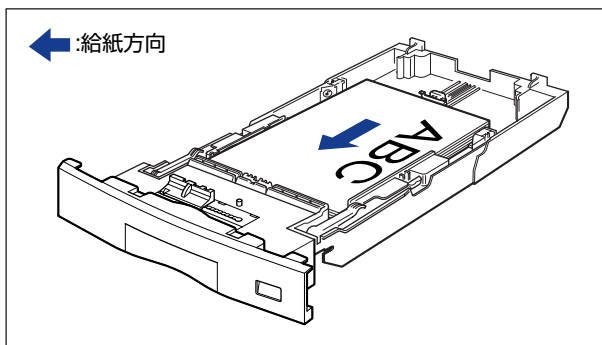
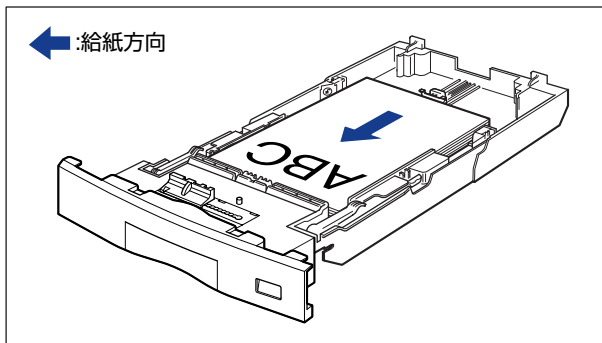
A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、給紙カセットを押し込みます。
A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、給紙カセットを引き出します。
給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーをゆっくりと持ち上げロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを押し下げてロックします。

3 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせます。

4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

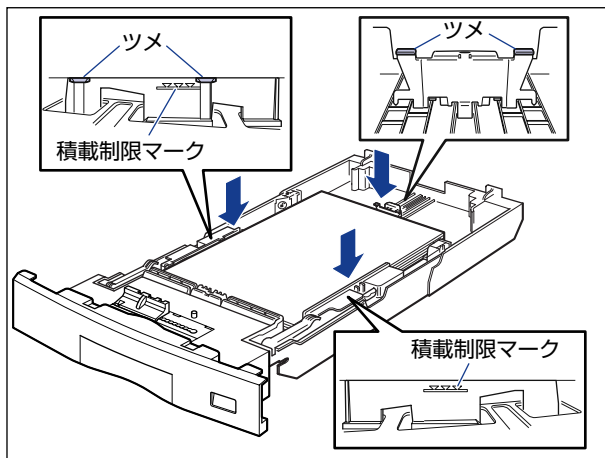
側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

5 ラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

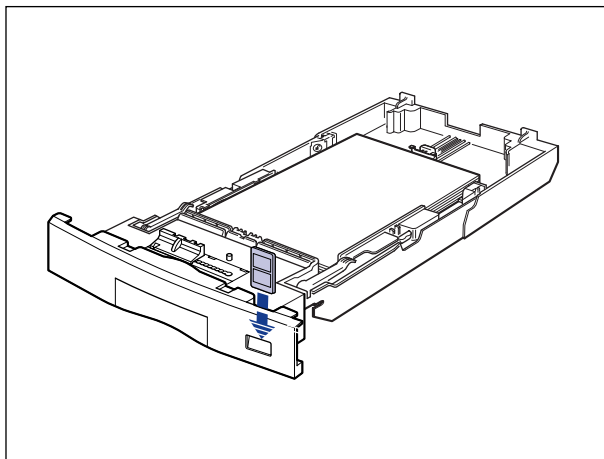
重要 ラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。

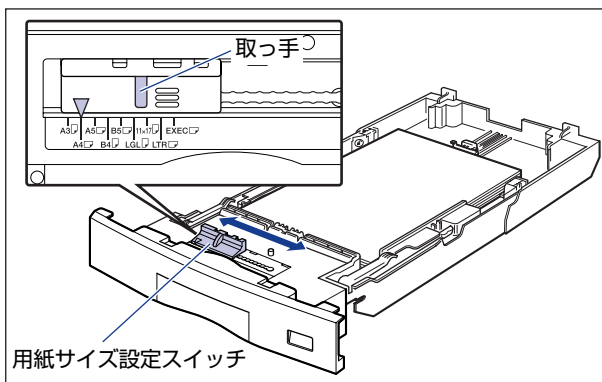
6 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。

⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ

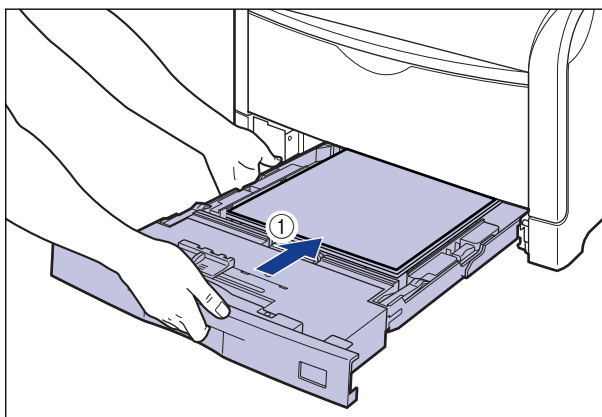
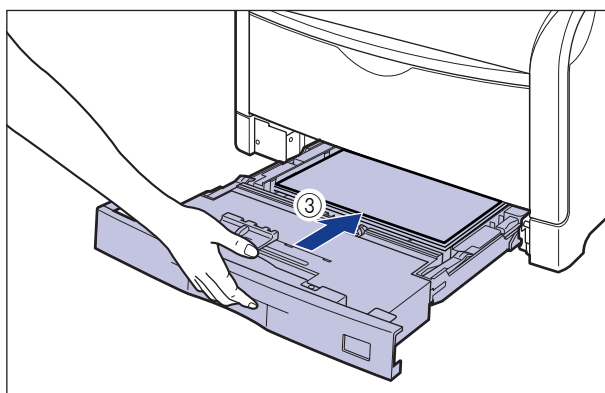
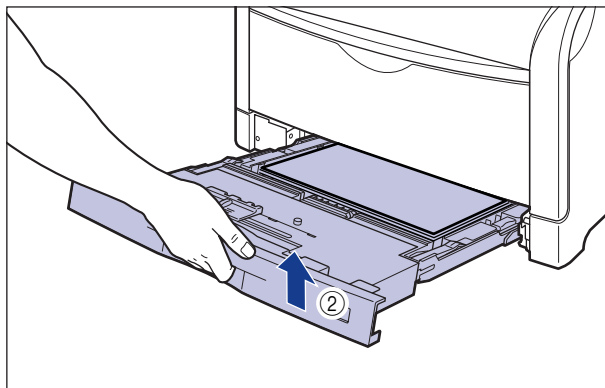
- レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。
  - A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、以下のようにセットします。

・A3、B4、レジャー（11 × 17)、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（プリントする面）を上に向け、以下のようにセットします。

7 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

重要 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 250 枚、ラベル用紙で約 50 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

8 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのシールを貼り、給紙カセット前面の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

9 用紙サイズ設定スイッチの取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチの三角マークをセットした用紙のサイズに合わせます。

工場出荷時は A4 サイズにセットされています。

重要　セットした用紙のサイズと用紙サイズ設定スイッチが合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体にセットしてください。用紙サイズ設定スイッチが合っていないと、誤動作の原因になります。

10 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

図のように給紙カセットを両手で持って、止まる位置まで差し込みます ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ③。

パソコンと接続する

本プリンタをパソコンやネットワークに、プリンタケーブルやネットワークケーブルで接続します。本プリンタは、パラレルコネクタ（片方向通信のみ対応）、USB コネクタ、LAN コネクタを標準装備しています。

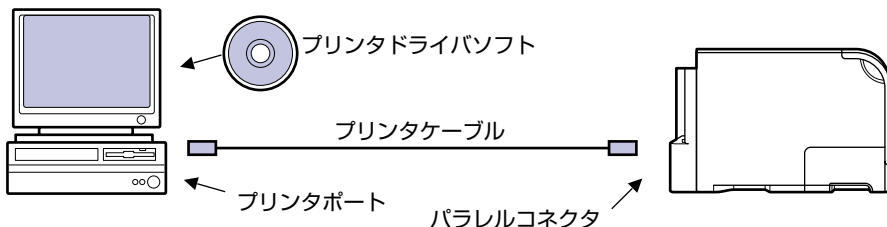
重要　本プリンタにプリンタケーブルやネットワークケーブルは付属していません。あらかじめご使用のパソコンやネットワークに合ったケーブル（別売）をご用意ください。

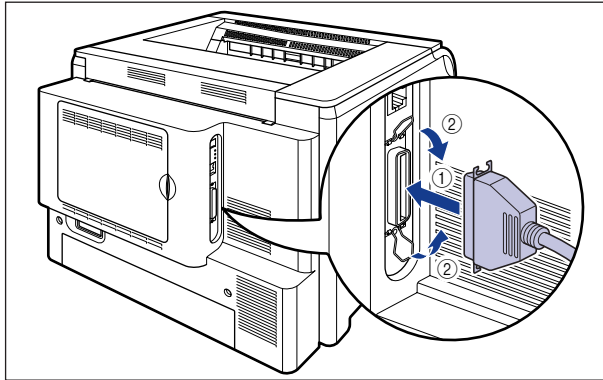
メモ　本プリンタに付属のプリンタドライバやユーティリティソフトのインストール方法については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」を参照してください。

DOS/Windows パソコンとの接続

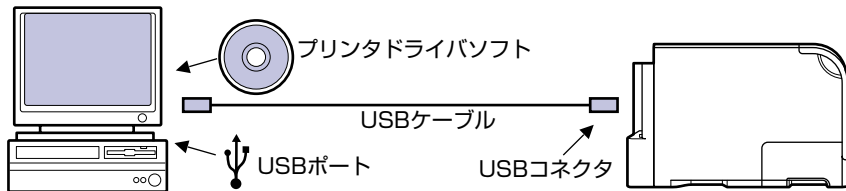
本プリンタをDOS/Windows パソコンに直接接続するときは、プリンタポートまたはUSB ポートに接続します。

プリンタポートに接続する場合

PC-9800 シリーズや IBMPC/AT 互換機（DOS/V パソコン）、その他の DOS/Windows パソコンのプリンタポートは、一般的にパラレルインタフェース（IEEE1284 準拠）です。お使いのパソコン用のプリンタケーブルで本プリンタのパラレルコネクタとパソコンのプリンタポートを接続します。

注意　プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因になることがあります。
① 本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
② パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

1 プリンタケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ背面のパラレルコネクタへ接続し ①、両側の留め金を掛けます ②。

2 プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

USB ポートに接続する場合

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備したパソコンの場合は、USB ケーブルで本プリンタ背面の USB コネクタとパソコンの USB ポートを接続します。

警告

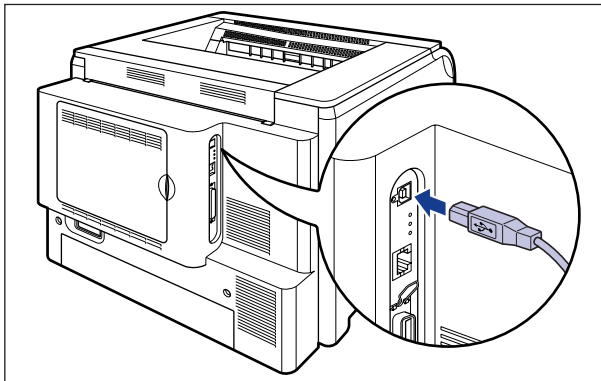
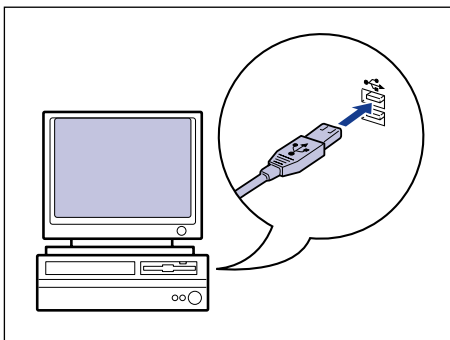
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

重要

- USB ケーブルは、パソコンやプリンタの電源が入っているときでも、ケーブルの抜き差しが行えます。ただし、次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・パソコンの電源を入れた後の OS（Windows）起動中
  - ・プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源がオンになっている状態で USB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。

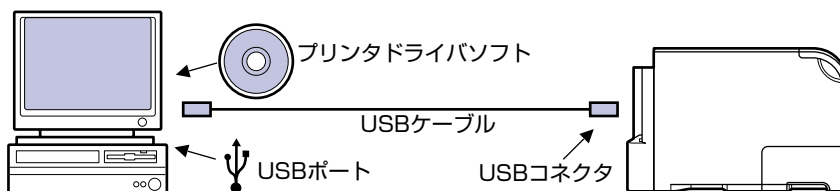
メモ

- USBインタフェースは、接続するコンピュータのOSによって、以下のように異なります。詳細については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
  - ･Windows 98/Me：USB Full-Speed（USB 1.1 相当）
  - ･Windows 2000/XP/Server 2003：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB 1.1 相当）
- 本プリンタをUSBケーブルで接続する場合は、メーカーによって USBの動作が保証されているパソコンをご使用ください。
- お使いのパソコンに対応した USB ケーブルがおわかりにならない場合は、パソコンを購入した販売店にお問い合わせください。

1 USB ケーブルの B タイプ(四角い)側を本プリンタ背面の USB コネクタへ接続します。

2 USB ケーブルの A タイプ(平たい)側をパソコンのUSB ポートへ接続します。

Macintosh パソコンとの接続

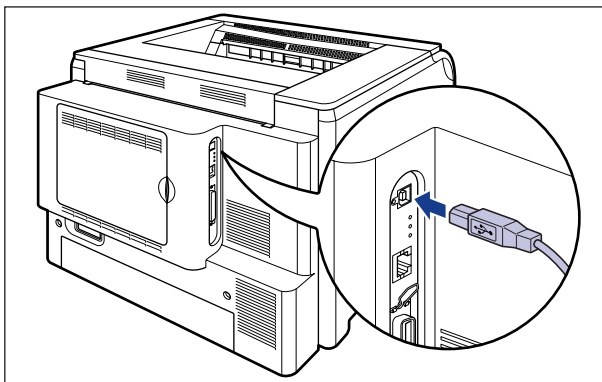
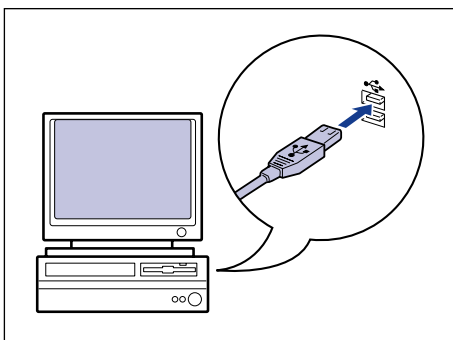
本プリンタを Macintosh に直接接続するときは、USB ポートに接続します。

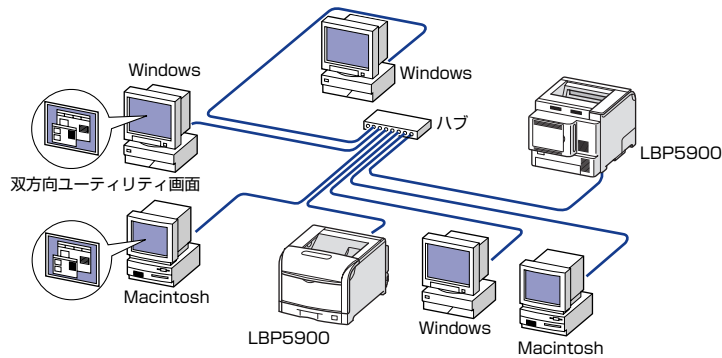
USB ポートに接続する場合

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備した Macintosh は、USB ケーブルで本プリンタ背面の USB コネクタと Macintosh の USB ポートを接続します。

警告
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

重要
- USB ケーブルは、パソコンやプリンタの電源が入っているときでも、ケーブルの抜き差しが行えます。ただし、次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・プリンタドライバのインストール中
  - ・パソコンの電源を入れた後の OS（Mac OS）起動中
  - ・プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源がオンになっている状態で USB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。

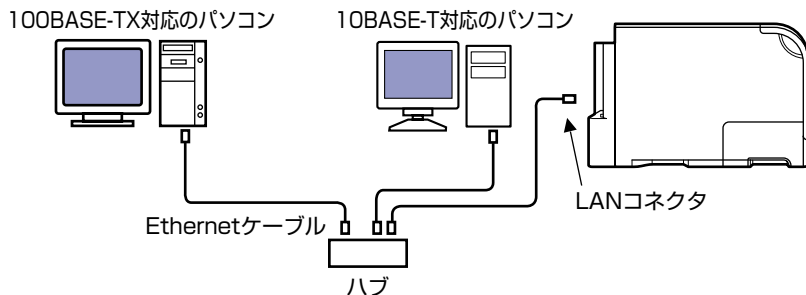
メモ
- USB インタフェースは、接続するコンピュータの OS によって、以下のように異なります。詳細については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
  - ・Mac OS 8、9、X（10.3.2 以前）、X（Classic）：USB Full-Speed（USB 1.1 相当）
  - ・Mac OS X（10.3.3 以降）：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB 1.1 相当）
- 本プリンタを USBケーブルで接続する場合は、メーカーによって USBの動作が保証されているパソコンをご使用ください。
- お使いのパソコンに対応した USB ケーブルがおわかりにならない場合は、パソコンを購入した販売店にお問い合わせください。

1 USB ケーブルの B タイプ(四角い)側を本プリンタ背面の USB コネクタへ接続します。

2 USB ケーブルの A タイプ(平たい)側を Macintosh の USB ポートへ接続します。

ネットワークとの接続

本プリンタを Ethernet などのネットワークに接続すると、ネットワーク上のパソコンからプリンタを共有して使用することができます。UNIX、Windows、Mac OS などの OS で使用可能です。

本プリンタは、10BASE-T/100BASE-TX 対応のプリントサーバを標準装備しており、ネットワークへ直接接続して Windows、Macintosh、UNIX などのパソコンからプリンタを共有することができます。本プリンタのプリントサーバは TCP/IP、AppleTalk (EtherTalk)、SMB のプロトコルに対応しています。

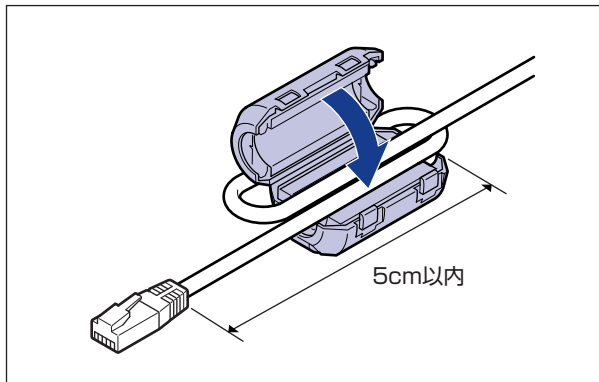
メモ　本プリンタをネットワークに接続した場合、ステータスプリントを行ってプリントサーバの MAC アドレスなどを確認し、ネットワーク OS（UNIX など）の設定やプリントサーバの設定を行ってください。これらの設定については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

ネットワークに接続する

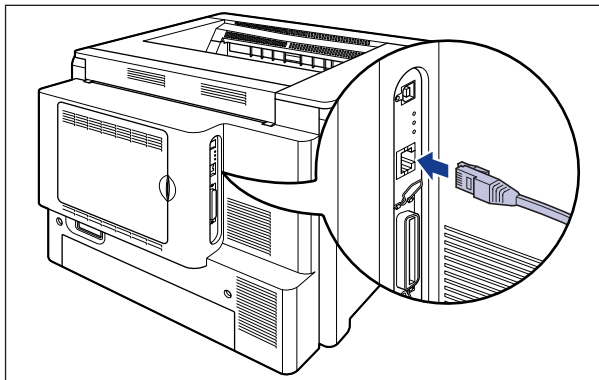
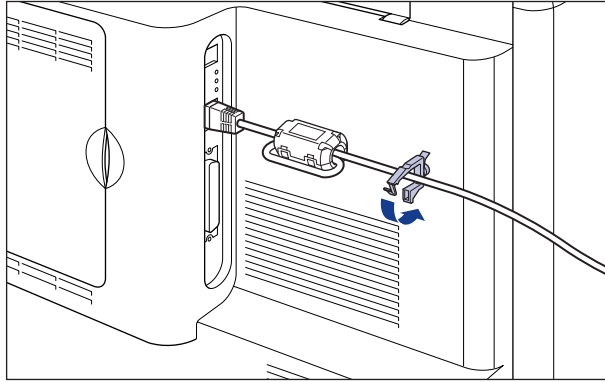
カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルで、本プリンタの LAN コネクタとハブのポートを接続します。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。使用できるケーブルやハブについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

注意　プリンタにネットワークケーブルを接続するときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。感電の原因となることがあります。

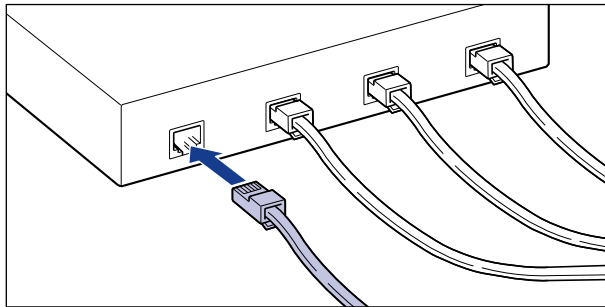
重要 AppleTalk ネットワーク上に 2 台以上の機器が接続されている場合、それぞれの電源は、10 秒以上間隔をおいて入れてください。

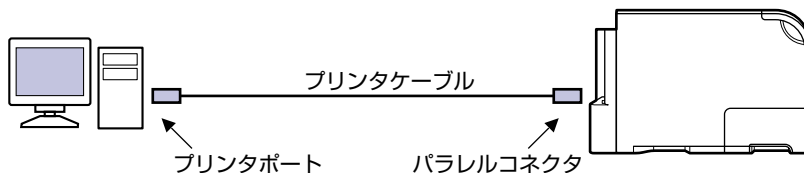
メモ
- 本製品は、Ethernet の種類（100BASE-TX または 10BASE-T）を自動認識します。
- 100BASE-TX、10BASE-T 対応の機器が混在しているときは、スイッチングハブなど、100BASE-TX、10BASE-T の両方に対応した機器が必要です。詳しくは、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

1 図のように LAN ケーブルにフェライトコアを取り付けます。

フェライトコアはプリンタに接続するコネクタから 5cm 以内の場所に取り付けます。

メモ フェライトコアは、プリンタに同梱されています。

2 LAN ケーブルを本プリンタ背面の LAN コネクタへ接続します。

3 ケーブルガイドのフックを開けて、図のようにLANケーブルを通し、フックを閉めます。

重要　ケーブルガイドには、LAN ケーブル以外のケーブルは通さないでください。

4 LAN ケーブルの反対側をハブのコネクタへ接続します。

その他のパソコンとの接続

ご使用のパソコンのプリンタポートがパラレルインタフェース（IEEE1284 準拠）のときは、そのパソコンのコネクタに合ったプリンタケーブルで本プリンタと接続します。

なお、本プリンタを PC-9800 シリーズや PS/55、HP7550B などのパソコンに接続して使用する場合、オプションのコントロール ROM（CR-HIT）が必要です。また、これらのパソコンからプリントする場合、インタフェースの自動切り替えや動作モードの自動切り替えができないことがあります。このようなときは、使用しているインタフェースおよびコントロールROMのエミュレーションモードに固定してご使用ください。コントロールROMには、次のエミュレーションモードとフォントが収録されています。

・PC-PR201/80A プリンタエミュレーション（標準 N201）
・IBM5577 プリンタエミュレーション
・HP7550B（HP-GL）プロッタエミュレーション
・バーコード用フォント ROM（FR-BFV2CL 相当）
・バーコード用フォント（EAN-128、標準料金代理収納用 EAN-128）

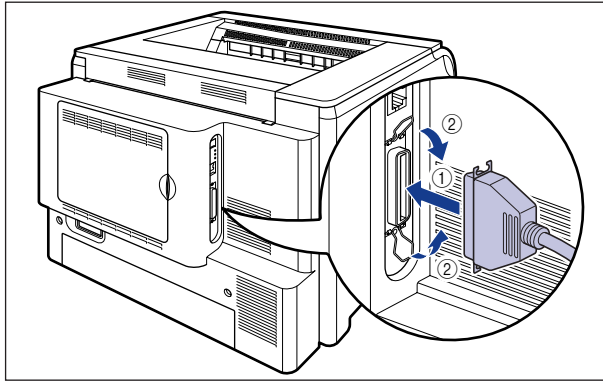
注意　**プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。**
① プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
② パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

メモ
- 使用できるプリンタケーブルについては、お買い求めの販売店、または「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。
- コントロール ROM については、「コントロール ROM」（→ P.1-5）を参照してください。
- コントロール ROM の取り付けについては、「RAM/ROM」（→ P.3-23）を参照してください。
- インタフェースおよびエミュレーションモードの固定方法については、「LIPS　機能ガイド」を参照してください。

1 プリンタケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ背面のパラレルコネクタへ接続し ①、両側の留め金を掛けます ②。

2 プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

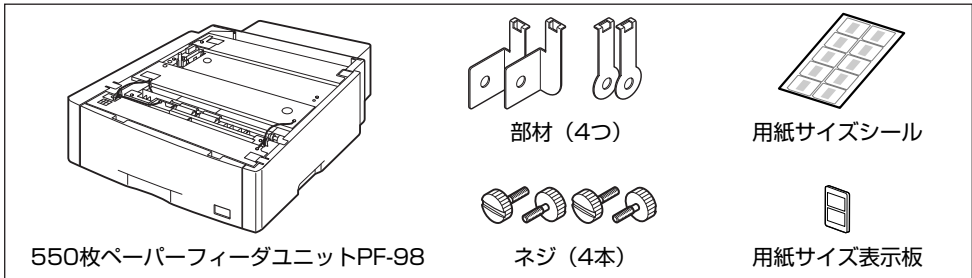
3

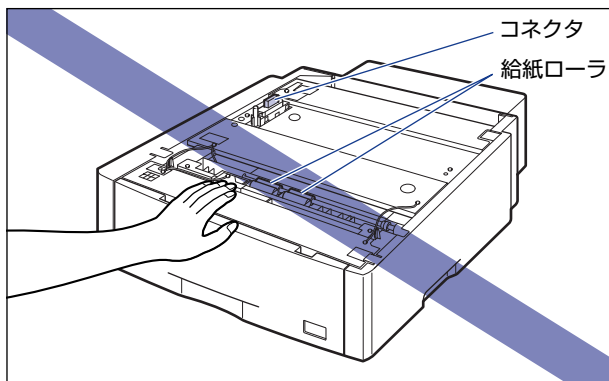
CHAPTER

オプション品の取り付け

この章では、オプション品の取り付けかたについて説明しています。ペディスタルの取り付けかたについては、ペディスタルに付属の取扱説明書を参照してください。

ペーパーフィーダ

ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けて使用します。

ペーパーフィーダを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

⚠警告 ペーパーフィーダを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

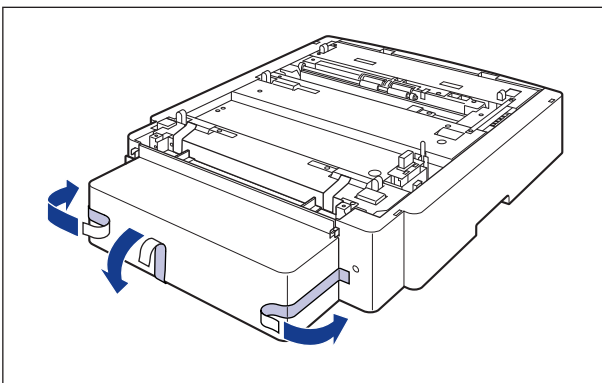
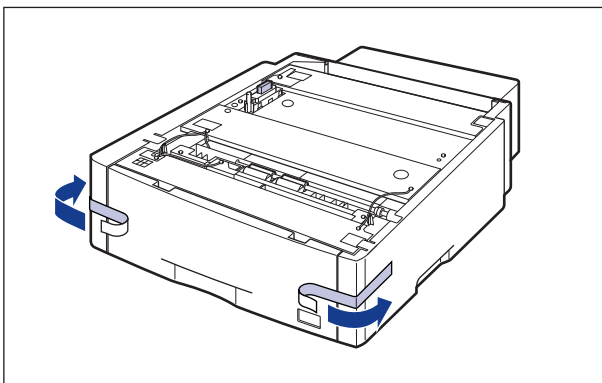
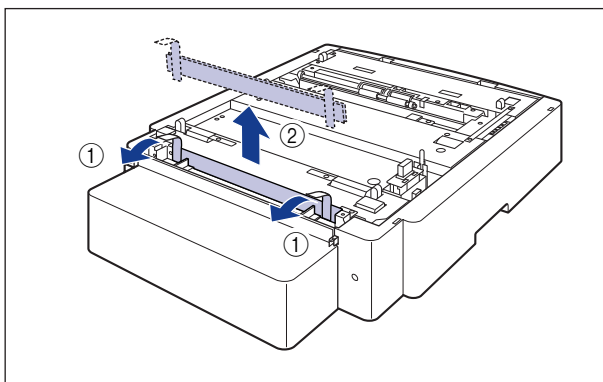
重要　ペーパーフィーダのコネクタや給紙ローラには触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。

メモ
- ペーパーフィーダは、最大 3 台まで取り付けることができます。ただし、ペディスタル（ボックスタイプ）を装着した場合は、2 台までです。
- ペーパーフィーダの用紙のセット方法については、ユーザーズガイド「第 3 章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。

梱包材を取り外す

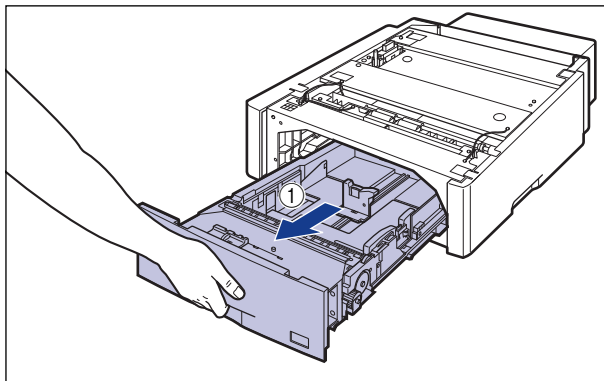
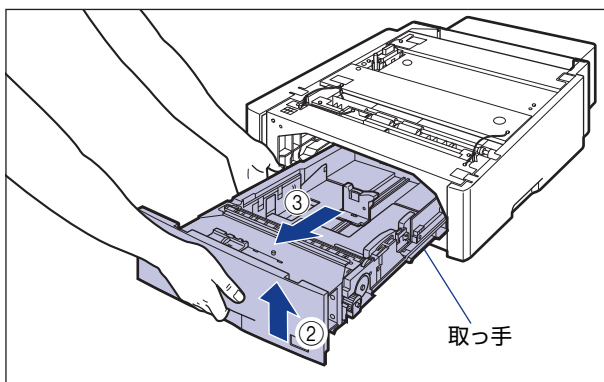
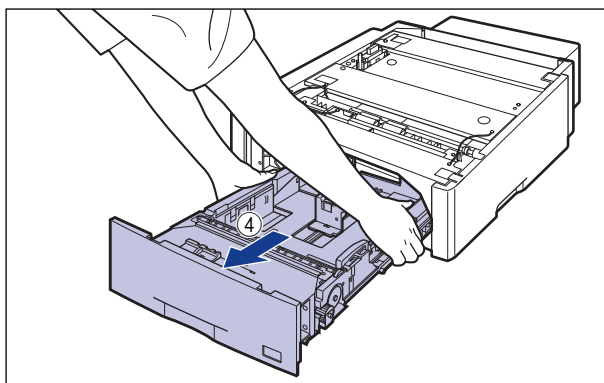
ペーパーフィーダには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。ペーパーフィーダをプリンタに取り付ける前に、これらのテープや梱包材を取り外してください。

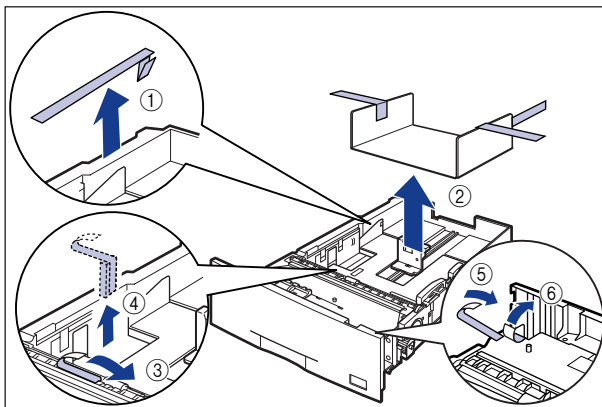
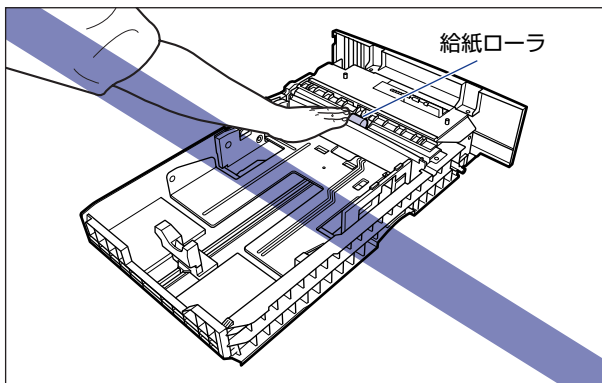
重要
- ペーパーフィーダ内部に梱包材が残っていると、動作時に給紙不良や故障の原因になります。必ず手順にしたがって梱包材を残さずに取り外してください。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

メモ　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

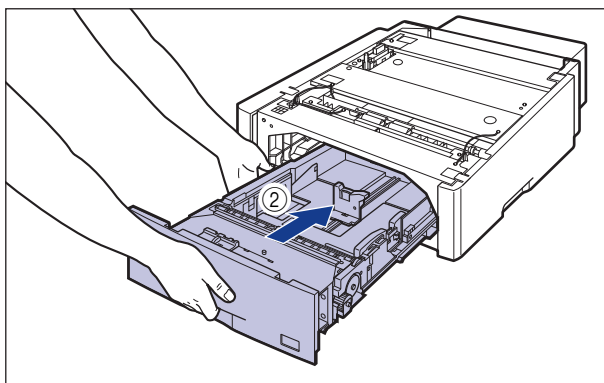
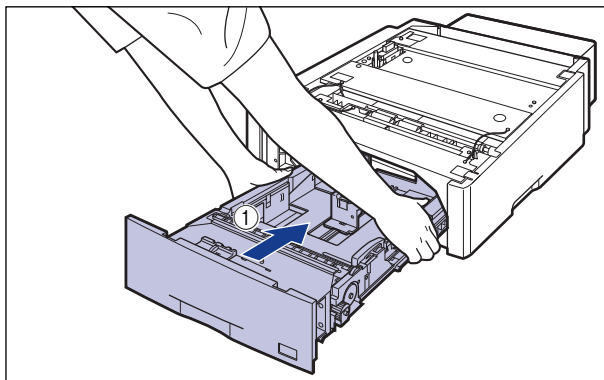
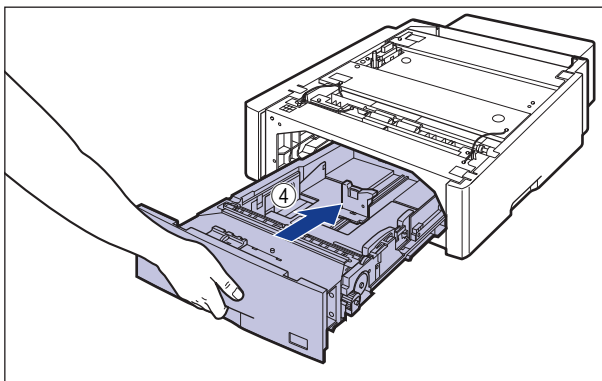
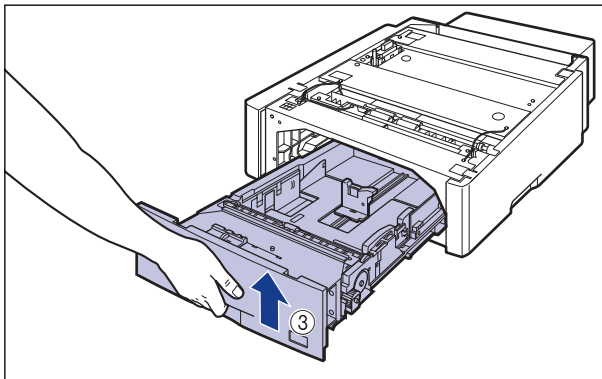
1 給紙カセット、カセット保護カバーを止めているテープを取り外します。

2 図の位置にある梱包材を ①、② の順に取り外します。

重要 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

3 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。

図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

重要
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

4 給紙カセット内部のテープと梱包材を取り外します。

重要
- 給紙カセットには、梱包材が取り付けられています。必ず給紙カセットを引き出し、残さずに取り外してください。
- 給紙カセットの給紙ローラには触れないでください。給紙不良の原因になります。

- 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

5 給紙カセットをペーパーフィーダにセットします。

給紙カセットを両手で持って図の位置まで押し込み ①、右手で給紙カセットの手前を持ち、止まる位置まで押し込みます ②。

給紙カセットの手前を少し持ち上げて ③、給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます ④。

⚠注意 給紙カセットをペーパーフィーダにセットするときは、指を挟まないように注意してください。

プリンタ本体を移動する

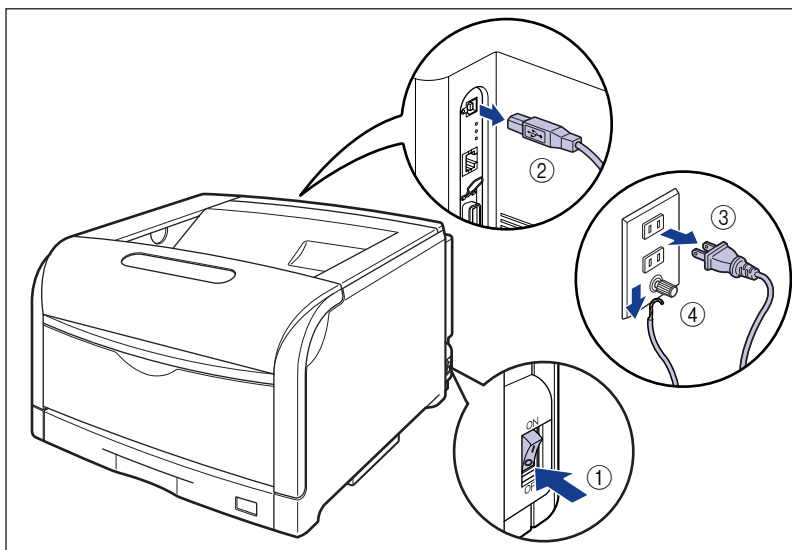
プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

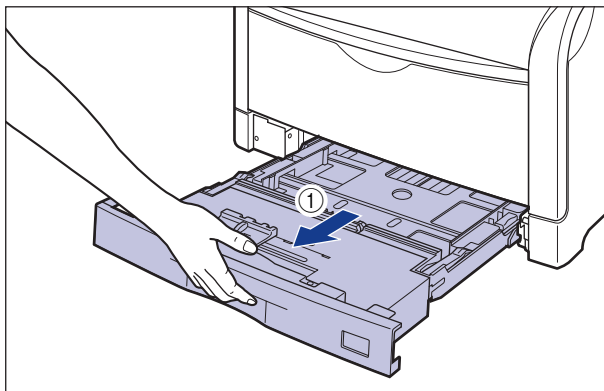
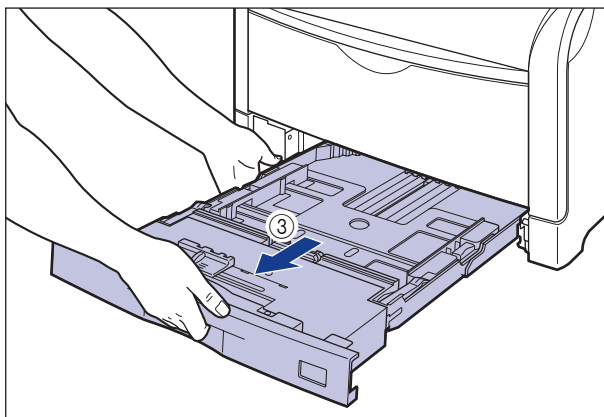
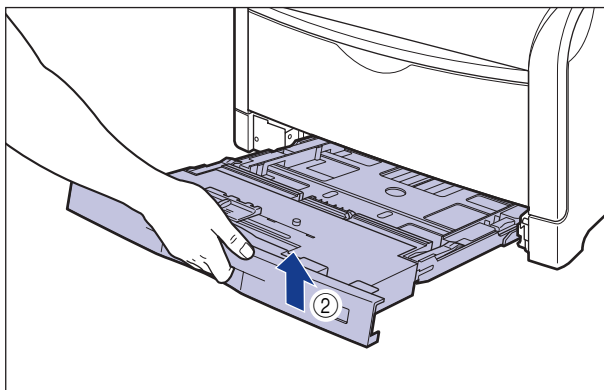
注意 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

---

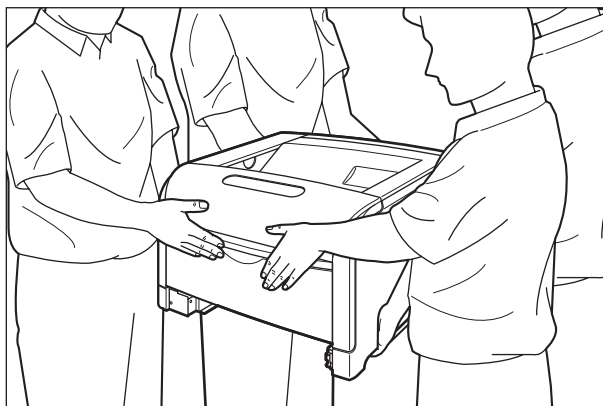
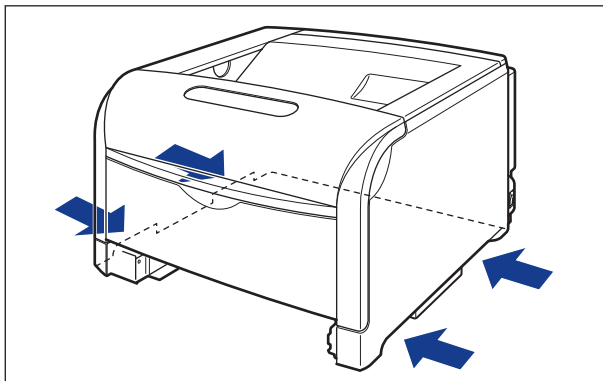
1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**

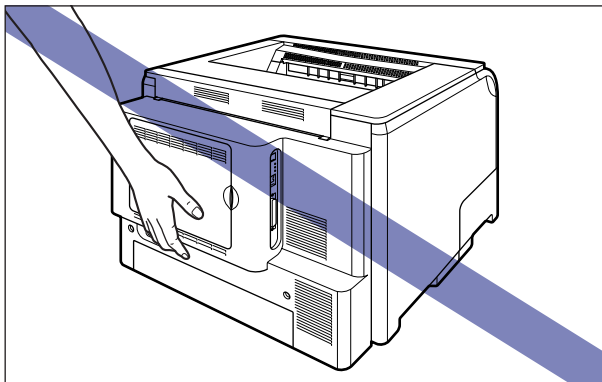
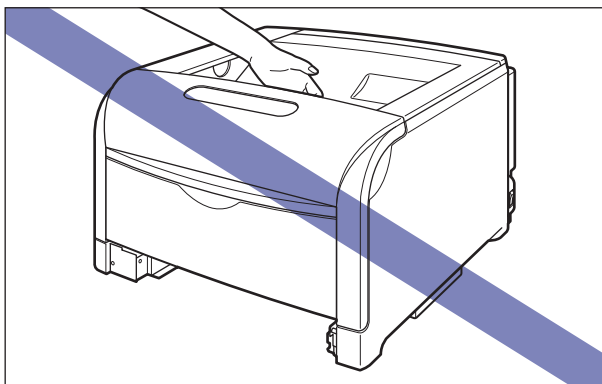
ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

3 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、図のように手をそえて引き出します ③。

重要　給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

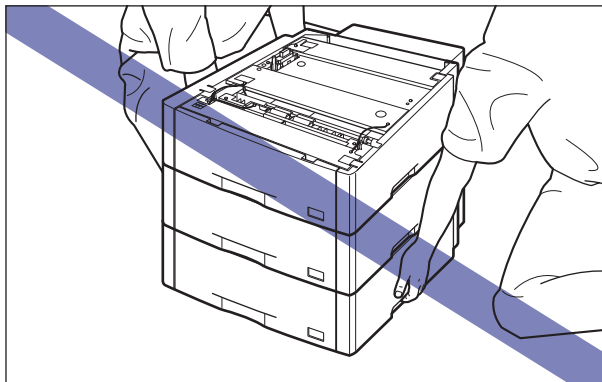
プリンタ本体下部にある運搬用取っ手に４人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

⚠注意

- 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で約 50.3kg（本体：約 41.4kg/ トナーカートリッジ× 4：約 1.3kg、ドラムカートリッジ× 4：約 7.6kg）あります。必ず 4 人以上で腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に手差しトレイなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

重要 必ず前カバーや手差しトレイが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

ペーパーフィーダを取り付ける

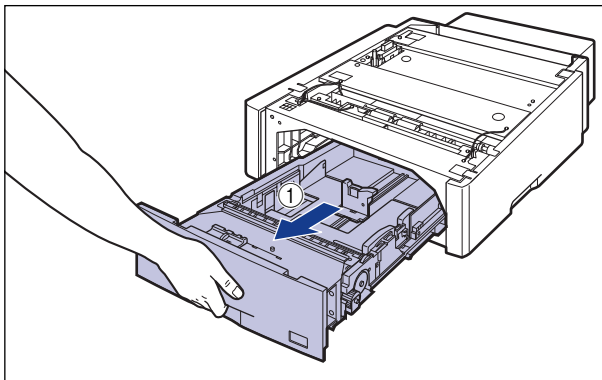
ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けます。

注意

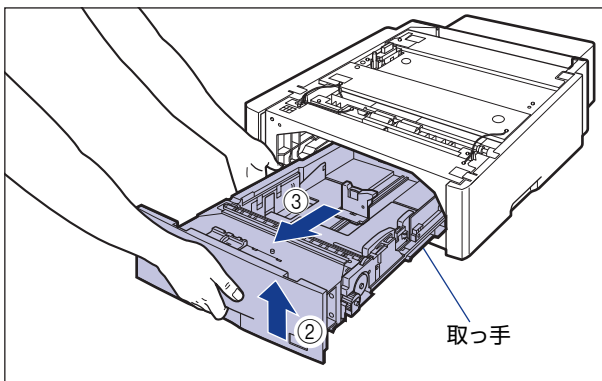
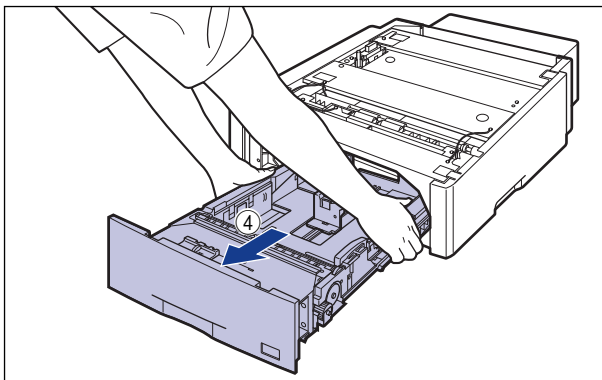
- プリンタやペーパーフィーダはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。

重要

ペーパーフィーダを装着した場合、給紙するペーパーフィーダ（カセット 2、カセット 3、カセット 4）より上段の給紙カセットは必ずセットした状態で使用してください。給紙カセットがセットされていないと、下段の給紙元から給紙することはできません。（たとえば、カセット 2 がセットされていない場合、カセット 3 から給紙することはできません。）

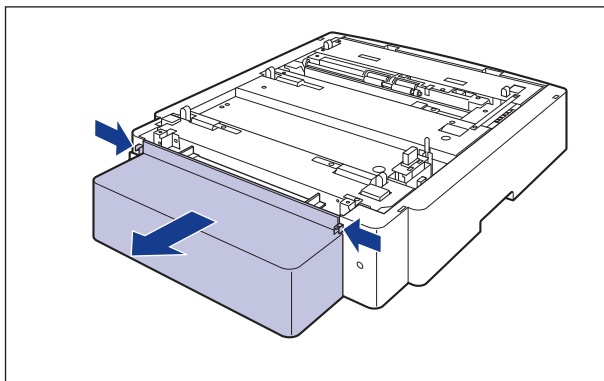
1 すべてのペーパーフィーダから、給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、左手をそえて給紙カセット右側にある取っ手が完全に見えるまで、引き出します ③。

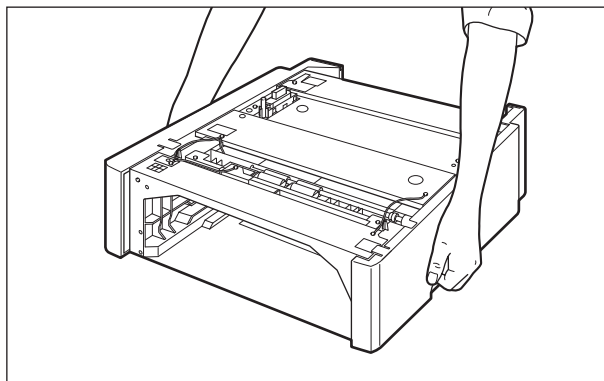
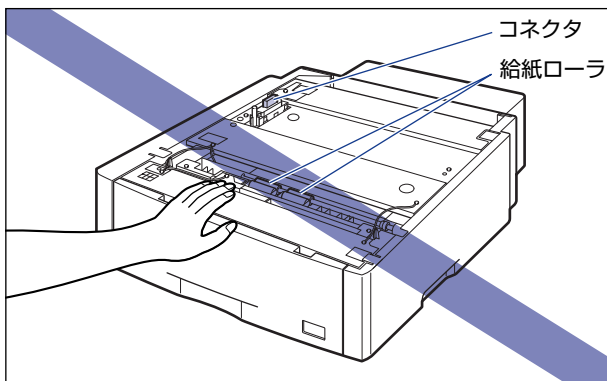
図のように給紙カセットを両手で持って、完全に引き出します ④。

重要

- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

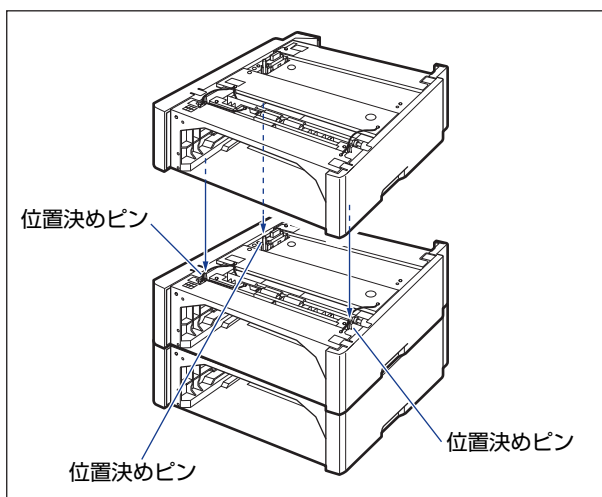
2 ペーパーフィーダのカセット保護カバーを取り外します。

図のようにカセット保護カバーのレバーを押しながら、カセット保護カバーを取り外します。

3 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

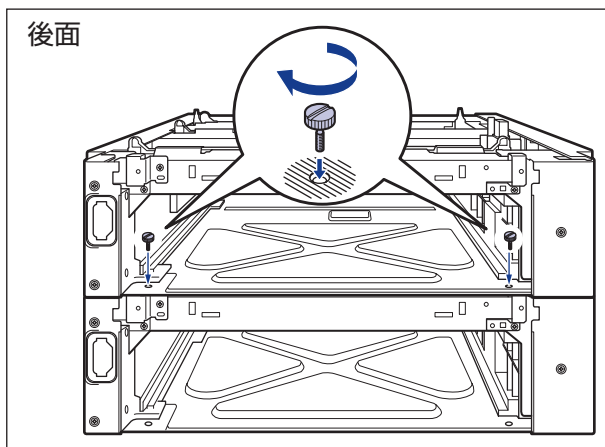
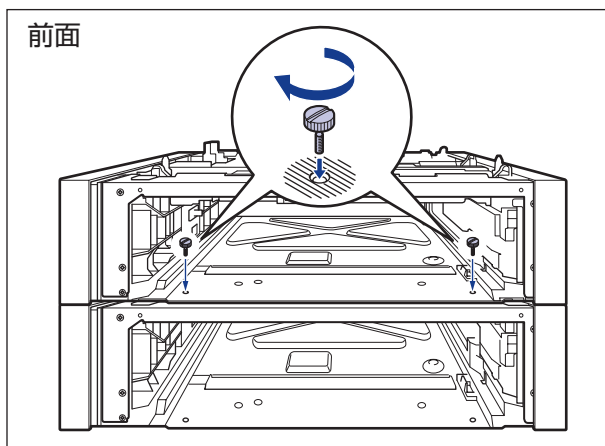
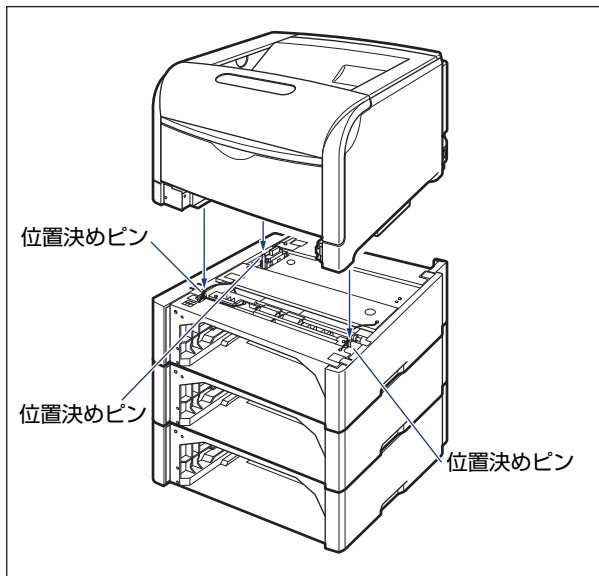
ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。

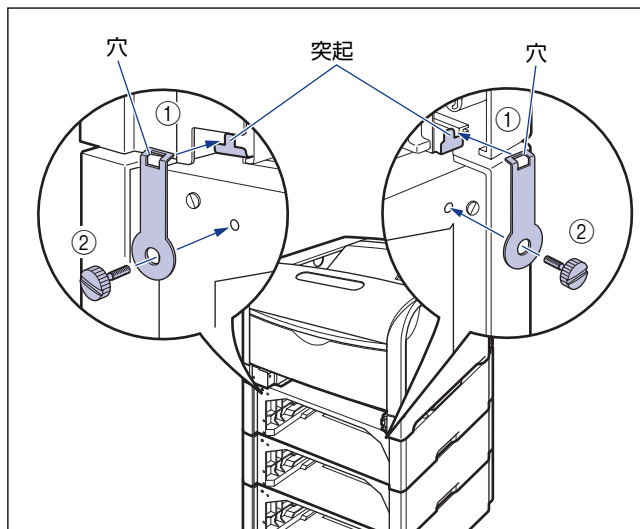
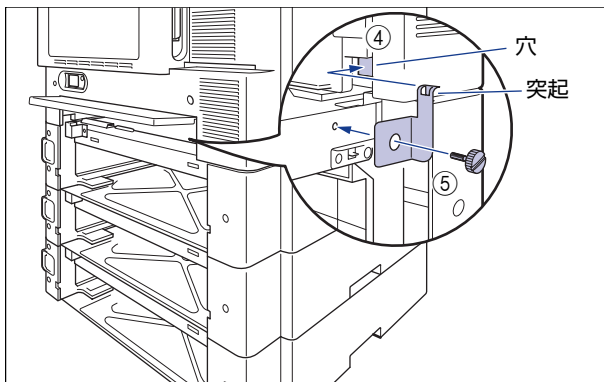
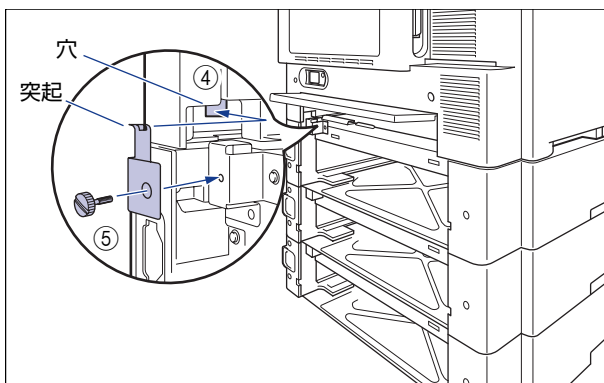
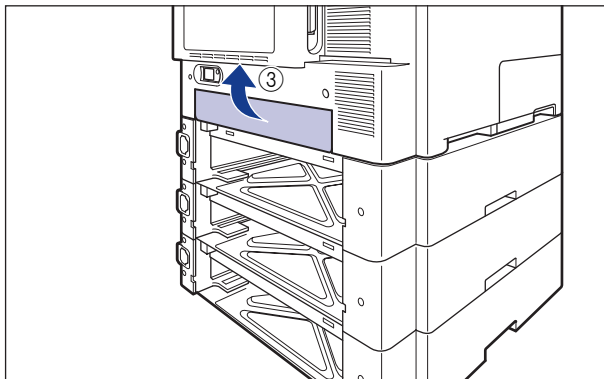
重要

- ペーパーフィーダのコネクタや給紙ローラには触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。

- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- プリンタ本体を載せたり、電源コードやインタフェースケーブルなどの接続作業ができるように、周囲に十分なスペースを確保しておいてください。

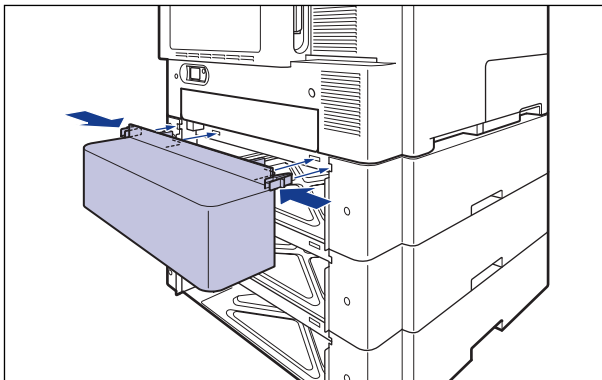
4 ペーパーフィーダとペーパーフィーダを取り付けるときは、ペーパーフィーダの位置決めピンに合わせてゆっくりと載せます。

ペーパーフィーダを 1 台のみ取り付ける場合は、手順 6 に進んでください。

メモ　ペーパーフィーダは、最大 3 台まで取り付けることができます。

5 付属の４本のネジでペーパーフィーダを固定します。

ネジはしっかりと固定してください。

6 プリンタ本体をペーパーフィーダの位置決めピンに合わせてゆっくりと載せます。

7 付属の4つの部材とネジで、プリンタ本体とペーパーフィーダを固定します。

部材の穴をプリンタの突起に取り付けて ①、ネジで固定します ②。

プリンタ本体のカセット保護カバーを上げながら ③、部材の突起をプリンタの穴に取り付け ④、ネジで固定します ⑤。

8 カセット保護カバーを取り付けます。

図のようにカセット保護カバーのレバーを押しながら、突起をペーパーフィーダ背面の溝に差し込みます。

重要　カセット保護カバーに手をかけたり、強く押したり、物を置いたりしないでください。カセット保護カバーが破損する恐れがあります。

9 給紙カセットをプリンタ本体、ペーパーフィーダにセットします。

10 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

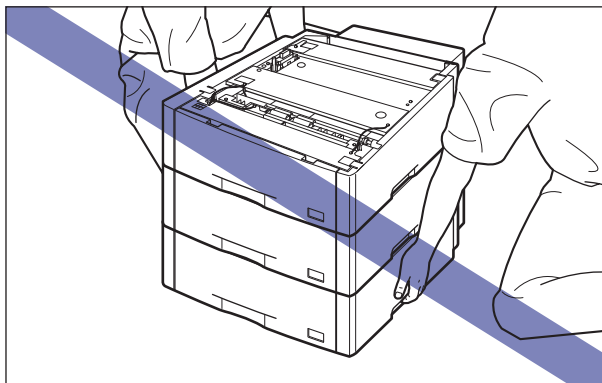
12 USB ケーブルを接続します。

メモ　ペーパーフィーダを装着した後は、プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］ボタンをクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。
プリンタのオプション情報が自動で取得できない場合は、［給紙オプション］から装着したオプションを選択してください。

ペーパーフィーダを取り外す

ペーパーフィーダの取り外しは、次の手順で行います。

警告 ペーパーフィーダを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意
- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。

重要 プリンタの移動や修理の際は、ペーパーフィーダや給紙カセットを取り外してください。

---

1 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

3 **プリンタ本体、ペーパーフィーダから給紙カセットを引き出します。**

4 ４つのネジと部材を取り外します。

取り付けるときと逆に回してネジを取り外します。

重要　取り外したネジは再度ペーパーフィーダを取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

5 プリンタを持ち上げて、ペーパーフィーダから取り外します。

6 ペーパーフィーダを２台以上取り付けている場合、上の段から順にペーパーフィーダを取り外します。

7 ペーパーフィーダを移動します。

8 プリンタ本体を設置場所へ戻します。

9 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

10 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 USB ケーブルを接続します。

RAM/ROM

拡張 RAM、コントロール ROM は、プリンタ背面のメインボードに取り付けて使用します。取り付けたあと、必要に応じて RAM や ROM を設定します。以下のことに気を付けて RAM や ROM の取り付けを行ってください。

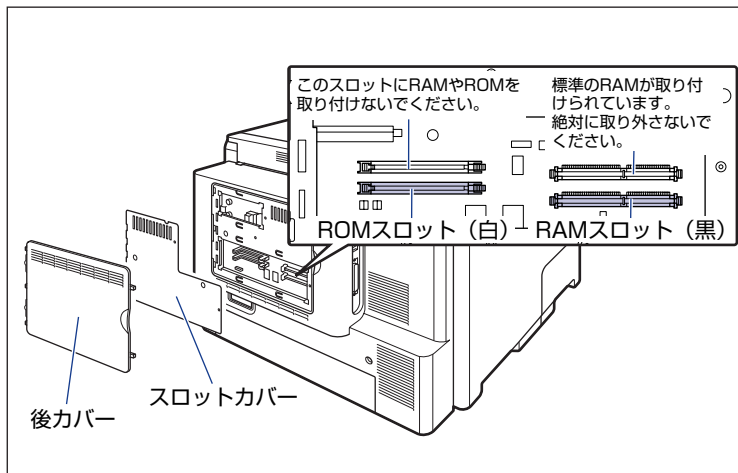
注意

- RAM や ROM を取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- RAM、ROM の取り扱いには注意してください。RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

重要

- RAM と ROM は、形状や取り付ける位置、取り付け方法が異なります。取り付け位置や取り付け方法を間違えないように気を付けてください。間違えると正しく動作しません。
- RAM や ROM には、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
  - ・作業中にディスプレイなど、静電気を発生しやすいものに触れないでください。
  - ・メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、RAM や ROM は取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。
- メインボードにあるスイッチには絶対に触れないでください。スイッチを動かすとプリンタが正常に動作しません。
- コントロール ROM を取り付けるとハードディスクの機能は使用できません。ハードディスクの機能を使用する場合は、コントロール ROM は取り付けないでください。

RAM、ROM の取り付け位置について

RAM と ROM は、取り付ける位置が異なります。取り付ける前に図を参照して、取り付け位置を確認してから作業を行ってください。

RAM を取り付ける

RAM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。RAM の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3

オプション品の取り付け

3 後カバーを取り外します。

後カバーの取っ手を矢印の方向に少し押します ①。

後カバーを少し開けて ②、矢印の方向に後カバーを取り外します ③。

4 スロットカバーのネジ３本を取り外します。

5 スロットカバーを取り外します。

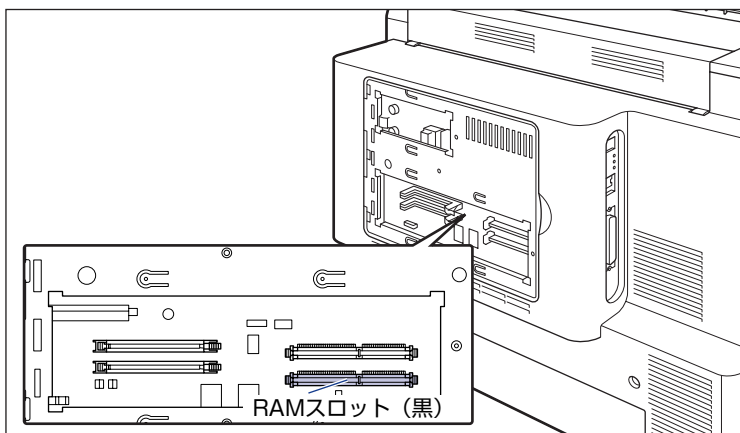
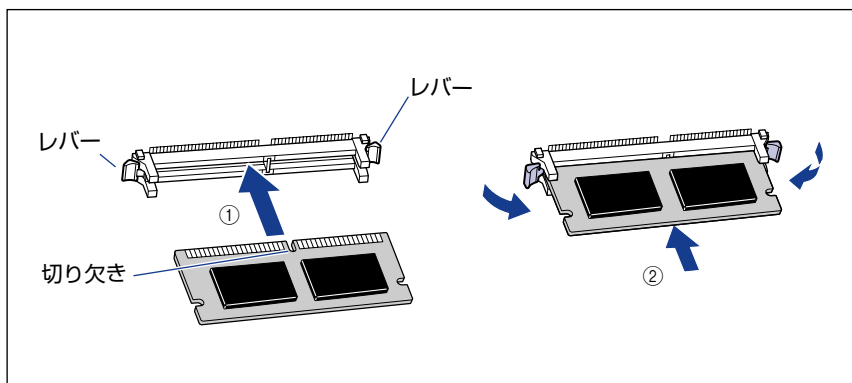
スロットカバーを開けます ①。

スロットカバーを少し持ち上げて ②、矢印の方向にスロットカバーを取り外します ③。

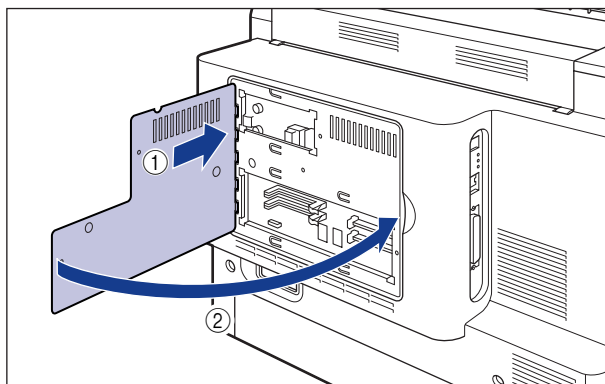
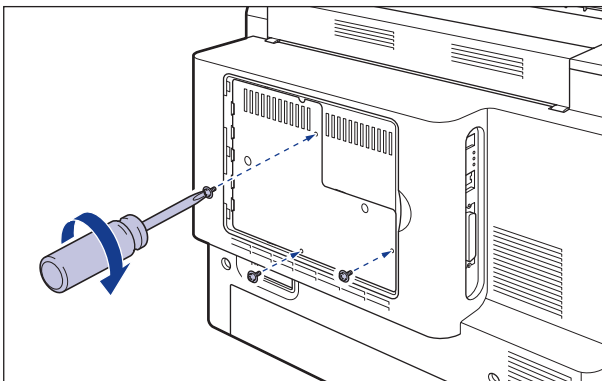
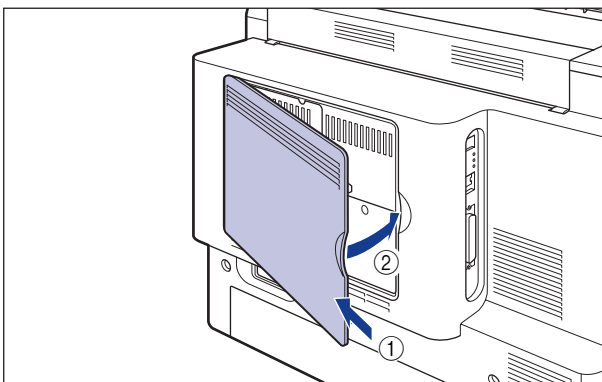
重要

- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。
- 製品内部に、ネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらが製品内部に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

メモ

RAM の取り付ける位置は以下のとおりです。取り付け位置を確認してから RAM を取り付けてください。

6 黒色のRAMスロットへ図のように切り欠きに合わせて差し込み ①、奥までしっかりと押し込みます ②。

RAM が正しく取り付けられると、RAM スロット両端のレバーでロックされます。

⚠注意　メインボードの部品や RAM の角でけがをしないように注意してください。

7 スロットカバーを取り付けて ①、閉めます ②。

8 スロットカバーをネジ３本で固定します。

9 図のように後カバーを差し込み ①、閉めます ②。

10 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 USB ケーブルを接続します。

ROM を取り付ける

ROM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。ROM の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

重要 コントロール ROM を取り付けるとハードディスクの機能は使用できません。ハードディスクの機能を使用する場合は、コントロール ROM は取り付けないでください。

1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**

ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3
オプション品の取り付け

3 後カバーを取り外します。

後カバーの取っ手を矢印の方向に少し押します ①。

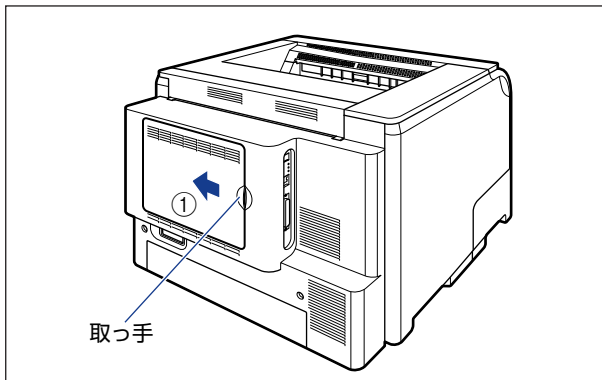
後カバーを少し開けて ②、矢印の方向に後カバーを取り外します ③。

4 スロットカバーのネジ３本を取り外します。

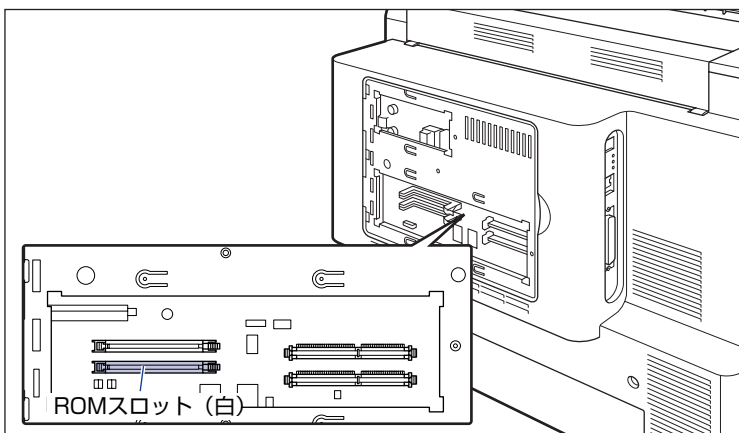
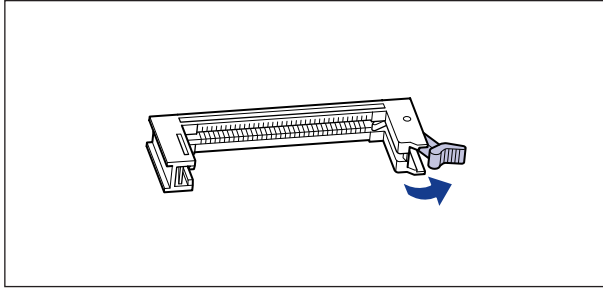
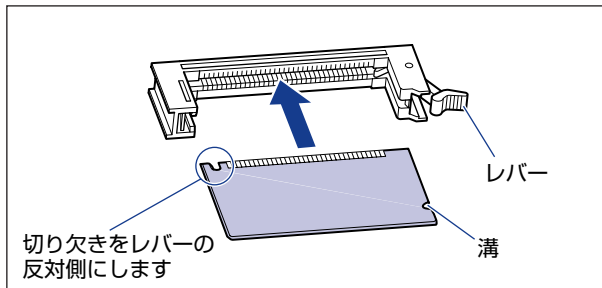
5 スロットカバーを取り外します。

スロットカバーを開けます ①。

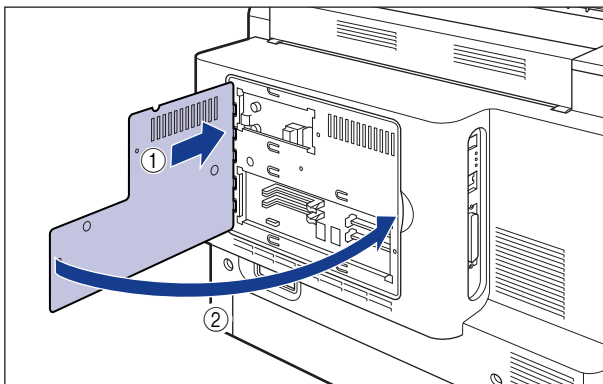
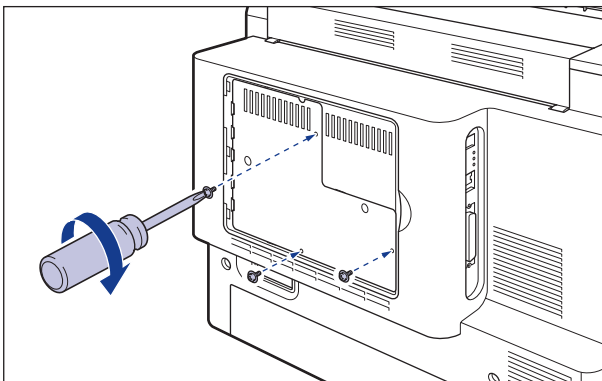
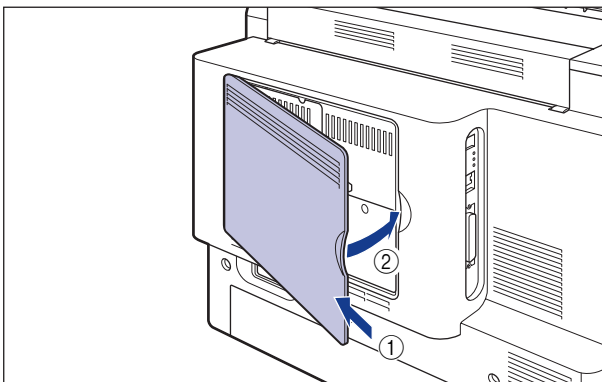
スロットカバーを少し持ち上げて ②、矢印の方向にスロットカバーを取り外します ③。

重要

- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。
- 製品内部に、ネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらが製品内部に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

メモ

ROM の取り付ける位置は以下のとおりです。取り付け位置を確認してから ROM を取り付けてください。

6 白色のROM スロットのレバーを押し下げます。

7 ROM の切り欠きをレバーの反対側にしてスロットガイドに合わせて差し込み、奥までしっかりと押し込みます。

ROM が正しく取り付けられると、レバーの突起が ROM の溝に掛かります。

⚠注意 メインボードの部品や ROM の角でけがをしないように注意してください。

8 スロットカバーを取り付けて ①、閉めます ②。

9 スロットカバーをネジ３本で固定します。

10 図のようにに後カバーを差し込み ①、閉めます ②。

11 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

12 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

13 USB ケーブルを接続します。

RAM、ROM の設定について

RAM や ROM を取り付けたあとは、必要に応じて次の設定を行ってください。

拡張 RAM	→	必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。
コントロール ROM	→	メニュー機能で設定します。

メモ

- 操作パネルのメニュー機能のエミュレーションモードの設定については LIPS 機能ガイド「第 2 章 メニューの機能と操作」またはオプションのコントロール ROM に付属の取扱説明書を参照してください。
- プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］をクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。
  プリンタのオプション情報が自動で取得できない場合は、［拡張メモリ］から装着したオプションを選択してください。

RAM または ROM を取り外す

RAM または ROM は、プリンタ本体の後カバー、スロットカバーを取り外してから、次の手順で取り外します。

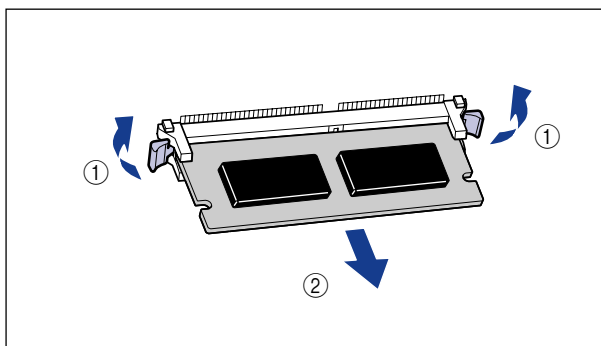
注意

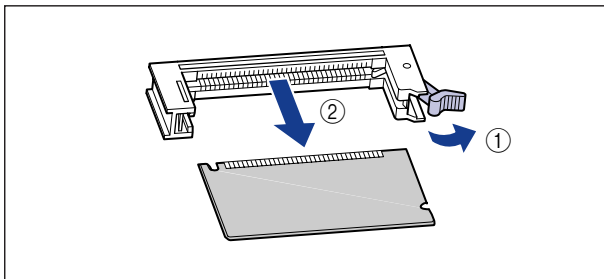
- **RAM や ROM を取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。**
- **RAM、ROM の取り扱いには注意してください。RAM、ROM の角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。**

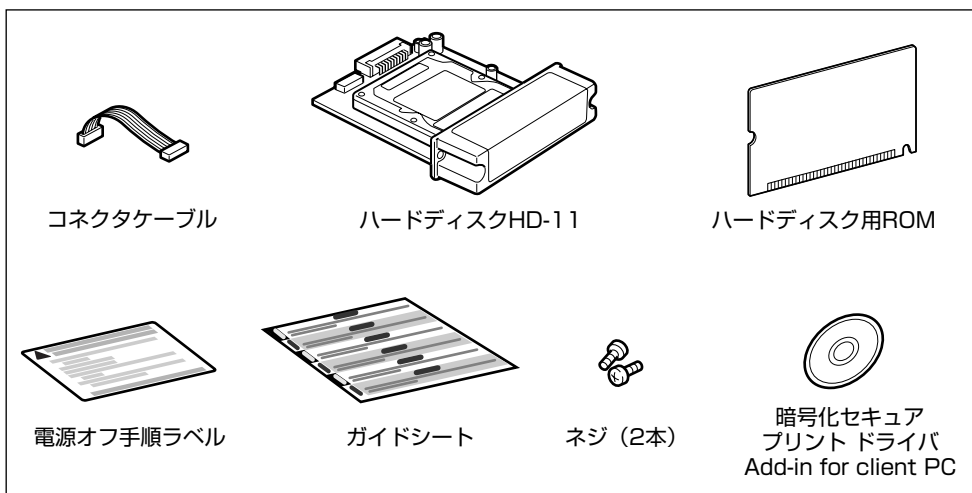
メモ

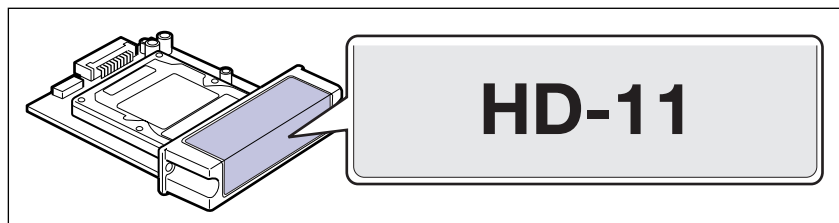
後カバー、スロットカバーの取り外しや取り付け手順は「RAMを取り付ける」（→P.3-25）または「ROM を取り付ける」（→ P.3-31）を参照してください。

■ RAM の取り外しかた

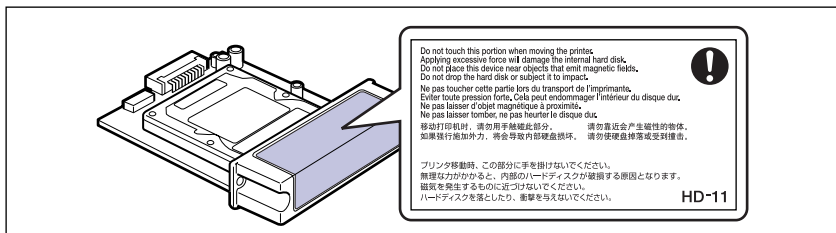
RAM スロット両端のレバーを同時に矢印の方向へ押すと ①、RAM が外れます ②。

■ ROM の取り外しかた

ROM スロットのレバーを押し下げると ① ロックが外れますので、ROM を引き抜きます ②。

ハードディスク

ハードディスクは、プリンタ背面の拡張ボードスロットに取り付けます。取り付け作業を始める前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

注意
- ハードディスクを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。感電の原因になることがあります。
- メインボードやハードディスクの取り扱いには注意してください。メインボード、ハードディスクの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

重要
- 本プリンタに装着可能なハードディスクは、ラベルに「HD-11」と記載されているもののみです。「HD-11」と記載されていないハードディスクを誤って使用した場合は、正しく動作しません。

- メインボードやハードディスクには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ･一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
  - ･作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。

· メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
· 静電気の影響を避けるために、ハードディスクは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、強い磁気を発生するものの側に近づけないでください。
· ハードディスクを落としたり、衝撃を与えないでください。
· ハードディスクは精密機器なので、ドライブの上面を押したり、重ねたり、他の物にぶつけたりしないでください。
· ハードディスクのドライブ上面に貼ってあるラベルなどを絶対にはがさないでください。また、別のラベルなどを貼ったりしないでください。
· ハードディスクを気温の低い場所から急に暖かい場所へ移動しないでください。

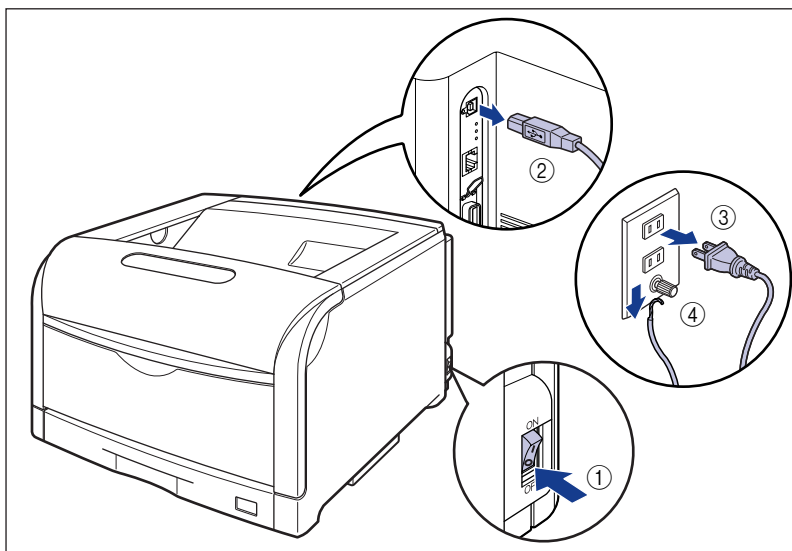
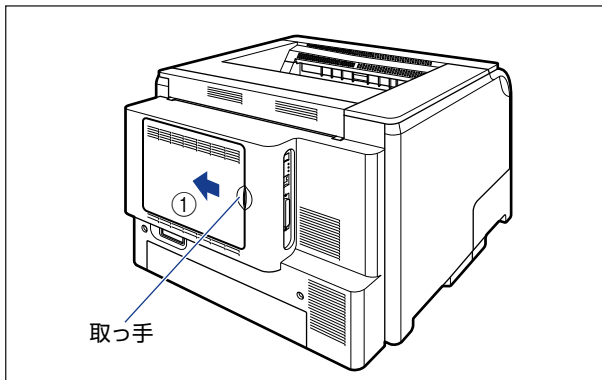
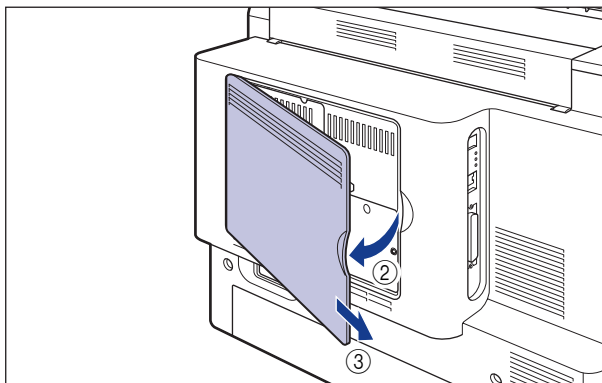
- ハードディスクに貼ってある注意ラベルの記載事項を必ず守ってください。

- コントロール ROM を取り付けている場合は、ハードディスクの機能は使用できません。ハードディスクの機能を使用する場合は、コントロール ROM を取り外してください。

ハードディスクを取り付ける

ハードディスクとハードディスク用 ROM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。ハードディスクとハードディスク用 ROM の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

重要 ハードディスクの取り付け後には「パネル設定初期化」を行いますので、プリンタの設定を変更している場合は、ハードディスクの取り付け作業を行う前に、ステータスプリントを出力してプリンタの設定状況を確認・保存しておいてください。ステータスプリントの出力方法は、「プリンタの動作を確認する」（→ P.4-2）を参照してください。

メモ ハードディスクを使用するときはハードディスクに付属のハードディスク用ROMの増設が必要です。ハードディスクと併せて取り付けてください。

1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 後カバーを取り外します。

後カバーの取っ手を矢印の方向に少し押します ①。

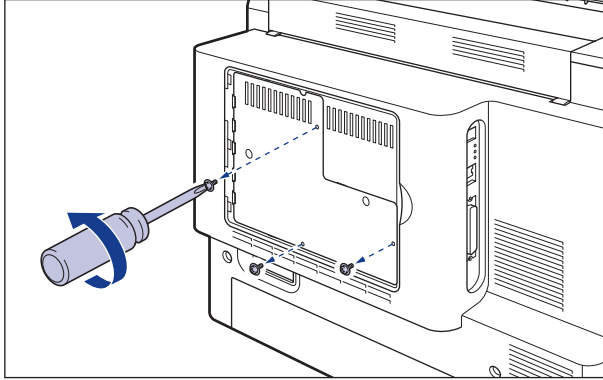
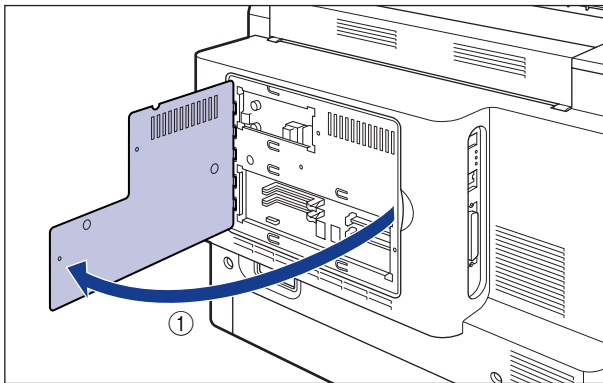
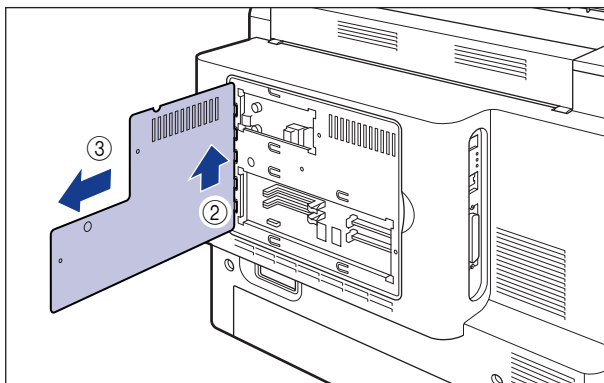
後カバーを少し開けて ②、矢印の方向に後カバーを取り外します ③。

4 スロットカバーのネジ３本を取り外します。

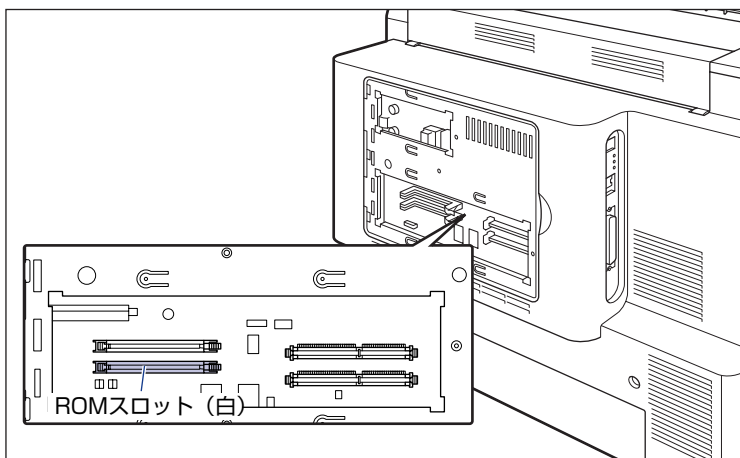
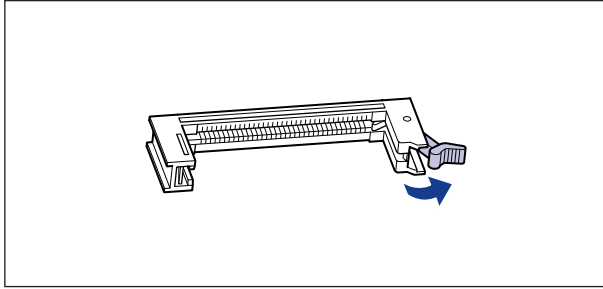
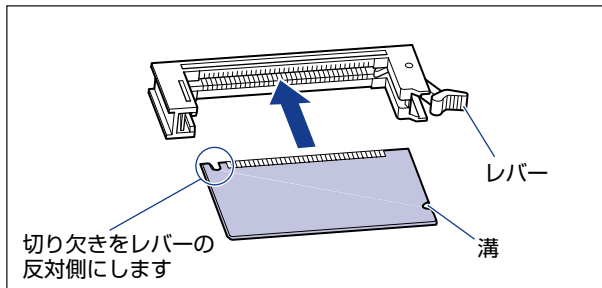
5 スロットカバーを取り外します。

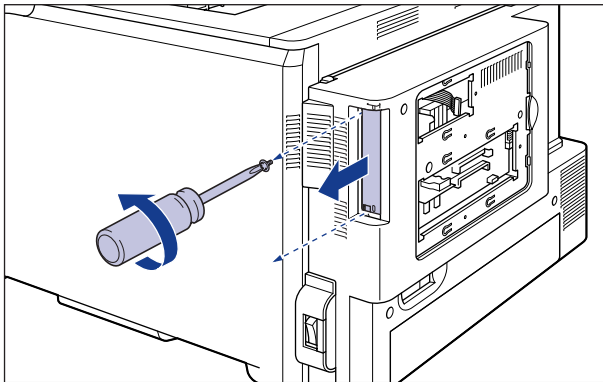
スロットカバーを開けます ①。

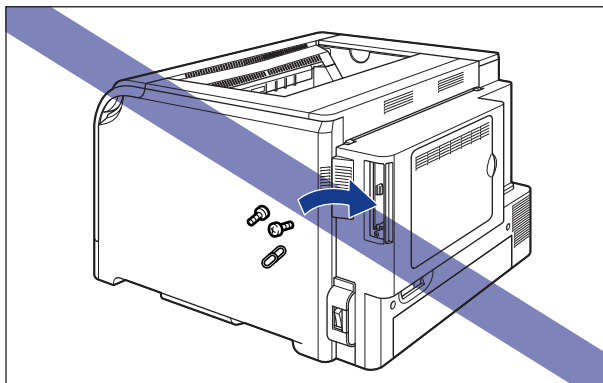
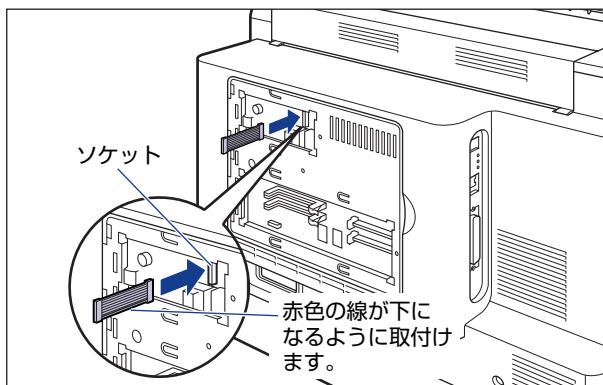
スロットカバーを少し持ち上げて ②、矢印の方向にスロットカバーを取り外します ③。

重要

- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように気を付けてください。
- 製品内部に、ネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらが製品内部に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

メモ

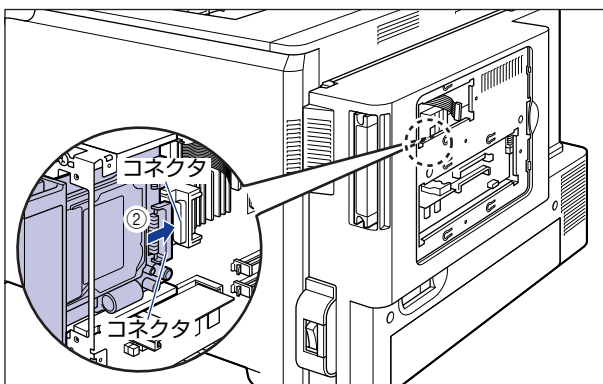
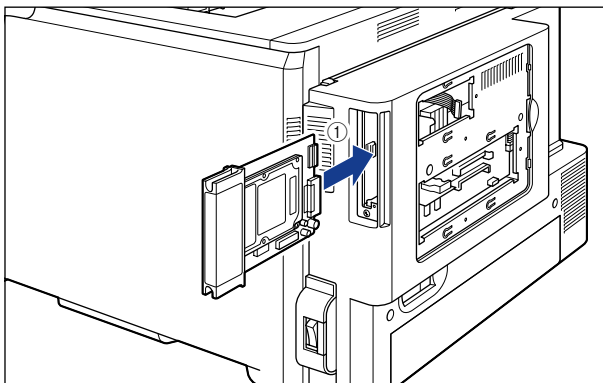
ハードディスク用 ROM の取り付ける位置は以下のとおりです。取り付け位置を確認してからハードディスク用 ROM を取り付けてください。

6 白色のハードディスク用ROMスロットのレバーを押し下げます。

7 ROM　の切り欠きをレバーの反対側にしてスロットガイドに合わせて差し込み、奥までしっかりと押し込みます。

ROMが正しく取り付けられると、レバーの突起がROMの溝に掛かります。

8 ネジを外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。

重要 • 取り外した保護板とネジは、ハードディスクを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

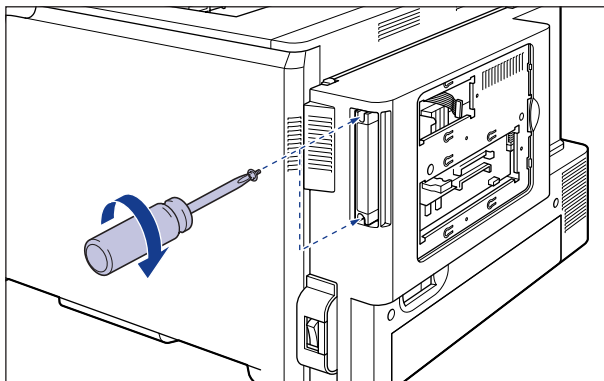
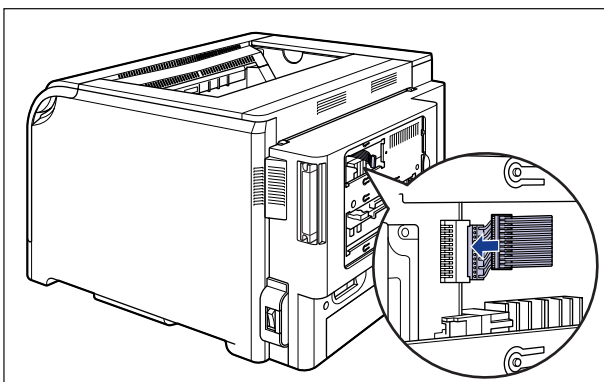
- 保護板の取り外し後、拡張ボードスロット内にネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらが拡張ボードスロット内の穴に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

9 **ハードディスクに付属のコネクタケーブルをメインボードのソケットへ差し込みます。**

注意 メインボードの部品やハードディスクの角でけがをしないよう、注意してください。

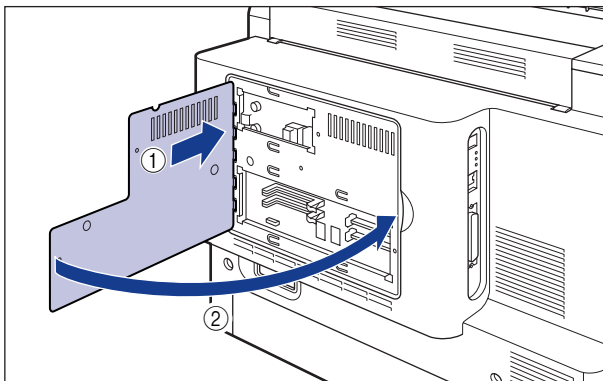
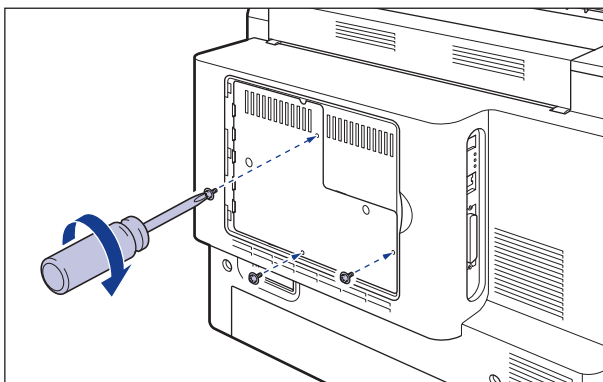
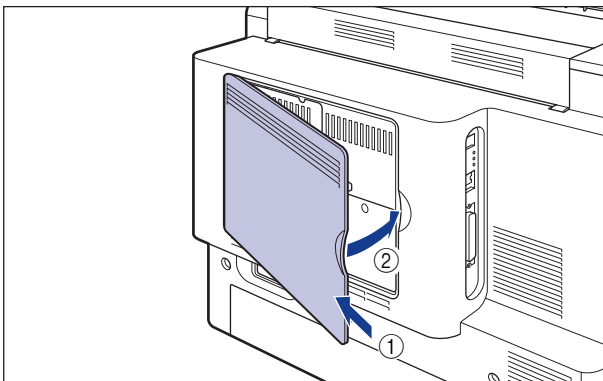
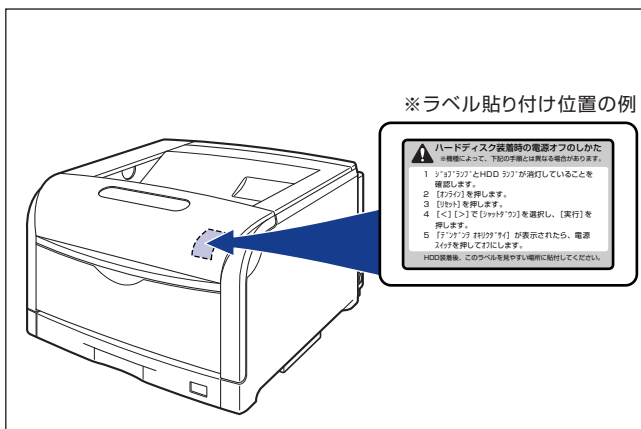
重要 ソケットは、位置が合っていなかったり、斜めになっている状態で無理に押し込まないでください。ピンが破損し、ハードディスクが正しく動作しなくなることがあります。

10 ハードディスクを拡張ボードスロットに差し込み ①、コネクタが合うようにしっかりと差し込みます ②。

ハードディスクは、金属製のカバー部分を持ち、拡張ボードスロット内部のスロットガイドに合わせて差し込みます。

重要

- メインボードとハードディスクのコネクタが合うように、しっかりと差し込んでください。
- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

11 ハードディスクの上下を、付属の２本のネジで固定します。

12 コネクタケーブルの青色のコネクタをハードディスクの青色のソケットへ差し込みます。

重要 ソケットは、位置が合っていなかったり、斜めになっている状態で無理に押し込まないでください。ピンが破損し、ハードディスクが正しく動作しなくなることがあります。

13 スロットカバーを取り付けて ①、閉めます ②。

14 スロットカバーをネジ３本で固定します。

15 図のように後カバーを差し込み ①、閉めます ②。

16 ハードディスクに同梱されている「電源オフ手順ラベル」をプリンタ本体の見やすい場所に貼り付けます。

重要 ハードディスク装着後、電源をオフにするときはハードディスク保護のため、ラベルの指示にしたがって「シャットダウン」を実行してから、電源スイッチの“○”側を押してください。

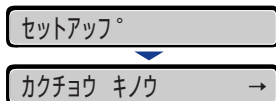
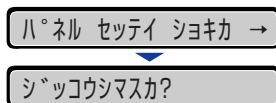
17 電源コード、アース線を接続します。

18 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

19 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

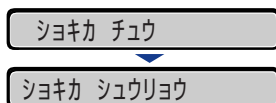
20 以降の手順で「パネル設定初期化」を行います。

ハードディスクの取り付け後は、「パネル設定初期化」を行ってください。ハードディスクの機能は、「パネル設定初期化」を行うことによって、フォーマットされ、使用できる状態になります。

21 ［セットアップ］を押します。

22 ［◀］、［▶］で「パネル　セッテイ　ショキカ」を選択し、［実行］を押します。

確認のメッセージが表示されます。

23 ［実行］を押します。

ショキカ チュウ

ショキカ シュウリョウ

24 初期化終了後、ハードリセットまたはプリンタの電源を入れなおします。

プリンタの起動後、ハードディスクのフォーマットが行われます。

ハードディスクのフォーマット中は、ディスプレイに「FORMATTING」と表示されます。フォーマットが終了するまで、しばらくお待ちください。

ハードディスクのフォーマットが終了したら、すべてのインタフェースケーブルを接続します。（→パソコンと接続する：P.2-58）

重要

ハードディスクを取り付けて、「パネル設定初期化」を行ったあと、プリンタが起動すると、自動的にハードディスクのフォーマットが行われます。このときにフォーマットが行われない場合、共通セットアップメニューの「HDD メンテナンス」で「クイックフォーマット」を実行してください。詳細は、LIPS 機能ガイド「第 3 章 共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

メモ　ハードディスクを装着した後は、プリンタドライバの［デバイスの設定］ページでオプション機器の設定が必要になります。［デバイスの設定］ページの［デバイス情報取得］ボタンをクリックすると、プリンタのオプション情報が自動的に取得できます。
プリンタのオプション情報が自動で取得できない場合は、［ハードディスクを装着する］にチェックマークを付けてください。

ハードディスクを取り外す

ハードディスクとハードディスク用 ROM の取り外しは、次の手順で行います。ハードディスクとハードディスク用ROMの取り付け時に取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

注意　必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。感電の原因になることがあります。

1 **電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

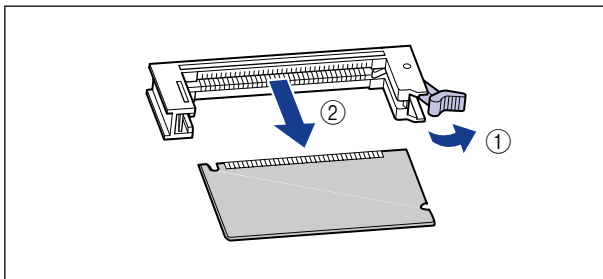
ハードディスクを使用している場合は、リセットメニューでシャットダウンを行ってから電源をオフにしてください。
ハードディスクを使用していない場合は、ジョブランプが消灯していることや、ディスプレイを見てプリント中でないことを確認してください。

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

3 **後カバーを取り外します。**

4 **スロットカバーのネジ３本を取り外します。**

5 **スロットカバーを取り外します。**

6 ROM スロットのレバーを押し下げ ①、ROM を引き抜きます ②。

7 コネクタケーブルをハードディスクとメインボードから取り外します。

8 ハードディスクの上下の２本の固定ネジを取り外します。

重要　取り外したネジは再度ハードディスクを取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

9 ハードディスクを引き抜きます。

取り外したハードディスクは、購入時に入っていた保護袋に入れて保管してください。

10 拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジで固定します。

11 スロットカバーを取り付け、ネジ３本で固定します。

12 後カバーを取り付けます。

13 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

14 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

15 USB ケーブルを接続します。

プリンタの動作と機能を確認する

この章では、設置後のプリンタの状態や設定値などを確認する方法、プリントサーバの動作確認について説明します。

動作を確認する

本プリンタには、現在使用可能な機能および現在の設定値を確認するためのステータスプリント機能があります。また、本プリンタをネットワークに接続している場合は、プリントサーバの動作状態をランプで確認することができます。プリンタの準備や接続が終了したらステータスプリントやプリントサーバの動作確認を行い、正しく動作することを確認してください。

プリンタの動作を確認する

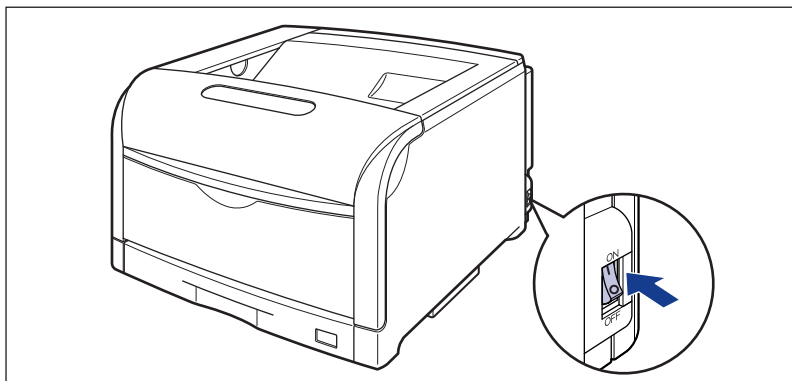
現在使用できる機能やメニュー設定値の一覧を確認するときは、ステータスプリントを行います。

メモ

- ステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでもプリントできますが、拡大または縮小されたり、一部がカットされたり、片寄ってプリントされることがあります。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。例えば、自動両面プリントが設定されている場合は、ステータスプリントも両面に 2 ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数は無視され、常に 1 枚の用紙がプリントされます。

ステータスプリント

ステータスプリントは、次の手順で行います。

1 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

しばらくするとディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　ESC/P」と表示され、プリント可能な状態になります。

重要　正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、ユーザーズガイド「第5章 困ったときには」を参照してください。

2 プリンタがオンラインになっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

3 ［ユーティリティ］を押します。

ディスプレイに「ステータスプリント」と表示されます。

4 ［実行］を押します。

（約1秒間）

ステータスプリントがプリントされます。

ステータスプリントの内容

ステータスプリントを行うと、次のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。プリント枚数は、ステータスプリントの右下にある「Page Count」で確認できます。

重要　ここに掲載されているステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したステータスプリントとは一部内容が異なる場合があります。

Canon　ステータスプリント　LBP5900

バージョン :
サブバージョン :
エンジンバージョン :
ハードディスク名称 :
総RAM容量 : 256 MB

拡張機能グループ
スリープモード : パネルオフ
スリープモード移行時間 : 30分
警告処理/トナー交換予告 : 継続
自動エラースキップ : しない
表示言語 : 日本語
ブザー : 1回
警告表示/トナー交換予告 : する
定着器交換予告 : する
廃トナー容器交換予告 : する
ドラム交換予告 : する
カセット用紙なし : する
Eメール通信エラー : する
ウェイクアップタイマー : 使わない
ウェイクアップ時刻 : 12:00
スリープタイマー : 使わない
スリープ時刻 : 12:00
キャリブレーションタイマー : 使わない
キャリブレーション時刻 : 12:00
ハードディスク : 使う
割り込み印刷 : 許可する
セキュアプリント消去までの時間 : 1時間
セキュアプリント保存形式 : イメージ
RIP Once : 使う
印刷履歴保証 : しない
静音モード移行時間 : 10秒

給紙グループ
デフォルト用紙サイズ : A4
手差しトレイ用紙サイズ : A4
手差しトレイ優先 : しない
用紙不一致時トレイ : 使わない
自動選択/手差しトレイ : 使う
カセット1 : 使う
カセット2 : 使う
カセット3 : 使う
カセット4 : 使う
用紙名称/手差しトレイ :
カセット1 :
カセット2 :
カセット3 :
カセット4 :
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
手差しトレイ用紙タイプ : 普通紙
カセット1用紙タイプ : 普通紙
カセット2用紙タイプ : 普通紙
カセット3用紙タイプ : 普通紙
カセット4用紙タイプ : 普通紙
手差し両面 : 1面目
両面印刷 : しない

レイアウトグループ
コピー枚数 : 1枚
縦位置補正 : 0.0mm
横位置補正 : 0.0mm
とじ方向 : 長辺とじ
とじしろ : 0.0mm
特殊両面処理 : する

インタフェースグループ
インタフェース選択/セントロニクス : 使う
USB : 使う
標準N/W : 使う
タイムアウト : 15秒
セントロニクス/インプットプライム : 使わない
コネクション認識 : する
拡張受信バッファ : 使わない

動作モードグループ
動作モード選択 : 自動選択
自動切換/LIPS : 使う
ESC/P : 使う
優先エミュレーション : なし

印字調整グループ
データ処理 : ファイン(600dpi)
階調処理 : 高階調1
ドラフトモード : 使わない
トナー濃度/C(シアン) : 9
M(マゼンダ) : 9
Y(イエロー) : 9
K(ブラック) : 9
カラーモード : 自動
モノクロ中間調/テキスト : 解像度
グラフィック : 階調
イメージ : 色調
カラー中間調/テキスト : 解像度
グラフィック : 色調
イメージ : 色調
グレー補償/テキスト : する
グラフィック : する
イメージ : しない

CMS(マッチング)選択 : プリンタ
CMS(マッチング)/ガンマ テキスト : ガンマ
グラフィック : ガンマ
イメージ : ガンマ
RGBソースプロファイル/テキスト : sRGB_v1.31
グラフィック : sRGB_v1.31
イメージ : sRGB_v1.31
出力プロファイル/テキスト : Normal
グラフィック : Normal
イメージ : Photo
マッチング方法/テキスト : 鮮やかさ優先
グラフィック : 色み優先
イメージ : 色み優先
ガンマ補正/テキスト : 1.4
グラフィック : 1.4
イメージ : 1.4
両面警告 : 継続

ユーザメンテナンスグループ
トレイ/縦位置補正 : 0.0 mm
横位置補正 : 0.0 mm
カセット1/縦位置補正 : 0.0 mm
横位置補正 : 0.0 mm
カセット2/縦位置補正 : 0.0 mm
横位置補正 : 0.0 mm
カセット3/縦位置補正 : 0.0 mm
横位置補正 : 0.0 mm
カセット4/縦位置補正 : 0.0 mm
横位置補正 : 0.0 mm
両面/縦位置補正 : 0.0 mm
横位置補正 : 0.0 mm
リカバリ印刷 : する
特殊モードJ : 使わない
用紙サイズ置換 : しない
画像特殊処理 : しない
小サイズ特殊処理1 : しない
小サイズ特殊処理2 : しない
特殊印字処理/普通紙 : しない
コート紙 : しない

デバイスID　Manufacturer :
Model :
Description :

搭載コントローラ　LIPS :
LIPS LX :
ESC/P :

LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

標準ネットワーク　バージョン :
MAC Address :

カートリッジ情報　Cカートリッジ寿命 : 99%
Mカートリッジ寿命 : 75%
Yカートリッジ寿命 : 53%
Kカートリッジ寿命 : 50%

USB　ベンダーID :
プロダクトID :
シリアルナンバー :
USB動作モード :

キャリブレーション　最終実行日時 : 2000/01/15 09:00
総印刷ページ数 : 0000061

CanonおよびCanonロゴはキヤノン株式会社の商標です。

2005/06/15 09:17:11　Page Count : 0000061

プリントサーバの動作を確認する

プリントサーバの動作確認は、次の手順で行います。

1 **図のようにLANケーブルにフェライトコアを取り付けます。**

フェライトコアはプリンタに接続するコネクタから5cm以内の場所に取り付けます。

メモ　フェライトコアは、プリンタに同梱されています。

2 **LANケーブルを本プリンタ背面のLANコネクタへ接続します。**

3 ケーブルガイドのフックを開けて、図のようにLANケーブルを通し、フックを閉めます。

重要　ケーブルガイドには、LAN ケーブル以外のケーブルは通さないでください。

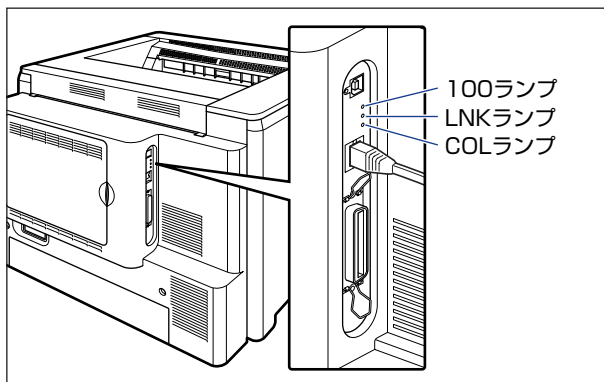
4 LAN ケーブルの反対側をハブのコネクタへ接続します。

5 電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」や「00　LIPS」、「00　ESC/P」と表示され、プリント可能な状態になります。

重要　正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、ユーザーズガイド「第5章 困ったときには」を参照してください。

6 プリントサーバのLNKランプが点灯していることを確認します。

10BASE-Tの場合は、LNKランプが点灯していれば、正常です。
100BASE-TXの場合は、LNKランプと100ランプが点灯していれば、正常です。

正常に動作していない場合は、LANケーブルの接続やハブの動作状態を確認してください。他の機器がすべて正常に動作している場合は、プリンタの電源をオフにし、プリントサーバの通信設定（Ethernetドライバの設定）を接続したネットワークに合わせて変更してください。（→ネットワークガイド／本編「第2章 ネットワーク共通設定」）

7 確認が終わったら、電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにします。

5

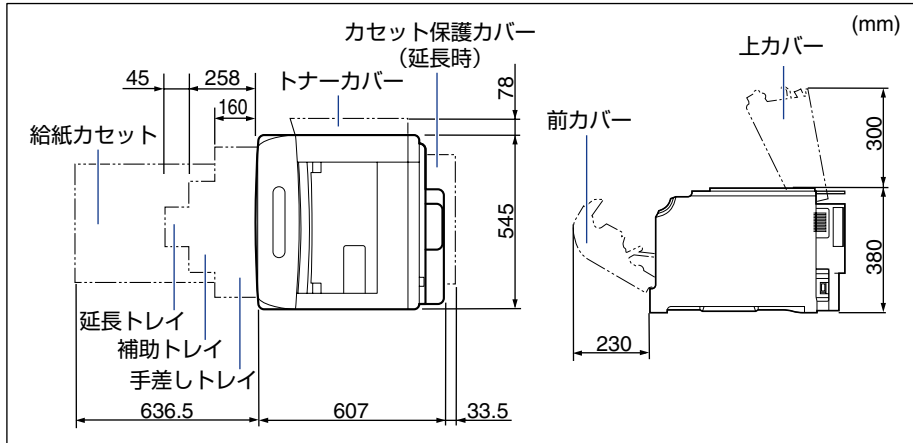
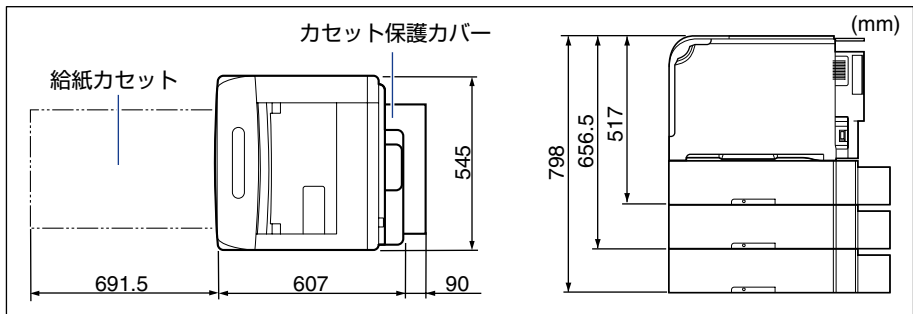
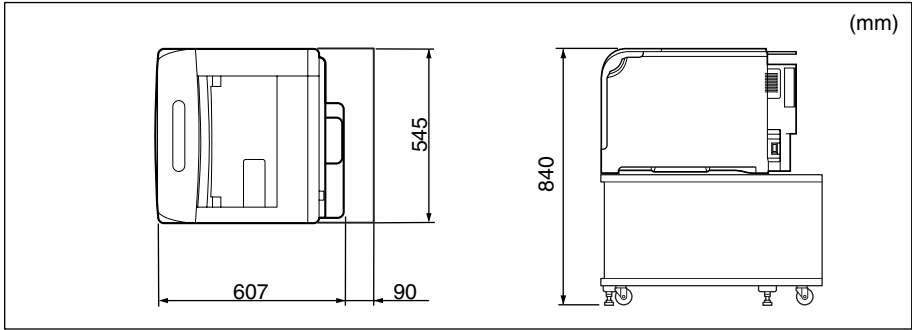
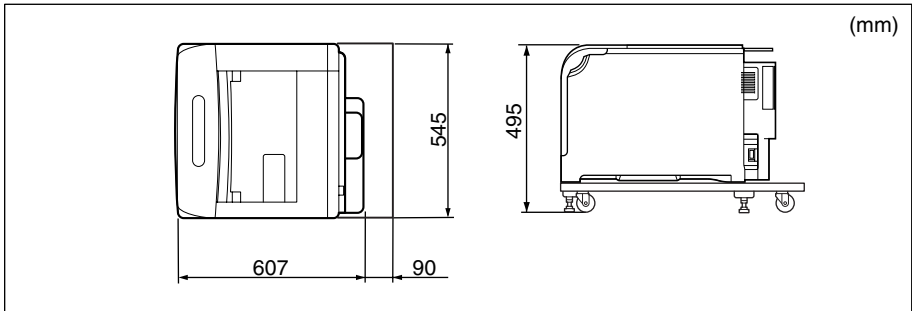
CHAPTER

付録

この章では、各部の寸法や、ソフトウェアのバージョンアップ方法、保守サービスのご案内などを記載しています。

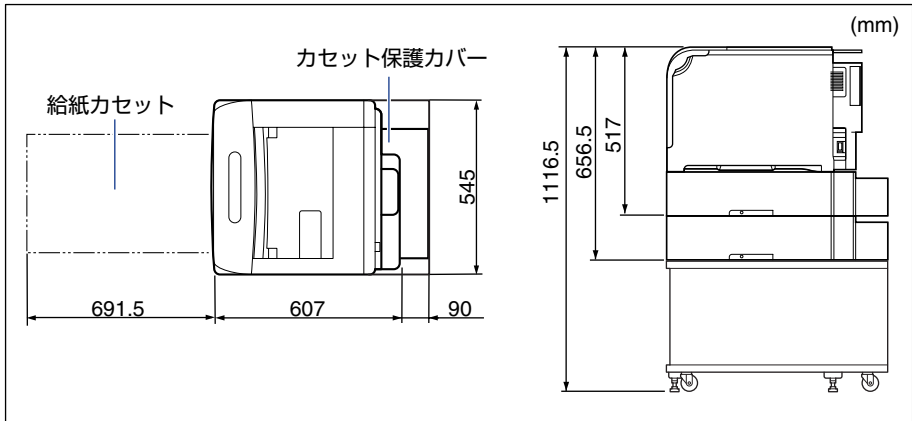
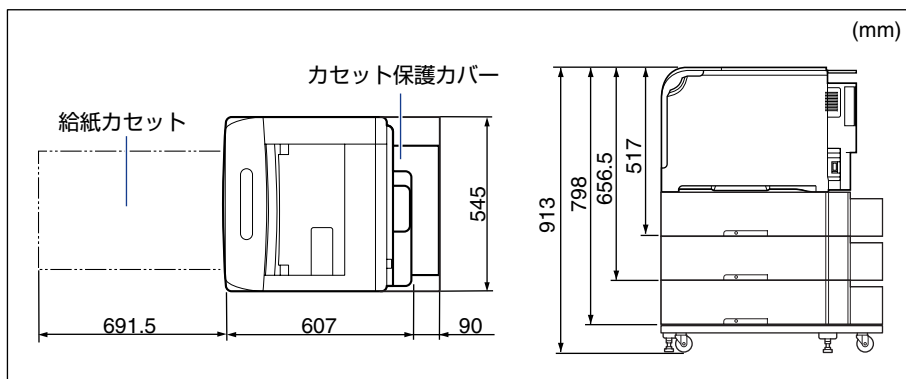
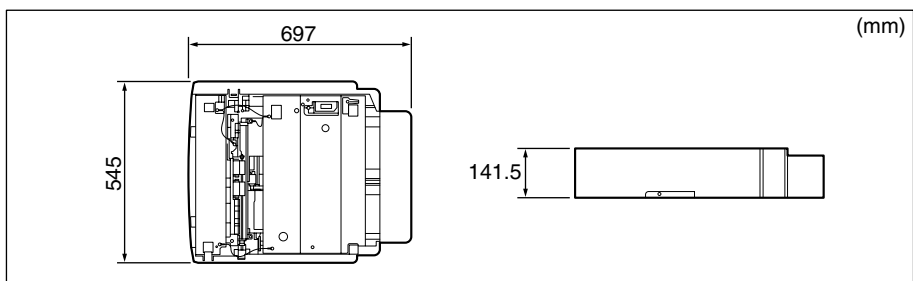
各部の寸法

■ プリンタ本体

- 標準仕様

- 550 枚ペーパーフィーダ× 3 段装着仕様

- ペディスタル（ボックスタイプ）装着仕様

- ペディスタル（キャスタタイプ）装着仕様

- 550 枚ペーパーフィーダ× 2 段+ペディスタル（ボックスタイプ）装着仕様

5
付録

- 550枚ペーパーフィーダ×3段+ペディスタル（キャスタタイプ）装着仕様

(mm)
カセット保護カバー
給紙カセット
691.5
607
90
545
913
798
656.5
517

■ 550枚ペーパーフィーダユニット PF-98

■ ペディスタル（ボックスタイプ）

■ ペディスタル（キャスタタイプ）

索引

英数字

あ

か

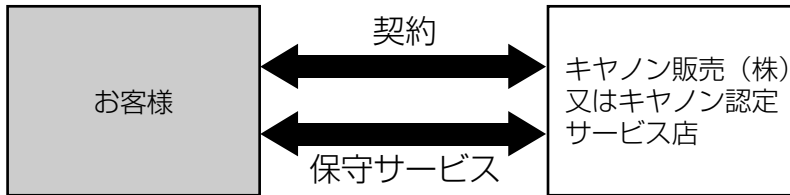
さ

保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キャノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ **簡単登録**
従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ **電話一本**
万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ **固定料金**
キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

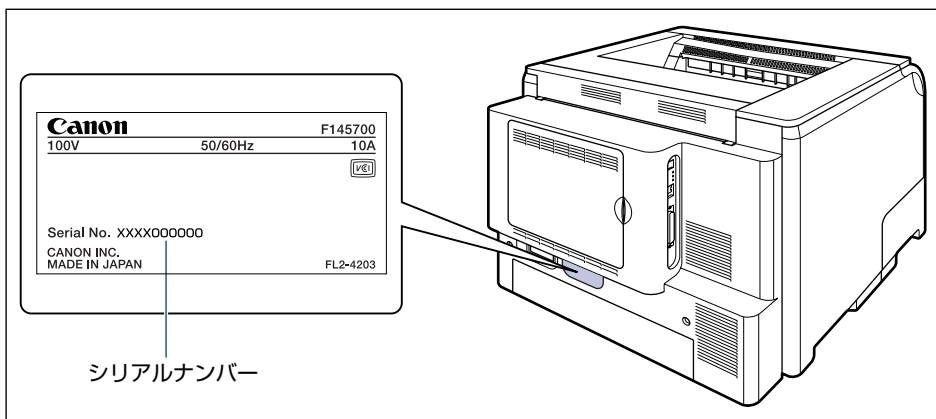
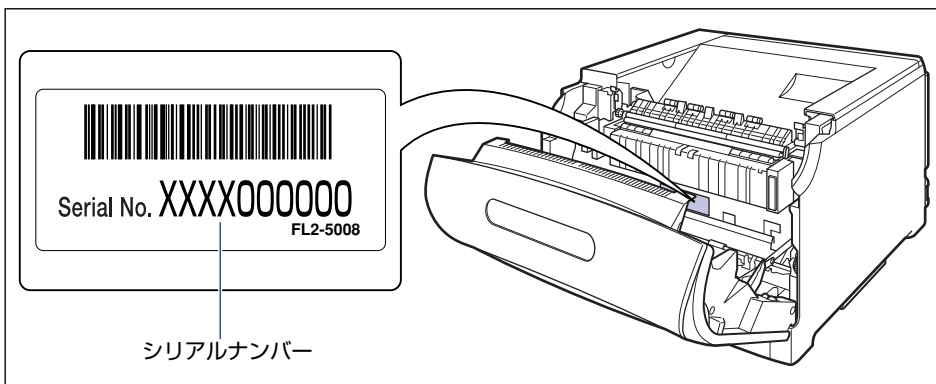
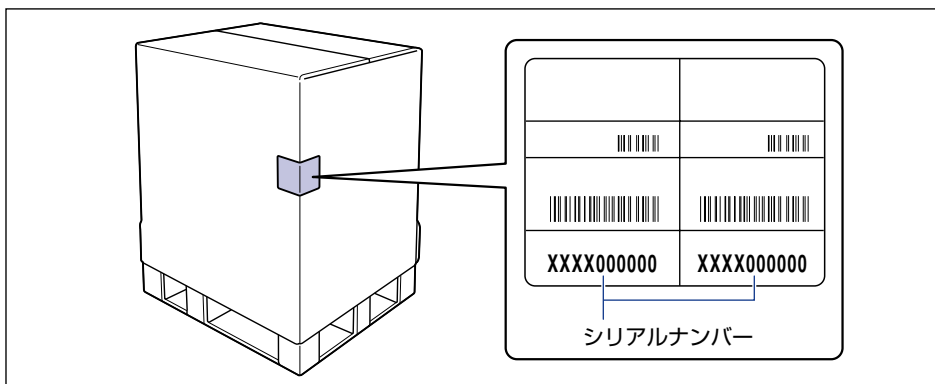
重要 シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体背面

■ プリンタ内部

■ 梱包箱外側

5

付録

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

■ **CD-ROM の代引き配送サービス**
プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。
ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間] <平日> 9:00〜20:00 <土日祝日> 10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

FA7-8294 (030)